

第 26 回 定 時 総 会 議 案 書



公益社団法人北海道社会福祉士会

と き	2024年6月22日（土）
ところ	かでの2・7 （札幌市中央区北2条西7丁目）

公益社団法人 北海道社会福祉士会
第26回定時総会 次第

と き 2024（令和6）年6月22日（土）15時30分～
ところ かでる2.7 大会議室
札幌市中央区北2条西7丁目
理 事 出町 勇人、澤田 憲一、今井 敦、岩佐 宏希、北村 満広、
國松 直人、久保田眞弓、近藤 祐二、佐々木祐也、篠原 歩、
澁谷 昌広、島崎 顕生、庄司 圭佑、多田 委代、綱淵 美穂、
渡辺洋一郎
監 事 大内 高雄、石塚 慶如
相談役 神内秀之介
事務局 前鼻 弘靖、五十嵐 綾、本郷 美香

議事録作成者 代表理事 出町 勇人

次 第

1. 開式の辞
2. 議長選出
3. 資格審査委員選任
4. 議事録署名人選任
5. 会長挨拶
6. 資格審査報告
7. 議事
 - (1) 議案第1号 2023年度事業報告（案）について
 - (2) 議案第2号 2023年度決算報告（案）について
 - (3) 議案第3号 2023年度監査報告（案）について
 - (4) 議案第4号 費用弁償に関する規則（規則第3号）の一部改正について
 - (5) 議案第5号 委員会及び事業部会の設置及び運営に関する規則（規則第7号）の一部改正について
 - (6) 議案第6号 倫理委員会委員の選任について
8. 報告事項
 - (1) 2023年度理事会承認事項について
9. 議長退任
10. 閉会の辞

以上

2023年度事業報告（案）

【総括】

2023年度においては、2022年度以降のアフターコロナへの変化を踏まえ、単にコロナ禍前に戻るのではなく、この間に得たオンラインでの活動経験も生かし、事業の特性ごとに、より発展的なあり方を議論しながら進めてきた一年でした。

2040年を見据えた地域共生社会の担い手として社会福祉士への期待が高まる中、専門職団体としてその資質をどう担保すべきか悩み、模索し、事業を展開してまいりました。

事業計画の基本方針と重点的取り組みの実施状況については以下の通りです。

1.北海道社会福祉士会と地区支部間の連携強化

道における委員会、部会と各支部とが、参画している委員・部員を通して情報共有を図るとともに、北海道社会福祉士会として支部に対する資金面の措置やICTでの運用支援に取り組みました。

2.積極的ソーシャルアクションの実施

公式ホームページを通じ「性的指向及び性自認を理由とする差別に反対する声明」を発出したほか、ハンセン病・自殺・生活困窮・いじめ・虐待など、解決困難な社会的課題に対する学習機会、具体的取り組みを各委員会・部会において進めるとともに、ソーシャルワーカーデーのイベントで他の福祉専門職団体と共同して相談窓口を出展するなど、社会福祉士及び社会福祉士会活動の普及啓発に取り組みました。

3.生涯研修制度の充実と実践力強化

基礎研修の受講料無償化を継続したことにより、昨年より19名多い69名（修了者53名）の参加者を得て、入り口の裾野を広げることができました。また、チャットツールなどで委員会と各支部との情報共有を進め、円滑にオンラインから集合へ移行することができました。

4.倫理綱領及び行動規範遵守の徹底

全会員を対象とした倫理綱領・行動規範勉強会を実施し、倫理綱領を実践と結び付けて理解できる機会を提供しました。

5.次世代人材育成への取り組み

若年層新規入会者に対する入会時負担軽減を実施し次世代の会員確保を図るとともに、社会福祉士現場実習指導者養成研修会及び実習指導者フォローアップ研修を実施し、実習指導者の育成と確保に取り組みました。

A. 組織状況

1.定款に定める目的（定款第3条より抜粋）

この法人は、社会福祉の援助を必要とする北海道民の生活と権利を擁護し、社会福祉に関する知識及び技術の道民への普及・啓発を行なうとともに、社会福祉事業に携わる専門職員に対する技能の研鑽を行なうことにより、地域福祉サービスの推進と発展を図り、もって北海道内における社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

2.定款に定める事業内容（定款第4条）

- (1)社会福祉の援助を必要とする北海道民の生活と権利の擁護に関する事業
- (2)北海道民への社会福祉に関する知識及び技術の普及・啓発に関する事業
- (3)社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上に関する事業
- (4)社会福祉士等の資格取得の支援に関する事業
- (5)相談援助従事者の養成及び技術の研鑽に関する事業
- (6)社会福祉及び社会福祉士に関する調査研究に関する事業
- (7)社会福祉団体その他の関係団体との連携に関する事業
- (8)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3.会員状況（2024年3月末現在）

北海道社会福祉士会会員数	1,764名（入会率13.71%）
（参考）日本社会福祉士会会員数	45,488名（入会率15.36%）

※社会福祉士登録者数 北海道：12,868名 全国：287,273名

<地区支部別会員数>

道央地区支部	783名
道南地区支部	160名
道北地区支部	227名
オホーツク地区支部	115名

日胆地区支部	166 名
十勝地区支部	166 名
釧根地区支部	147 名

4.主たる事務所の状況

主たる事務所：札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 かでる 2.7 4 階

5.役員などに関する事項 <別表 1>参照

B. 事業実施状況 2023 年度事業計画に基づき報告します。(以下敬称略)

I.社会福祉の援助を必要とする北海道民の生活と権利の擁護に関する事業

■ばあとなあ北海道運営委員会

1.権利擁護・利用者支援事業の推進 ～権利擁護センター「ばあとなあ北海道」の運営

(1)権利擁護・成年後見相談の実施 (2024 年 3 月末現在) 月～金曜日 9 時 30 分～16 時 30 分

電話・来所相談 相談員の配置

区分		実績	前年度比較
相談方法	電話	22	-15
	来所	4	+1
	メール	1	+1
相談者	本人	2	-5
	家族・親戚	8	-3
	社会福祉士	7	+4
	施設等	10	-9
分野別	認知症	6	-3
	知的障がい	1	-2
	精神障がい	0	-5
	その他	20	-4
相談内容	制度全般	2	-3
	事例相談	15	-16
	後見人依頼	2	+2
	その他	8	+4
相談件数	合計	27	-13

(2)後見活動の支援

①家庭裁判所への候補者名簿提出 (年 1 回)

- 家庭裁判所へ提出の後見人候補者数：353 名
- 後見人の選任 (2024 年 1 月末現在)

〔法定後見人等〕(288 人 1,176 件)

地区支部名	受任者数 (昨年度比較)	受任件数 (昨年度比較)
道央	103 人 (+1)	360 件 (+54)
道南	32 人 (+8)	295 件 (+35)
道北	41 人 (-1)	131 件 (+6)
オホーツク	14 人 (+1)	25 件 (±0)
日胆	29 人 (±0)	149 件 (+2)
十勝	38 人 (+1)	108 件 (+1)
釧根	31 人 (+3)	108 件 (+13)
合計	288 人 (+13)	1,176 件 (+111)

〔任意後見契約〕(12 人 22 件)

地区支部名	受任者数 (昨年度比較)	受任件数 (昨年度比較)
道央	6 人 (±0)	8 件 (+1)
道南	2 人 (+2)	2 件 (+2)
道北	1 人 (±0)	2 件 (±0)
日胆	1 人 (±0)	1 件 (±0)

十勝	2 人 (±0)	9 件 (-1)
合計	12 人 (+2)	22 件 (+2)

〔後見監督人〕(2 人 2 件)

地区支部名	受任者数 (昨年度比較)	受任件数 (昨年度比較)
道央	2 人 (±0)	2 件 (±0)
道北	0 人 (-1)	0 件 (-1)
合計	2 人 (-1)	2 件 (-1)

②成年後見人選任の調整

地区支部名	合議体開催回数	取扱件数
道央	16 回	85 件
道南	36 回	78 件
道北	15 回	25 件
オホーツク	8 回	8 件
日胆	19 回	20 件
十勝	9 回	13 件
釧根	20 回	30 件
合計	123 回	259 件

③ぱあとなあ登録及び報告書の管理・確認 (年 1 回、2 月)

④成年後見人材育成研修・名簿登録研修の実施

●成年後見人材育成研修の実施

前期：9 月 2 日 (土) ～3 日 (日)、後期：1 月 6 日 (土) ～7 日 (日) 計 4 日間

会場：前期 (Zoom オンライン)・後期 (集合 かでる 2.7) 受講者数 23 名 (うち修了 23 名)

日程	科目	講 師
9 月 2 日 (土)	0.研修ガイダンス	北村満広会員
	1.成年後見制度の解説	前岡政勝氏 (リーガルサポート札幌支部 司法書士)
	2.成年後見活動における判断能力の とらえ方	東端萌李氏 (北海道立精神保健福祉センター 精神科医)
	3.社会福祉士と成年後見～権利擁護 の視点から	岩佐宏希会員
9 月 3 日 (日)	4.財産法の基礎	高川理仁氏 (リーガルサポート札幌支部 司法書士)
	5.財産管理のための知識	高川理仁氏 (リーガルサポート札幌支部 司法書士)
	6.後見事務の実際 1	高川理仁氏 (リーガルサポート札幌支部 司法書士) 高橋鑑一会員、箭原実会員
	7.家庭裁判所の実務の実際	小林貴茂氏 (札幌家庭裁判所家事訟廷管理官)
1 月 6 日 (土)	8.家族法の基礎	林拓哉氏 (弁護士)
	9.身上監護のための知識	長井卷子会員
	10.後見事務の実際 2	長井卷子会員、柏浩文会員、後藤律子会員
1 月 7 日 (日)	11.演習 1 ニーズの把握と対応	多田摩由美会員
	12.演習 2 ネットワーク活用による 権利擁護	多田摩由美会員
	13.今後の活動について	岩佐宏希会員

●名簿登録研修の実施

1 月 8 日 (月) 会場：かでる 2.7 受講者数 25 名

科目	講 師
1.都道府県ぱあとなあへの仕組みについて	岩佐宏希会員
2.都道府県ぱあとなあにおける受任の実際	菅しおり会員
3.受任後の実務	箭原実会員
4.演習	多田摩由美会員
5.後見人のリスクマネジメント	高橋鑑一会員
6.研修のまとめ	岩佐宏希会員

⑤各地区支部におけるぱあとなあ登録者及び成年後見人受任者勉強会等の開催

地区 支部	会議・研修名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加 人数
道央	第1回登録者学習会 （札幌市社会福祉総合センター）	6月3日 （土）	講話「死後事務の実際－相続人がいる場合、いない場合の対応について事例を交えて－」 講師：小笠原佳奈子弁護士 「情報交換」	37名
	第2回登録者学習会 （札幌市社会福祉総合センター）	8月26日 （土）	「事例報告」 報告者：町村会員・安田会員 「情報交換」	29名
	第3回登録者学習会 （札幌市社会福祉総合センター）	11月18日 （土）	講話「死後事務の実際－相続人がいる場合、いない場合の対応について、事例を交えて－」 講師：前岡政勝司法書士 「情報交換」	41名
	第4回登録者学習会 （札幌市社会福祉総合センター）	3月9日 （土）	「事例報告」 報告者：長谷川千明会員・蝦名幸恵会員 「情報交換」	27名
道南	第1回ぱあとなあ名簿登録者フォローアップ研修 （第64回成年後見事例検討会） オンライン（Zoom）開催	5月15日 （月）	講義：「民法・不動産登記法改正、相続土地国庫帰属法のポイント」 講師：函館弁護士会 平井喜一氏 事例報告 報告者：高橋鑑一会員	21名
	第2回ぱあとなあ名簿登録者フォローアップ研修 （新規・再名簿登録就任時研修） 亀田交流プラザ	7月28日 （金）	講義①「受任後の事務について」 講師：長谷山哲平会員 講義②「ぱあとなあ北海道の運営ルールについて」 講師：岩佐宏希会員 活動報告「成年後見業務1年目を終えて」 講師：大島文輝会員 講義③「後見業務と倫理の関係について」 講師：湯浅弥会員	15名
	第3回ぱあとなあ名簿登録者フォローアップ研修 （第65回成年後見事例検討会） サン・リフレ函館	8月28日 （月）	事例検討 事例報告① 報告者：大島文輝会員 事例報告② 報告者：湯浅弥会員	25名
	第4回ぱあとなあ事例検討会（第66回成年後見事例検討会） サン・リフレ函館	11月6日 （月）	事例検討 事例報告① 報告者：小西真帆会員 事例報告② 報告者：函館弁護士会 葛西秀和会員	25名
	第5回ぱあとなあ事例検討会（第67回成年後見事例検討会） 亀田交流プラザ	1月16日 （火）	事例検討 事例報告① 報告者：近藤祐二会員	26名
道北	ぱあとなあ学習会（オンライン）	5月18日 （木）	活動上の課題について（意見交換）	11名
	ぱあとなあ学習会（オンライン）	7月19日 （木）	死後事務の実際について 講師：富田佳佑会員（りんどう法律事務所弁護士）	13名
	ぱあとなあ学習会（オンライン）	9月21日 （木）	事務をうまくすすめるための工夫（意見交換）	12名
	ぱあとなあ学習会（オンライン）	11月21日 （火）	活動上の課題について（意見交換）	8名

	ぱあとなあ学習会（オンライン）	1月18日（水）	活動上の課題について（意見交換）	8名
	ぱあとなあ学習会（オンライン）	3月19日（火）	活動上の課題について（意見交換）	8名
ホーク	研修会1 北見市総合福祉会館とオンライン（Zoom）開催	9月30日（土）	登録者による事例報告・意見交換会	14名
	研修会2 北見市西地区公民館とオンライン（Zoom）開催	11月11日（土）	北見市における成年後見制度の動向と社会福祉士に期待する役割 講師：釧路地方裁判所北見支部 宮崎主任書記官	12名
	研修会3 オンライン（Zoom）開催	2月17日（土）	関係性づくりで失敗しないためのコツ 講師：五十嵐教行氏（北海道総合福祉研究センター理事長）	14名
	研修会4 北見総合福祉会館とオンライン（Zoom）開催	3月2日（土）	登録者による事例報告、金融機関の利用状況について、意見交換 講師：銀田聡会員	11名
日胆	開催なし			
十勝	第1回成年後見人フォローアップ研修会（Zoom）	9月11日（月）	事例報告 事例報告者：門屋一郎会員	11名
	第2回成年後見人フォローアップ研修会（Zoom）	12月11日（月）	事例報告 「複数後見の事例」 事例報告者：三橋慎也会員	12名
	第3回成年後見人フォローアップ研修会（Zoom）	1月15日（木）	事例報告 事例報告者：山川幸美会員	15名
	第4回成年後見人フォローアップ研修会（Zoom）	3月11日（月）	事例報告 事例報告者：橋本節子会員	11名
	第1回成年後見人ミニ勉強会（Zoom）	10月16日（月）	事例報告 事例報告者：工藤敬会員	5名
	第2回成年後見人ミニ勉強会（Zoom）	2月13日（火）	ぱあとなあ定期報告について 講師：宮崎洋子会員（ぱあとなあ運営委員）	9名
釧根	開催なし			

⑥権利擁護実践研修会

開催なし

(3)成年後見・権利擁護活動の普及・啓発

①各地区支部における成年後見・権利擁護セミナーの開催

地区支部	名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
道央	札幌市社会福祉総合センター	10月21日（土）	「中核機関の機能と役割ー現在地と今後に向けてー」 シンポジスト：石狩市・江別市・札幌市社協	25名
	美唄市福祉総合センター	2月23日（金）	基調報告「意志決定支援を考える」 報告者：菅しおり（道央地区支部長） 実践報告「成年後見制度中核機関の機能役割」 報告者：安藤舞結氏（美唄市社協支援専門員）	26名
道南	未実施			
道北	第19回高齢者・障害者権利擁護セミナー 共催（旭川弁護士会、公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート旭川支部） 旭川市勤労者福祉会館	3月10日（日）	「権利擁護を広げよう～人の尊厳を守るために～」 基調講演「なぜ権利侵害は起きるのか 事例から学ぶその実態と予防について」 講師：石塚慶如弁護士（ゆいと法律事務所） 基調報告「障害者福祉施設における取組について」	88名

	(オンライン)		報告者：畠山信氏（北・北海道知的障がい福祉協会会長） シンポジウム「人の尊厳を守るために～これから必要なことは何か～」 コーディネーター：石塚慶如氏 パネリスト： 畠山信氏 小林梨奈弁護士（旭川弁護士会高齢者障害者権利委員会） 滝本直希司法書士（成年後見センター・リーガルサポート旭川支部）	
ホーツク	オンライン（Zoom）開催	3月24日 （日）	「子どもの人権の“現在地”～おしんからヤングケアラーまで～」 講師：箭原信継氏（オホーツク子ども家庭相談ラボ代表）	11名
日胆	令和5年度 成年後見・権利擁護セミナー	6月3日 （土）	「権利擁護支援・意思決定支援について思うこと」 講師：古川義則氏（とまこまい成年後見支援センター参与） （集合23名、オンライン20名）	43名
十勝	権利擁護セミナー	1月25日 （木）	「障害者虐待の対応と権利擁護」 講師：國松直人会員（社会福祉法人北海道社会福祉事業団相談支援センターとまるん）	24名
釧根	権利擁護セミナー	2月18日 （日）	差別解消法、障がいへの理解 DVD 上映	多数

(4)倫理綱領・行動規範研修

- 「倫理綱領・行動規範研修」の実施

日時：2024年3月23日（土）9：00～13：10（Zoom オンライン）

参加者数：7名

(5)関係機関・職能団体との連携 ＜別表2＞参照

- ①弁護士会、司法書士会「リーガルサポート」等との連携
- ②日常生活自立支援事業との連携
- ③家庭裁判所との連携
- ④後見支援実施機関である市町村等との連携
- ⑤市民後見人養成機関及び後見センターとの連携

(6)ぱあとなあ北海道運営委員会の運営

- ①ぱあとなあ北海道運営委員会の開催 ＜別表3＞参照
- ②各種全国会議への担当理事派遣（随時）

II.北海道民への社会福祉に関する知識及び技術の普及・啓発に関する事業

■企画総務委員会

1.社会福祉士セミナーの開催

(1)北海道社会福祉士会実践研究集会【全道大会】の開催

場所	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
かでの2.7・オンライン開催	6月24日 （土）	【基調講演】 テーマ：第二期成年後見制度利用促進基本計画における意思決定支援の捉え方ー意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドラインを踏まえてー 講師：星野美子氏（公益社団法人日本社会福祉士会理事） 【実践発表】 ①「A町内会における認知症に関するアンケート調査」 網渕美穂会員	39名

		②「障害福祉専門職に関する連携評価ツール研修会の実践と評価」 近藤尚也会員 ③「社会福祉事務所空（kuu）の限界と可能性～アグレッシブに活動するために～」 目黒紀美代会員 【特別発表】 ソーシャルワーク実践におけるデジタル技術の活用促進に関する調査研究事業について 竹田匡会員（公益社団法人日本社会福祉士会理事）	
--	--	---	--

(2)各地区支部における社会福祉士セミナーの開催

地区支部	場所	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
道央	札幌市社会福祉総合センター	6月10日 (土)	「ソーシャルワークについて考えるー社会福祉士の役割を踏まえてー」 講師：笹岡眞弓氏（日本医療大学総合福祉学部教授）	47名
道南	亀田交流プラザ (ハイブリット開催)	1月13日 (土)	講演：「人とペットの共生社会を目指して」 講師：獣医師 今木康彦会員	30名
道北	秋季セミナー 名寄市立大学・オンライン	11月18日 (土)	「子どものいまを知る」 鈴木勲会員（名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科准教授） 近藤純子会員（名寄市教育委員会スクールソーシャルワーカー）	22名
ホーツク	オンライン (Zoom) 開催	3月16日 (土)	「生活困窮者支援について～居住支援（スパロウハウス）の取り組み～」 特定非営利活動法人ワークフェア 代表理事 柳谷君予氏 事務局長 浅川貴行氏	14名
日胆	オンライン (Zoom 利用)	2月1日 (木)	事例で学ぶ触法障がい、高齢者への福祉的支援の実践 ①司法分野との連携特別委員会作成の事例を用いた更生保護の解説 鷺津輝朗会員（司法分野との連携特別委員会委員） ②実践報告 斉藤智章氏（NPO 法人サポートセンターたつかーむ相談室フロイデ）	15名
十勝	社会福祉士セミナー 音更町総合福祉センター	10月14日 (土)	「認知症予防と共生」 講師：加藤忠相氏（株式会社あおいけあ代表）	74名
釧根	社会福祉セミナー	6月19日 (月)	講師： 澤田憲一副会長 新田雄大理事 高橋功成会員（生涯研修委員） (会場 14名、オンライン 15名)	29名

2.北海道福祉人材センターへの協力

(1)福祉職場ガイダンスへの会員の派遣・協力

北海道社会福祉協議会主催「福祉職場ガイダンス」(札幌ビューホテル大通公園)に職員を派遣した。

3月6日(日) 出町勇人会長

3.広報・情報活動の実施

(1)ホームページの管理及び運営・Facebook・Line 公式アカウント・会員専用メール配信による情報発信
 一般向けには、当会主催の研修・セミナー案内、地区支部研修案内、他関係機関の研修等の案内を掲載している。会員専用コンテンツについては、求人情報・規程集・総会議事録等を掲載している。

(2)3月12日～3月19日にかでるマンスリー展示にて、パネル展示と活動動画を流し当会の活動について周知を行った。

III.社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上に関する事業

■企画総務委員会

マクロソーシャルワーク研修会の実施

開催日・会場	内容「テーマ」・講師	参加人数
2月27日(火) 18:30～20:00 Zoom	講義「マクロソーシャルワークの概要と機能について」 講師：釧路町ふるさと納税推進室 主幹 竹田匡氏（日本社会福祉士会参事）	17名

■生涯研修委員会

1.生涯研修の促進

(1)基礎研修Ⅰの開催 2023年度受講決定69名 うち再履修5名 修了53名

e-ラーニング	① 社会福祉士のあゆみ（講義1時間）			
	② 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織（講義0.5時間）			
	③ 生涯研修制度（講義1.5時間）			
	④ 社会福祉士の共通基盤の理解			
	⑤ 倫理綱領・行動規範の理解			
地区支部	名称（場所）	開催日	講師・ファシリテーター	参加人数
道央	第1回集合研修 （かでる2.7 940研修室）	10月15日（日） 10:00～15:00	講師：出町勇人 F：渡部洋子、吉田圭吾 島まや子、鴨崎裕介	21名
	第2回集合研修 （かでる2.7 940研修室）	2月4日（日） 9:30～13:00	講師：高瀬彰子 F：近藤尚也、佐藤久美子、 渡邊勇	18名
ホーツク	第1回集合研修 （北見市東地区公民館 第3研修室）	10月15日（日） 10:00～15:00	講師：藤井康成、梶井綾子 F：藤井康成	3名
	第2回集合研修 （北見市総合福祉会館 ボランティア室）	2月4日（日） 9:30～13:00	講師：梶井綾子 F：藤井康成	3名
釧根	第1回集合研修 （釧路愛育協会 法人本部大会議室）	10月15日（日） 10:00～15:00	講師：浜尾勇貴、高橋功成 F：市川晴章	7名
	第2回集合研修 （釧路愛育協会 法人本部大会議室）	2月4日（日） 9:30～13:00	講師：市川晴章	7名
道南	第1回集合研修 （あいよる21 2F第2会議室）	10月22日（日） 10:00～15:00	講師：湯浅弥、西里麻衣 F：高橋鑑一	12名
	第2回集合研修 （あいよる21 2F第2会議室）	2月18日（日） 9:30～13:00	講師：岩佐宏希 F：葛西恭昭	12名
十勝	第1回集合研修 （とかちプラザ）	10月22日（日） 10:00～15:00	講師：清野光彦、高橋功成 F：庄司圭佑、倉橋健	2名
	第2回集合研修 （とかちプラザ）	2月18日（日） 9:30～13:00	講師：石川尚樹 F：倉橋健	3名
日胆	第1回集合研修 （苫小牧市民活動センター3階会議室）	10月22日（日） 10:00～15:00	講師：國松直人	6名
	第2回集合研修 （苫小牧市民活動センター3階会議室1）	2月18日（日） 9:30～13:00	講師：篠原歩 F：國松直人	5名
道北	第1回集合研修 （旭川市障害者福祉センターおびつた会議室3）	10月22日（日） 10:00～15:00	講師：高橋通江、廣長賢治 F：宮澤俊	7名

	第2回集合研修 (旭川市障害者福祉センターおびつ た 会議室3)	2月18日(日) 9:30~13:00	講師:今井敦 F:宮澤俊	5名
--	--	------------------------	-----------------	----

(2)基礎研修Ⅱの開催 2023年度受講決定35名 うち再履修5名 修了32名(他県からの振替0名)

科目:ソーシャルワーク理論系Ⅰ				
e-ラーニング	① 相談援助の視座と展開過程(講義1.5時間)			
	② 実践のためのアプローチ(講義1.5時間)			
	③ 自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク(講義1.5時間)			
地区 支部	名称(場所)	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	第1回集合研修 (札幌市産業振興センター セミナ ールームC)	5月20日(土) 10:00~16:00	講師:渡部洋子 F:近藤尚也	13名
	第2回集合研修 (かでる2.7 540会議室)	6月10日(土) 9:30~17:00	講師:渡部洋子 F:近藤尚也	15名
ホ-ツク	第1回集合研修 (北見市総合福祉会館1号研修室)	5月20日(土) 10:00~16:00	講師:梶井綾子 F:藤井康成	1名
	第2回集合研修 (北見市東地区公民館1号研修室)	6月10日(土) 9:30~17:00	講師:梶井綾子 F:藤井康成	1名
釧根	第1回集合研修 (釧路愛育協会 法人本部大会議室)	5月20日(土) 10:00~16:00	講師:高橋功成 F:市川晴章	4名
	第2回集合研修 (釧路愛育協会 法人本部大会議室)	6月10日(土) 9:30~17:00	講師:高橋功成 F:市川晴章	4名
道南	第1回集合研修 (あいよる21 4F会議室)	5月27日(土) 10:00~16:00	講師:西里麻衣 F:奥山英梨香、葛西恭昭	4名
	第2回集合研修 (サン・リフレ函館 視聴覚室)	6月17日(土) 9:30~17:00	講師:西里麻衣 F:関川敏江	4名
十勝	第1回集合研修 (とかちプラザ 401)	5月27日(土) 10:00~16:00	講師:高橋功成 F:倉橋健	4名
	第2回集合研修 (とかちプラザ 304)	6月17日(土) 9:30~17:00	講師:高橋功成 F:倉橋健、数田紗奈	3名
日胆	第1回集合研修 (苫小牧市民活動センター 3階会 議室1)	5月27日(土) 10:00~16:00	講師:國松直人	2名
	第2回集合研修 (苫小牧市民活動センター 3階和 室)	6月17日(土) 9:30~17:00	講師:國松直人 F:石黒健一、米津和香子	1名
道北	第1回集合研修 (旭川市障害者福祉センターおびつ た 会議室2・CoCoDe 作業打ち合 わせ室)	5月27日(土) 10:00~16:00	講師:綱淵美穂 F:北牧美子	2名
	第2回集合研修 (旭川市障害者福祉センターおびつ た 会議室2)	6月18日(日) 9:30~17:00	講師:佐々木祐也 F:綱淵美穂	2名

科目:地域開発・政策系科目Ⅰ				
e-ラーニング	④ 社会資源の理解と社会資源開発(講義1.5時間)			
	⑤ 連携システムのあり方とネットワークの構築(講義1.5時間)			
	⑥ 地域における福祉政策と福祉計画(講義1.5時間)			
	⑦ 社会福祉調査の方法と実際(講義1.5時間)			
地区 支部	名称(場所)	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	集合研修 (かでる2.7 110会議室)	6月11日(日) 9:30~17:00	講師:高村亮太 F:近藤尚也	16名

ホーツク	集合研修 (北見市総合福祉会館 1 号研修室)	6 月 11 日 (日) 9 : 30 ~ 17 : 00	講師 : 佐々木祐也 F : 藤井康成、梶井綾子	1 名
釧根	集合研修 (釧路愛育協会 法人本部大会議室)	6 月 11 日 (日) 9 : 30 ~ 17 : 00	講師 : 望月誠 F : 高橋功成	4 名
道南	集合研修 (サン・リフレ函館 視聴覚室)	6 月 18 日 (日) 9 : 30 ~ 17 : 00	講師 : 木田祥平 F : 葛西恭昭	4 名
十勝	集合研修 (とかちプラザ 305)	6 月 18 日 (日) 9 : 30 ~ 17 : 00	講師 : 清野光彦 F : 倉橋健	3 名
日胆	集合研修 (苫小牧市民活動センター 3 階会議室 1)	6 月 18 日 (日) 9 : 30 ~ 17 : 00	講師 : 國松直人 F : 篠原歩	1 名
道北	集合研修 (旭川市障害者福祉センターおびつた 会議室 2)	6 月 17 日 (土) 9 : 30 ~ 17 : 00	講師 : 網渕美穂 F : 喜久永祥子	2 名

科目 : 人材育成系科目 I

e-ラーニング	⑧ スーパービジョンとは (講義 2 時間)			
	⑨ スーパービジョンモデルセッションを見る (講義 2 時間)			
地区 支部	名称 (場所)	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	集合研修 (かでの 2.7 310 会議室)	9 月 2 日 (土) 9 : 30 ~ 12 : 00	講師 : 村山文彦 F : 海老厚志、藤原由美子	14 名
ホーツク	集合研修 (北見市総合福祉会館 3 号研修室)	9 月 2 日 (土) 9 : 30 ~ 12 : 00	講師 : 梶井綾子	1 名
釧根	集合研修 (釧路愛育協会 法人本部大会議室)	9 月 2 日 (土) 9 : 30 ~ 12 : 00	講師 : 高橋功成	4 名
道南	集合研修 (サン・リフレ函館 視聴覚室)	9 月 9 日 (土) 9 : 30 ~ 12 : 00	講師 : 近藤祐二 F : 渡邊万由美	4 名
十勝	集合研修 (とかちプラザ 304)	9 月 9 日 (土) 9 : 30 ~ 12 : 00	講師 : 高橋功成 F : 石岡建也	4 名
道北	集合研修 (CoCoDe 事務作業室)	9 月 30 日 (土) 9 : 30 ~ 12 : 00	講師 : 廣長賢治 F : 岸美佳	2 名

科目 : 権利擁護・法学系科目 I

e-ラーニング	⑩ 社会福祉における法 I (講義 1.5 時間)			
	⑪ ソーシャルワークと権利擁護の視点 I (講義 1.5 時間)			
	⑫ 社会福祉における法 II (講義 1.5 時間)			
	⑬ ソーシャルワークと権利擁護の視点 II (講義 1.5 時間)			
地区 支部	名称 (場所)	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	集合研修 (かでの 2.7 510 会議室)	10 月 14 日 (土) 10 : 00 ~ 17 : 00	講師 : 目黒紀美代 F : 出町直人、海老厚志 佐藤久美子、塩谷進	17 名
釧根	集合研修 (釧路愛育協会 法人本部大会議室)	10 月 14 日 (土) 10 : 00 ~ 17 : 00	講師 : 多田摩由美 F : 高橋功成	4 名
道南	集合研修 (あいよる 21 1F 集会室)	10 月 21 日 (土) 10 : 00 ~ 17 : 00	講師 : 岩佐宏希 F : 近藤祐二	4 名
十勝	集合研修 (とかちプラザ 304)	10 月 21 日 (土) 10 : 00 ~ 17 : 00	講師 : 石川尚樹 F : 石岡建也	4 名
道北	集合研修 (旭川市北星地区センター会議室 1)	10 月 21 日 (土) 10 : 00 ~ 17 : 00	講師 : 今井敦 F : 宮澤俊	2 名

科目：実践評価・実践研究系科目 I				
e-ラーニング	⑭ 実践研究の意義と方法（講義 1.5 時間）			
	⑮ 実践研究のための記録（講義 1.5 時間）			
	⑯ 実践評価の方法（講義 1.5 時間）			
	⑰ 実践研究発表の方法（講義 1 時間 10 分）			
地区 支部	名称（場所）	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	集合研修 （かでる 2.7 940 会議室）	12 月 9 日（土） 9：30～17：00	講師：高村亮太 F：渡部洋子、渡邊勇 近藤尚也	15 名
ホーツク	集合研修 （北見市東地区公民館 第 3 研修室）	12 月 9 日（土） 9：30～17：00	講師：武田学 F：藤井康成	1 名
釧根	集合研修 （釧路愛育協会 法人本部大会議室）	12 月 9 日（土） 9：30～17：00	講師：竹田匡 F：高橋功成	4 名
		1 月 20 日（土） 10：00～12：15	講師：高橋功成	
道南	集合研修 （あいよる 21 4F 会議室）	12 月 16 日（土） 9：30～17：00	講師：高橋鑑一 F：奥山英梨香	4 名
十勝	集合研修 （とかちプラザ 304）	12 月 16 日（土） 9：30～17：00	講師：竹田匡 F：倉橋健	4 名
日胆	集合研修 （苫小牧市民活動センター3 階和室）	12 月 16 日（土） 9：30～17：00	講師：紙本雅也 F：國松直人、篠原歩	1 名
道北	集合研修 （旭川市北星地区センター会議室 1）	12 月 16 日（土） 9：30～17：00	講師：廣長賢治 F：宮澤俊	2 名

(3)基礎研修Ⅲの開催 2023 年度 受講決定 23 名 うち再履修 2 名 修了 19 名（他県から振替 0 名）

科目：実践評価・実践研究系科目				
e-ラーニング	① 対人援助と事例研究（講義 1 時間 20 分）			
	② 事例研究の枠組み（講義 1 時間 20 分）			
	③ 事例研究の方法としてのケースカンファレンス（講義 1 時間 20 分）			
	④ 事例研究のための事例のまとめ方（講義 1 時間 20 分）			
地区 支部	名称（場所）	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	集合研修 （かでる 2.7 730 会議室）	7 月 8 日（土） 9：30～17：00	講師：近藤尚也 F：高村亮太、渡邊勇、 出町勇人	13 名
道南	集合研修 （あいよる 21 4F 会議室）	7 月 22 日（土） 9：30～17：00	講師：高橋鑑一 F：奥山英梨香	5 名
十勝	集合研修 （とかちプラザ 304）	7 月 22 日（土） 9：30～17：00	講師：竹田匡 F：倉橋健	5 名

科目：ソーシャルワーク理論系科目				
地区 支部	名称（場所）	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	集合研修 （かでる 2.7 1050 会議室）	7 月 9 日（日） 10：00～15：00	講師：渡部洋子 F：出町勇人	13 名
道南	集合研修 （あいよる 21 4F 会議室）	7 月 23 日（日） 10：00～15：00	講師：澁谷昌広 F：葛西恭昭	5 名
十勝	集合研修 （とかちプラザ 305）	7 月 23 日（日） 10：00～15：00	講師：高橋功成 F：数田紗奈、倉橋健	6 名

科目：権利擁護・法学系科目				
eラーニング	⑤ 意思決定の支援（講義 1.5 時間）			
地区 支部	名称（場所）	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	集合研修 （かでる 2.7 510 会議室）	8 月 19 日（土） 10：00～16：00	講師：目黒紀美代 F：高瀬彰子、渡邊勇 藤原由美子、近藤尚也	14 名
道南	集合研修 （あいよる 21 2F 第 2 会議室）	8 月 26 日（土） 10：00～16：00	講師：岩佐宏希 F：葛西恭昭	3 名
十勝	集合研修 （とかちプラザ 401）	8 月 26 日（土） 10：00～16：00	講師：今井敦 F：庄司圭佑、倉橋健	5 名

科目：地域開発・経営系科目				
eラーニング	⑥ 地域における福祉活動（講義 1.5 時間）			
地区 支部	名称（場所）	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	第 1 回集合研修 （かでる 2.7 510 会議室）	8 月 20 日（日） 10：00～16：00	講師：高村亮太 F：渡邊勇、藤原由美子、 近藤尚也	14 名
	第 2 回集合研修 （かでる 2.7 510 会議室）	11 月 11 日（土） 9：30～17：00	講師：高村亮太 F：出町勇人、日詰拓也、 渡邊勇	12 名
道南	第 1 回集合研修 （あいよる 21 2F 第 2 会議室）	8 月 27 日（日） 10：00～16：00	講師：木田祥平 F：葛西恭昭	2 名
	第 2 回集合研修 （あいよる 21 4F 集会室）	11 月 18 日（土） 9：30～17：00	講師：木田祥平 F：石橋直子	3 名
十勝	第 1 回集合研修 （とかちプラザ 401）	8 月 27 日（日） 10：00～16：00	講師：清野光彦 F：庄司圭佑、数田紗奈	4 名
	第 2 回集合研修 （とかちプラザ 401）	11 月 18 日（土） 9：30～17：00	講師：清野光彦 F：数田紗奈	6 名

科目：サービス管理・経営系科目				
eラーニング	⑦ 社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営（講義 1.5 時間）			
	⑧ 福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント（講義 1.5 時間）			
	⑨ リスクマネジメントと苦情解決システム（講義 1.5 時間）			
地区 支部	名称（場所）	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	第 1 回集合研 （かでる 2.7 920 会議室）	11 月 12 日（日） 10：00～16：00	講師：尾崎誠 F：出町勇人、日詰拓也、 渡邊勇	12 名
	第 2 回集合研修 （かでる 2.7 510 会議室）	1 月 13 日（土） 10：00～16：30	講師：出町勇人 F：藤原由美子、渡邊勇	13 名
道南	第 1 回集合研修 （あいよる 21 4F 集会室）	11 月 19 日（日） 10：00～16：00	講師：澁谷昌広 F：石橋直子	3 名
	第 2 回集合研修 （あいよる 21 2F 第 2 会議室）	1 月 20 日（土） 10：00～16：30	講師：澁谷昌広 F：関川敏江	3 名
十勝	第 1 回集合研修 （幕別町百年記念ホール 学習室 2）	11 月 19 日（日） 10：00～16：00	講師：高畑訓子 F：杉野全由	6 名
	第 2 回集合研修 （とかちプラザ 306）	1 月 20 日（土） 10：00～16：30	講師：高畑訓子 F：杉野全由	5 名

科目：人材育成系科目				
eラーニング	⑩ スーパービジョンのモデルセッション（講義 2 時間）			
	⑪ 新人教育プログラム（講義 1 時間）			
地区 支部	名称（場所）	開催日	講師・ファシリテーター	参加 人数
道央	集合研修 （かでる 2.7 510 会議室）	1 月 14 日（日） 9：30～17：00	講師：村山文彦 F：出町勇人、藤原由美子、 渡邊勇	13 名
道南	集合研修 （あいよる 21 2F 第 2 会議室）	1 月 21 日（日） 9：30～17：00	講師：近藤祐二 F：葛西恭昭	3 名
十勝	集合研修 （とかちプラザ 306）	1 月 21 日（日） 9：30～17：00	講師：高橋功成 F：庄司圭佑	5 名

(4)各種全国会議への担当理事派遣 <別表 2> 参照

(5)生涯研修委員会の運営 <別表 3> 参照

2.基礎研修講師による質向上のための取組

今年度は一部の科目のみ、講師による打合せを Zoom にて実施。その他は各地区にて委員が中心となり質の向上に努めるとともに、委員会でも各地区の進捗状況の確認等を行う。次年度についてはすべての科目の講師で打合せができる体制を構築していく。

3.スーパービジョン体制の整備

認定社会福祉士取得、また更新のために必須である「スーパービジョン」について、北海道社会福祉士会として支援していくために「三者契約に基づいたスーパービジョン」のマッチングを実施。

(1)スーパーバイザー登録

3 月 31 日現在 30 名

(2)マッチング事業

2023 年度 マッチング 13 件

第一次マッチング 6 件 10 月 1 日付契約者 6 名

第二次マッチング 13 件 3 月 1 日付契約者 13 名 合計 19 名

■現場実習指導者研修委員会

1.社会福祉士養成のための現場実習指導者の育成

(1)社会福祉士現場実習指導者養成研修会の開催

社会福祉士実習指導者講習会

場所：札幌医学技術福祉歯科専門学校 申込者 107 名 修了者 105 名

1 日目 10 月 14 日（土）10：00～18：00

時 間	内 容	担当講師
9：45～10：00	オリエンテーション／開講式	
10：00～12：00	【講義】実習指導概論	巻康弘会員（北海道医療大学）
12：45～14：45	【講義】実習マネジメント論	北村満広会員（美深福祉会）
15：00～18：00	【講義】実習プログラミング論	越石全会員（日本医療大学）

2 日目 10 月 15 日（日）9：00～18：00

時 間	内 容	担当講師・ファシリテーター
9：00～10：00	【演習】実習プログラミング演習	越石全会員（日本医療大学）
10：00～18：00	【講義・演習】 実習スーパービジョン論	講師 越石全会員（日本医療大学） 星野由利子会員（札幌麻生脳神経外科病院） 北村満広会員（美深福祉会） 金子一也会員（相談支援事業所結）
18：00～18：15	閉講式	

(2)第1回実習指導者フォローアップ研修

5月20日(土) 10:00~16:00

場所: 札幌市産業振興センター 受講者 23名

時 間	内 容	担当講師
10:00	開講	
10:05~12:00	【実践報告】 60時間実習におけるプログラムの実施の成果と課題	横田法律会員(西岡病院) 武者茜会員(札幌市厚別区第二地域包括支援センター) 北村満広会員(美深福祉会) 巻康弘会員(北海道医療大学)
13:00~14:30	グループ討議・報告	
15:15~15:45	総括	越石全会員(日本医療大学)
15:45	閉講	

(3)第2回実習指導者フォローアップ研修

3月16日(土) 10:00~16:00

場所: かでる 2.7 受講者 35名(学生5名含む)、他県士会 5名

時 間	内 容	担当講師
10:00	開講	
13:05~12:30	【実践報告】2か所実習におけるプログラムの連関と養成校・施設機関との連携における成果と課題	橋本恭尚会員(真栄病院) 久慈隆之会員(あつべつ南5丁目) 高木真理会員(羊ヶ丘養護園) 長濱章雄会員(旭川市立大学) 池田雅子会員(北星学園大学)
13:15~15:30	グループ討議・報告	
15:30~16:00	総括	越石全会員(日本医療大学)
16:00	閉講	

(4)日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック総会への参加

名称	開催日	開催場所	出席者	時間
第1回総会	5月29日(月)	オンライン	北村満広会員	18:30~19:30
第2回総会	12月10日(日)	オンライン	北村満広会員	10:00~11:00
第3回総会	3月29日(金)	オンライン	北村満広会員	18:30~19:30

(5)北海道医療大学ソーシャルワーク実習報告会への参加

場所: 北海道医療大学 11月30日(木)

出席者: 横田法律会員

(6)都道府県社会福祉士会実習指導担当者会議

12月3日(日) 13:00~17:00 Zoom開催

出席者: 越石全、北村満広(いずれも会員)

(7)実習指導者講習会プログラム検討プロジェクトチーム派遣

(日本社会福祉士会障害研修センター企画・運営委員会)

派遣者: 越石全会員

(8)現場実習指導者研修委員会の運営 <別表3>参照

■地域包括支援センター支援委員会

1.地域包括ケアの推進

(1)高齢者虐待対応現任者標準研修

- ・5月31日(水)~6月2日(金)
- ・会場: かでる 2・7 大会議室
- ・参加者: 100名(修了者98名)

(2)地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修会

- ・前期：10月7日（土）～8日（日）、後期：2月4日（日）
- ・かでる2・7（前期：10月7日 1020会議室、8日 310会議室 後期：540会議室）
- ・参加者：5名

(3)各地区支部における地域包括支援センター社会福祉士研修会の開催

地区支部	名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
道央	地域包括職員スキルアップ研修（札幌市社会福祉総合センター）	2月25日（土）	【テーマ】「地域課題から社会資源へ繋ぐ一個別地域ケア会議から生まれた心と心の交換ー」事例発表とグループワーク	9名
		7月29日（土）	地域包括支援センター社会福祉士懇談会	9名
		2月25日（土）	地域包括支援センター社会福祉士懇談会	4名
道南	地域包括支援センター支援委員会「自己評価シート研修」（亀田交流プラザ）	2月20日（火）	社会福祉士における地域包括支援センターネットワーク構築について～地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修について～ 講師：澁谷昌広会員	18名
道北	地域包括支援センター職員自己評価シート研修（旭川市勤労者福祉会館）	11月19日（日）	自己評価シートの活用について 松林邦昭会員（旭川市社会福祉協議会地域共生課課長）	5名
ホーツク	地域包括支援センター自己評価研修	3月28日（木）	「自己評価シートの概要について」 講師：高桑純一会員	4名
日胆	地域包括支援センター自己評価研修会（苫小牧市民活動センター）	11月24日（金）	自己評価シートの活用と事業評価 浅野豊会員（苫小牧市中央地域包括支援センター）	17名
十勝	地域包括支援センター職員等研修（帯広市グリーンプラザ集会室）	3月22日（金）	「高齢者福祉と障がい者福祉の連携について考える」 講師：森真二氏（社会福祉法人慧誠会 相談支援事業所）	12名
釧根	地域包括支援センター委員会「自己評価シート」研修	—	※参加希望者おらず中止。	—

(4)各地区支部における虐待対応等研修会の開催

地区支部	名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
道央	高齢者虐待対応研修（札幌市社会福祉総合センター）	7月29日（土）	「行政と包括、効果的な連携とは」 講師：森本友香氏（社会福祉法人栄和会法人本部事業運営係長）	39名
道南	高齢者虐待対応研修（コミュニティホールこん）	3月22日（金）	令和4年度「高齢者虐待防止法」に基づく対応状況等に関する調査結果について 令和5年度3月「市町村・都道府県における高齢者虐待への対応と養護者支援について」（国マニュアル）の主な改定内容について 講師：澁谷昌広会員 実践報告：高齢者虐待対応について 報告者：上田亜季会員、岡本勉会員	25名
道北	高齢者虐待対応ソーシャルワーク研修会（旭川市ときわ市民ホール）	3月22日（金）	行政説明「高齢者虐待に関する動向と課題」 乙幡美佐江氏（厚生労働省老健局 高齢者支援課 高齢者虐待防止対策専門官） 情報交換	8名

ホーツ	虐待対応研修	12月22日 (金)	「高齢者虐待対応について」 講師：島崎顕生会員（手稲区社会福祉協議会）	31名
日胆	高齢者虐待対応研修		※未実施	
十勝	令和5年度地域包括支援センター等意見交換会・令和5年度虐待研修（十勝振興局4階A.B会議室） 十勝振興局と合同開催	11月1日 (水)	「高齢者虐待防止法と市町村・市域包括支援センターの対応において」 講師：渡辺直美氏（帯広市市民福祉部福祉支援室 介護高齢福祉課高齢者福祉係係長） 事例発表「セルフネグレクト～連鎖への介入～」 発表者：臼井順子氏（芽室町地域包括支援センター あいあい管理者）	42名
釧根	令和5年度釧根地区支部高齢者虐待対応研修	3月9日 (土)	『釧根地域に実際にあった高齢者虐待対応の一連の流れから虐待対応にあたった関係機関の視点と連携方法を学ぶ』	21名

(5)地域包括支援センター支援委員会の運営 <別表3>参照

■虐待対応専門職チーム運営委員会

1.委員会の開催

2.虐待対応専門職チーム派遣

11回 14名派遣（弁護士 11名 社会福祉士 13名）

内訳：札幌市 10回（ケース会議等）

京極町 1回（ケース振り返り・研修会講師）

夕張市 1回（研修会講師）

3.札幌市委託事業

(1)対応職員研修（行政・地域包括支援センター）

名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
2023年度札幌市高齢者虐待対応関係職員研修（行政、地域包括支援センター職員向け） （かでの2.7）	10月25日 (水)	講義：高齢者虐待における困難性が高い養護者への対応について 講師：石塚慶如弁護士（ゆいと法律事務所） 講義：高齢者虐待対応における養護者支援の重要性～養護者支援と養護者対応の違い等 講師：石崎剛会員（社会福祉法人栄和会特別養護老人ホームあつべつ南5丁目施設長）	77名

(2)介護支援専門員対象研修

名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
2023年度札幌市高齢者虐待対応関係職員研修（介護支援専門員向け） （オンデマンド配信）	3月8日（金） ～3月18日（月）	行政説明：「札幌市における高齢者虐待対応について」 札幌市保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課 講義：介護支援専門員による高齢者虐待に関連した家族支援と、区や地域包括支援センターとの連携について 講師：村山文彦会員（社会福祉法人禎心会ケアセンターら・せれな施設長）	374名

(3)虐待対応専門職チーム勉強会

名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
2024年虐待対応専門職チーム勉強会 （オンライン）	3月12日 (火)	講義：今年度改訂された厚生労働省マニュアルの改訂の趣旨や動向などの解説 講師：乙幡美佐江氏（厚生労働省老健局 高齢者支援課 高齢者虐待防止対策専門官）	30名

IV.社会福祉士等の資格取得の支援に関する事業

■企画総務委員会

1.国家試験対策の推進

(1)全国統一模擬試験の実施

10月1日(土) 受験者合計 15名 欠席者 0名 申込合計 15名

会場		申込者数	受験者数	備考
札幌	かでる 2.7	2名	2名	
釧路	釧路市総合福祉センター	1名	1名	
函館	北海道職業能力開発促進センター函館訓練センター	2名	2名	
帯広	幕別町百年記念ホール	1名	0名	在宅受験へ変更
北見	北見市西地区公民館	1名	1名	
旭川	旭川市立大学	5名	5名	
苫小牧	苫小牧市民活動センター	0名	0名	
自宅受験		3名	4名	
団体受験	なし			

(2)受験生激励・入会促進活動

①第36回社会福祉士国家試験当日の受験生へ激励のポケットティッシュ配布活動を札幌会場・釧路会場にて行った。

②入会促進活動

3月5日の国家試験合格発表後、ホームページに合格祝いのメッセージを掲載した。また、公式 Facebook にもお祝いのメッセージを投稿し、入会案内を促した。

V.相談援助従事者の養成及び技術の研鑽に関する事業

■障がい者等地域生活支援委員会

1.障がい者等の地域生活支援の推進

(1)委員会の開催 <別表3>参照

(2)障がい者等地域生活支援セミナーの開催

名称(場所)	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
虐待防止研修会 (オンライン)	9月23日 (土)	①特別講座「虐待防止と権利擁護について」 講師：國松直人会員(相談支援センターとまるん相談支援専門員) ②演習「新任介護職員の声から」 「虐待発生後の対応について」 講師：今井敦会員(旭川市神楽・西神楽地域包括支援センターセンター長) ③講義「研修のまとめと振り返り」 講師：今井敦会員	73名 <内訳> 障がい分野 67名 高齢分野 6名

日本社会福祉士会養介護施設における虐待防止に関する実証的研究委員会が作成したプログラムを活用し実施した。

(3)障がい者等地域生活支援研修会(認定社会福祉士認証・認定機構 認証研修)

※今年度は未実施。

(4)障がい者人権啓発セミナー

名称(場所)	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
「障がい者等人権啓発セミナー」 (オンライン)	3月24日 (日)	講演：インクルージョンとは～インクルージョンの理解と実践、今後の展望について～ 講師：島信一郎氏(インクルージョン未来推進機構代表)	8名

VI.社会福祉団体その他の関係団体との連携に関する事業

■企画総務委員会

- 1.関係団体等との連携 <別表 2>参照
 - (1)日本社会福祉士会との協働
 - (2)ソーシャルワーク関係団体（北海道介護福祉士会、北海道医療ソーシャルワーカー協会、北海道精神保健福祉士協会）との連携
 - (3)北海道医師会、弁護士会、司法書士会他関係団体との連携
 - (4)その他、会活動にとって有益となる事業への共催、協賛等

VII.その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■生活困難者支援委員会

- 1.委員会の開催 <別表 3>参照
- 2.「北海道のハンセン病問題に関する協議会」への参加

会議の名称	開催月日	開催場所	参加者
北海道のハンセン病問題に関する協議会 （北海道、札幌弁護士会、北海道社会福祉士会、ハンセン病問題を考える会、ハンセン病問題と教育を考える市民の会コンパス、ハンセン病回復者と北海道をむすぶ会） ハンセン病市民学会開催地実行委員会	4月17日（月）	札幌弁護士会館 （オンライン）	清野光彦会員 渡辺洋一郎会員
	4月26日（水）		
	6月29日（木）		
	8月1日（火）		
	8月29日（火）		
	9月13日（水）		
	10月12日（木）		
	11月14日（火）		
	12月19日（火）		
	1月16日（火）		
	2月13日（火）		
	3月14日（木）		

- ・2023年度ハンセン病市民学会交流集会への参加
5月20日（土）～21日（日） 場所：鹿児島県鹿屋市
参加者：渡辺洋一郎会員（2024年度札幌開催に向けた視察含む）

【協議会が主催する事業への協力】

- ・第18回ハンセン病市民学会全国交流集会 in 北海道 プレ企画
テーマ：「貴方は確かにそこにいた～ハンセン病問題が問いかけるもの～」
日時：1月11日（木）17：00～
参加実績：112名（会場参加53名、Zoom参加59名） 委員2名参加（渡辺、清野）
会としての関わり：ホームページでの周知、当日運営補助等

3.重層的支援セミナー

事業の名称	開催月日	内容（テーマ）・講師	参加人数
重層的支援セミナー	11月16日（木）	講演：重層支援体制整備事業の概要と導入の背景取組について 講師：佐々木祐也会員（津別町保健福祉課福祉係長） 実践講演：谷口真樹氏（七飯町福祉課長） 草森秀和氏（音更町福祉課福祉係長）	61名

4.困窮者支援セミナー

事業の名称	開催月日	内容（テーマ）・講師	参加人数
困窮者支援セミナー	3月17日（日）	講演：生活困窮する人々の多様な生と生活困窮支援ー生活保護・生活困窮者支援・スティグマー 講師：松岡是伸氏（北星学園大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授） 講演：生活困窮者支援における支援者支援～どうねつとが出来るまで～ 講師：佐渡洋子氏	51名

5.ちょっと聴きたい連続講座

事業の名称	開催月日	内容（テーマ）・講師	参加人数
第1回	7月27日 (木)	講演：中高年のひきこもりについてー8050問題を見据えてー 講師：田中敦氏（NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク理事長）	50名
第2回	9月28日 (木)	講演：セーフティネットとしての生活保護 講師：出町勇人会員（社会福祉士事務所ポジティブ・ワークス代表）	46名
第3回	11月30日 (木)	講演：包括の視点からの8050問題 講師：今井敦会員（旭川市神楽・西神楽地域包括支援センターセンター長）	54名
第4回	1月18日 (木)	講演：ハンセン病差別問題 講師：平田淳会員（社会福祉士事務所たりたり代表）	30名

※第3回からは開催日の翌日から2週間の期間で「見逃し配信」を実施。

6.メール相談対応：0件

■災害対策委員会

- 1.委員会の開催 <別表3>参照
- 2.北海道 DWAT との連携

会議の名称	開催月日	内容等
第1回北海道災害福祉支援ネットワーク会議	7月25日 (火)	派遣に関する協定の締結状況について チーム員候補者、協力館員及び登録者数について 個別訓練計画の作成状況について
北海道災害派遣福祉チーム (DWAT) チーム員登録研修	2月1日(木) (オンライン研修)	チーム員登録研修受講者 14名
北海道災害派遣福祉チーム (DWAT) チーム員リーダー研修	3月1日(金)	チームリーダー登録研修受講者 7名
令和6年能登半島地震における本会会員の派遣	① 2月13日 ～2月18日 ② 2月21日 ～2月26日	①本会会員を1名派遣 ②本会会員を2名派遣

3.災害支援者研修会の開催

会議の名称	開催月日	内容（テーマ）・講師	参加人数
災害支援研修会	2月17日 (土) (オンライン)	テーマ：災害時におけるソーシャルワーカーの役割～石巻市への12年間のソーシャルワーク支援から考える～ 講師：笹岡眞弓氏（日本医療大学総合福祉学部ソーシャルワーク学科教授）	20名

4.都道府県社会福祉士会災害担当者会議の参加

会議の名称	開催月日	内容等
都道府県社会福祉士会災害担当者会議	2月25日 (日)	災害福祉支援ネットワーク中央センターの事業実施状況、県士会からの報告（2団体）

■司法分野との連携特別委員会

1. 委員会の開催 <別表 3>参照
2. 認定社会福祉士認証 リーガルソーシャルワーク研修の開催

名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
リーガルソーシャルワーク研修 (Zoom)	8月19日 (土)	【講義1】 司法に関する基礎的知識 ①刑事司法の概要・手続き、障がい者への取り調べの支援 講師：新堂有亮氏 ②犯罪の動向、再犯防止の取り組み 講師：高橋優紀氏 【講義2】 行政説明 ①高齢・障がいを持つ方、受刑者の現状 講師：萱原芳之氏 ②更生保護の概要 講師：畠山茂祥氏 ③地域定着促進事業 講師：小松大記氏 【講義3】 犯罪及び被害者の理解 講師：浦澤佳弘氏	10名 道外5名 道内5名
	8月20日 (日)	【講義4】 ソーシャルワークの視点 講師：湯浅弥氏 【演習】 支援の実際 講師：湯浅弥氏 (グループワーク)	

3. 刑事司法分野の実践報告会

名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
刑事司法分野の実践報告会 (Zoom 開催)	11月19日 (日)	実践報告者： 今井敦会員（神楽・西神楽地域包括支援センター） 高橋鑑一会員（特定非営利活動法人小呂野ゆあさ社会福祉士事務所） ・グループディスカッション	8名 道内6名 道外2名

4. 司法分野における社会福祉士の関与のあり方を考える学習会～応用編～の開催

名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
司法分野における社会福祉士の関与のあり方を考える学習会～応用編～ (Zoom)	3月2日 (土)	【テーマ：少年事件について】 講義：家庭裁判所調査官の役割と少年審判について 講師：佐藤洋美会員（元家庭裁判所調査官） 事例紹介 「性犯罪事案における付添人の活動と少年審判」 富田佳佑会員（りんどう法律事務所 弁護士） グループワーク 「少年犯罪の理解と社会福祉士の関与の在り方」 佐藤洋美会員、富田佳佑会員	16名 会員11名 非会員5名

5. その他

- (1) 「罪に問われた障がい者等の刑事弁護の体制整備等に関する研修・意見交換会」（オンライン）
 5月11日（木）日本弁護士連合会主催
 久保田理事参加
- (2) 「リーガル・ソーシャルワーク研修」研修移管説明会（オンライン研修）
 8月26日（土）日本社会福祉士会主催
 久保田理事、鷺津委員出席
- (3) 「北海道再犯防止推進計画」に係る再犯防止関係用語の確認（書面協力）
 北海道再犯防止推進会議構成員 久保田理事確認

(4)日本社会福祉士会 司法福祉に関するアンケート調査（書面協力）

(5)令和 5 年度第 2 回北海道再犯防止推進会議（書面開催）
2 月 1 日（木）

(6)令和 5 年度 北海道ブロック再犯防止シンポジウム（アスティホール）
2 月 3 日（土）
篠原理事出席

(7)「リーガル・ソーシャルワーク研修」（オンライン研修）
2 月 17 日（土）～18 日（日）日本社会福祉士会主催
久保田理事 ファシリテーター協力

■子ども未来部会

- 子ども未来部会の開催 <別表 3>参照
 - 子どもを取り巻く現状と課題に基づき事業を企画した。
 - これからの取組みについて協議を行った。

2.講演会・シンポジウムの開催

名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
子どもの未来を考えるセミナー07～オンライン	11 月 25 日 （土）	講演：苫小牧市の児童相談と機関連携について 講師：米田浩二氏（苫小牧市健康こども部こども相談課 こども相談監） ・意見交換（がやがやタイム） テーマ「子どもを虐待から護るために、私たちができる こと」	17 名

3.子どもの未来を考える勉強会の開催

名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
子どもの未来を考える勉強会 07～オンライン（Zoom）～	3 月 21 日 （木）	講演：学習支援を通じた困難を抱える子どもへの支援の 実践について 講師：高橋勇造会員（認定 NPO 法人 Kacotam 理事長） ※欠席者に対し後日動画配信	13 名

4.オンラインでの意見交換会の実施

名称（場所）	開催日	内容「テーマ」・講師	参加人数
子どもの未来を考える～オンラインで“がやがやタイム 2023”～	1 月 31 日 （水）	話題提供：現場からの話題提供～コロナ禍その後の子どもたち～ 報告者 梶川幸雄会員（西紋こども発達支援センター） 中居知子会員（しんことに清香こども園園長） 藤井三四郎会員（函館中央病院総合医療支援センター こども子育て支援室） ・意見交換（がやがやタイム） テーマ「コロナ禍その後～子どもたちと安心して暮らす ためにできることを考える～」	8 名

■倫理委員会

- 定款上の事業位置づけ
定款第 4 条第 1 項第 1 号（社会福祉の援助を必要とする住民の生活と権利の擁護に関する事業）

2.委員会の設置根拠

本委員会は、本会組織規則（規則第 6 号）第 4 条に基づき、会員の行動規範、懲罰、倫理、苦情対応及び不服申し立て等に関することを審議する機関として設置されて、その運営は本会正会員に対する倫理綱領に関する規則（規則第 9 号）第 2 条に基づき、本会組織において独立した立場で活動している。

3.委員会の開催 <別表3>参照

■ばあとなあ業務監査委員会

1.定款上の事業位置づけ

定款第4条第1項第1号（社会福祉の援助を必要とする住民の生活と権利の擁護に関する事業）

2.委員会の設置根拠

本委員会は、本会会権利擁護センター「ばあとなあ北海道」業務監査委員会の設置及び運営に関する規程にて成年後見制度等権利擁護に関する業務の適正化を目的として設置されている。

3.開催状況

10月12日（木） 第1回業務監査委員会開催 委員5名（外部3名、内部2名）、理事4名

C. 組織・運営の強化

I.事務所の運営、専従職員の配置

1.独立事務所の運営

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階

電話：011-213-1313 FAX：011-213-1314 E-Mail：info@hokkaido-csw.or.jp

電話は平日の9：30～12：00、13：00～16：30で対応した。

2.専従職員2名を週5日（平日）配置した。

3.専従事務局長を配置し、法人運営、労務管理等に当たった。

II.地区支部組織の強化

1.地区支部活動への助成 3,434,500円

（1地区支部あたり配分金）

共通経費分	50,000円	
会員割	500円×会員数	
必須事業分	210,000円	社会福祉士セミナー、評価シート研修、虐待対応研修、権利擁護研修、ばあとなあ研修
独自事業分	100,000円	

III.地区支部事業報告

必須事業については、本部と連動しての開催であり、本部各委員会から報告

1.道央地区支部

（1）セミナー・研修会

研修名称・場所	開催日	内容・講師	参加人数
司法福祉セミナー （札幌市社会福祉総合センター）	10月21日 （土）	「受刑者の人権－具体的な事例を交えて－」 講師：芦田和真弁護士（札幌弁護士会）	23名
災害支援推進セミナー （札幌市社会福祉総合センター）	9月23日 （土）	「災害支援の心構え－東日本大震災の体験から－」 講師：石崎剛会員（道央地区支部災害支援委員） 「社福士会の災害支援活動と活動方針」 「災害支援におけるニーズ把握・アセスメント方法」 講師：柏浩文会員（道央地区支部事務局長）	12名
生活貧困支援セミナー （小樽市いなきたコミュニティセンター）	11月25日 （土）	「自立相談支援機関の取り組みから学ぶ生活困窮者支援の実践」 報告者： 大口明男氏（小樽市福祉総合相談室主幹） 小川貴子氏（札幌市生活就労支援センター長） 伊藤寛氏（函館市地域包括ケア推進課長）	19名

(2)学習会・勉強会

名 称	開催日	内容（テーマ）・講師	参加人数	場所
会員サロン	4月22日 (土)	「市町村における権利擁護ネットワーク」 講師：中村健治氏（北海道社会福祉協議会成年後見制度推進バックアップセンター運営委員）	28名	美唄市福祉総合センター
	5月20日 (土)	「子ども支援・親支援」 講師：中居知子氏（しんことに清香こども園園長）	9名	札幌市社会福祉総合センター
	8月19日 (土)	「障がい現場から教壇へーソーシャルワーカーへのメッセージー」 講師：大久保薫氏（札幌学院大学人文学部教授）	22名	札幌市社会福祉総合センター
	11月4日 (土)	「これからソーシャルワーカー実習を受け入れる方へ後進の育成をどう考えるかー」 講師：伊藤新一郎氏（北星学園大学社会福祉学部教授）	15名	札幌市社会福祉総合センター
	3月2日 (土)	「子ども支援ースクールソーシャルワーカー等の支援を通じてー」 講師：今西良輔氏（札幌大谷大学短期大学部准教授）	12名	札幌市社会福祉総合センター

(3)新入会員との懇談会の開催

開催場所	開催日	参加人数	出席者
札幌市社会福祉総合センター	5月27日（土）	6名	支部長・事務局長・事務局次長
札幌市社会福祉総合センター	7月22日（土）	10名	支部長・海老副支部長・事務局長

(4)児童分野で働く会員との懇談会の開催

事前打合せ 7月13日(木) しんことに清香こども園 事務局長・中居幹事

開催場所	開催日	参加人数	出席者
エルプラザ	9月28日（木）	8名	支部長・事務局長・中居幹事
エルプラザ	2月16日（金）	4名	支部長・事務局長・中居幹事

(5)障がい分野で働く会員との懇談会の開催

事前打合せ 9月7日(木) 札幌市民活動プラザ 事務局長・高村幹事

開催場所	開催日	参加人数	出席者
札幌市社会福祉総合センター	2月29日（木）	6名	支部長・事務局長・高村幹事

(6)市町村役場等との懇談会の実施

日時等：3月15日（金） 豊平区民センター 事務局長対応

懇談相手：北広島市社協 風間次長・今主査

内 容：中核機関設置に伴う委員会委員の派遣について

(7)選挙管理委員会の開催

日時等：4月11日（木） 札幌市社会福祉総合センター 4名出席

構成員：深沼みどり会員(委員長)・土屋由佳会員・荒正和会員・事務局長

内 容：応募者資格要件の確認、全体会での役割分担等

(8)災害支援委員会の開催

日時等：5月12日（金） Zoom 5名出席

構成員：五十嵐陽子会員・石崎剛会員・柏浩文事務局長・芳賀憂子事務局次長・日詰拓也会員

松尾真由美会員

内 容：道災害派遣福祉チーム、災害支援セミナーの開催内容等

(9)災害支援モデル事業の取り組み

大規模災害時(地震等)における社会福祉士及び道央地区支部の役割について、具体的な災害支援の想定を通じて明確化し、万が一に備えるため、近隣居住の会員や学生に呼びかけ、災害支援や施設

の理解を深める。

- ①しんことに清香こども園との事前打合せ 7月13日(木) 同施設 事務局長
 ②しんことに清香こども園の説明会 10月14日(土) 同施設 6名参加

(10)ブロックの取り組み

- ①後志ブロック打合せ 7月24日(月) Zoom 事務局長・吉村幹事
 ②空知ブロック打合せ 8月14日(月) Zoom 事務局長・日詰幹事

(11)監事監査の実施

4月20日(木) エルプラザ

出席者：齋藤監事・高橋監事・支部長・事務局長・鈴木健幹事

(12)総会・役員会・委員会

総会・会議名	開催日	参加人数	内 容
道央地区支部全体会	6月10日(土) 札幌市社会福祉総合センター	250名 (出席39名・ 書面評決 139名・委任状72名)	議案第1号 2022年度事業報告及び決算 議案第2号 2022年度監査報告 議案第3号 2023年度事業計画(案)及び予算(案) 議案第4号 道央地区支部役員の選任 議案第5号 ばあとなあ道央地区支部合議体構成員の選任
全体会ランチ交流会	6月10日(土) 揚子江	26名	会員相互の交流
三役会議 (ズーム)	4月14日(金)	5名	地区支部全体会、社会福祉セミナー等
	5月11日(木)	4名	地区支部全体会、社会福祉セミナー等
	6月13日(火)	7名	役員の役割分担、災害支援セミナー等
	7月6日(木)	7名	会員サロン、災害支援セミナー等
	8月10日(木)	5名	権利擁護・司法福祉セミナーについて等
	9月14日(木)	8名	権利擁護・司法福祉セミナーについて等
	10月12日(木)	8名	会員との懇談、生活困窮セミナーについて等
	11月9日(木)	6名	会員サロン、生活困窮セミナーについて等
	12月7日(木)	6名	地区支部全体会、社会福祉セミナーについて等
	2月13日(火)	6名	事業計画、予算について等
	3月7日(木)	4名	事業計画、予算について等
役員会 (エルプラザ)	4月20日(木)	13名	地区支部全体会、社会福祉セミナー等
	6月22日(木)	18名	役員の役割、役割分担、災害支援セミナー等
	8月24日(木) 懇親会	15名 12名	権利擁護・司法福祉セミナー等について
	10月26日(木)	15名	会員との懇談、生活困窮セミナーについて等
	12月22日(金) 懇親会	16名 15名	地区支部全体会、社会福祉セミナーについて等
	2月22日(木)	15名	事業計画、予算について等

(13)他の会議等への出席、派遣等

事業名称	開催日	内容	参加人数	出席者等
石狩市いじめ問題調査委員会	不定期	委員委嘱		柏事務局長
人権擁護委員会	随時	委員委嘱		金野幹事
江別市成年後見制度利用促進協議会	年2回	委員委嘱		菅支部長
江別市成年後見制度地域連携ネットワーク協議会	年1回	委員委嘱(新規)		細谷ばあとなあ合議体
江別市成年後見支援センター受任調整会議	随時	委員委嘱		成田ばあとなあ合議体
札幌市社会福祉協議会権利擁護審査会	年6回	委員委嘱		里村ばあとなあ合議体

札幌市市民後見推進事業運営委員会	年 4 回	委員委嘱		里村ばあとなあ合議体
札幌市介護認定審査会	月 2 回	委員委嘱		会員 22 名
札幌市障害認定区分審査会	月 2 回	委員委嘱		会員 4 名
小樽市障害認定審査会	月 2 回	委員委嘱		柏事務局長・藤根会員
江別市医療介護連携推進協議会	年 3 回	委員委嘱		菅支部長
札幌市地域福祉社会計画審議委員会	年 4 回	委員委嘱		菅支部長
札幌市成年後見推進協議会	年 2 回	委員委嘱		菅支部長
札幌市成年後見推進センター専門相談	年 8 回	相談員派遣		菅支部長
岩見沢市成年後見センター運営協議会	年 1～2 回	委員委嘱		菅支部長
岩見沢市成年後見センター事例検討部会	年 6 回	委員委嘱		安田会員
北広島市成年後見センター運営委員会	年 2 回	委員委嘱（新規）		柏事務局長
北広島市成年後見センター後見人等候補者検討会	月 1 回	委員委嘱（新規）		里村ばあとなあ合議体
恵庭市成年後見センター受任調整会議	月 1 回	委員委嘱（新規）		佐藤ばあとなあ合議体
矯正研修所札幌支所福祉的支援担当者研修	年 1 回	講師派遣（新規）		柏事務局長
札幌市市民後見人養成研修	年 1 回	講師派遣		長井幹事、里村・古山ばあとなあ合議体
札幌市社会福祉協議会苦情解決に関する第三者委員	随時	委員委嘱		出町副支部長
北海道手話通訳者養成講座	年 1 回	講師派遣		菅支部長
千歳市成年後見支援センター受任調整委員会	年 9 回	委員委嘱		柏事務局長
札幌市地域包括支援センター運営協議会委員	年 2～3 回	委員委嘱		海老副支部長
札幌家裁岩内支部家事調停委員候補者	不定期	委員委嘱		駒田会員
札幌家裁小樽支部家事調停委員候補者	不定期	委員委嘱（新規）		星会員
石狩市社協中核機関受任調整会議	不定期	委員委嘱（新規）		長井幹事
札幌市共同募金委員会助成審査部会	年 1 回	委員委嘱（新規）		近藤幹事
釧路地区社協連絡協議会	年 1 回	講師派遣（新規）		柏事務局長
札幌市介護支援専門員連絡協議会白石区定例研修会	年 1 回	講師派遣（新規）		出町幹事
豊平区高齢者虐待研修会	年 1 回	講師派遣（新規）		島崎副支部長
札幌市成年後見推進センター関係者向け研修会	年 1 回	講師派遣（新規）		長井幹事
札幌市生活支援員登録に受けた研修・説明会	年 1 回	講師派遣（新規）		里村ばあとなあ合議体
地域に理解され支持される社協づくり研修（十勝社会福祉連絡協議会）	年 1 回	講師派遣（新規）		柏事務局長

(14)広報に関すること（広報誌の発行、ホームページ運営等） 発行部数

主な内容	発行部数（方法）	発行月
地区支部ホームページの運営	各種セミナー・会員サロン等の案内周知	2017 年開始・随時更新
セミナー等案内の発信	800 部・道士会メーリングによる案内送付	年 6 回程度

2.道南地区支部

(1)セミナー・研修会

研修名称、場所	開催日	内容（テーマ）・講師	参加人数	共催
司法連携研修会 函館弁護士会館	4 月 19 日 （水）	事例検討： 事例提供者① 函館弁護士会 弁護士 事例提供者② 山村哲氏会員 事例提供者③ 近藤祐二会員	25 名	函館弁護士会

司法連携研修会 函館弁護士会館	6月21日 (水)	事例検討： 事例提供者① 函館弁護士会 弁護士 事例提供者② 岩佐宏希会員	27名	函館弁護士 会館
司法連携研修会 函館弁護士会館	8月23日 (水)	事例検討： 事例提供者① 函館弁護士会 弁護士 事例提供者② 高橋鑑一会員	18名	函館弁護士 会
司法連携研修会 函館弁護士会館	10月25日 (水)	事例検討 事例提供者① 葛西秀和会員（函館弁護士会） 事例提供者② 湯浅弥会員	20名	函館弁護士 会
司法連携研修会 函館弁護士会館	1月24日 (水)	事例検討 事例提供者① 葛西秀和会員（函館弁護士会） 事例提供者② 湯浅弥会員	25名	函館弁護士 会
令和5年度SW 三団体合同研修 会 亀田交流プラザ ハイブリット開 催	3月2日 (土)	テーマ： 「地域を変えよう！身元保証人問題の解決に向けて ～権利擁護の担い手として私たちがいるために～」 第一部 講演 講師：林祐介氏（日本福祉大学准教授） 第二部 パネルディスカッション パネリスト： 阿部綾子氏（北海道医療ソーシャルワーカー協会） 山村哲氏（北海道精神保健福祉士協会） 湯浅弥会員	106 名	日本福祉大 学道南地域 同窓会／ 北海道医療 ソーシャル ワーカー協 会南支部／ 北海道精神 保健福祉士 協会道南ブ ロック

(2)学習会・勉強会

研修名称、場所	開催日	内容（テーマ）・講師	参加 人数
第1回定例学習会 函館コミュニティ プラザGスクエア ハイブリット開催	6月9日 (金)	講演：誇りある支援者であるために－権利擁護実践のための学 び 講師：木田祥平会員	42名
第2回定例学習会 函館総合福祉セン ターあいよる21	9月28日 (木)	連続講座：「倫理的ジレンマについて」（第1回） 講師：湯浅弥氏会員 報告者：小西真帆会員	22名
第3回定例学習会 亀田交流プラザ	11月30日 (木)	連続講座：「倫理的ジレンマについて」（第2回） 講師：湯浅弥氏会員 報告者：小西真帆会員	16名
第4回定例学習会 亀田交流プラザ	2月6日 (火)	連続講座「倫理的ジレンマについて」（第3回） 講師：湯浅弥氏会員 報告者：石橋直子会員	10名
第5回定例学習会 亀田交流プラザ	3月26日 (火)	連続講座「倫理的ジレンマについて」（第4回） 講師：湯浅弥氏会員	11名

(3)他の会議への出席、派遣等

事業名称	開催日	事業内容	出席者等
第73回“社会を明る くする運動”道南地 方推進委員会	5月25日 (木)	第73回委員会実施要綱・主催行事予定につい て	湯浅弥氏会員 (書面による議決参 加)
令和5年度 函館性暴力被害防止 対策協議会	2月21日 (水)	令和4年度活動報告・令和5年度活動計画等	関川敏江氏会員
函館市成年後見セン ター運営協議会委員 会	適宜	函館市成年後見センター運営に係る意見交換 等	岩佐宏希氏会員

函館市いじめ対策審議会委員会	適宜	いじめ防止・早期発見対処・重大事態に関する調査審議を目的に情報共有・意見交換等	山村哲会員
令和 5 年度福祉職場説明会	7 月 8 日 (土)	関係団体・関係機関による福祉職場説明	関川敏江会員
2023 年函館脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会	9 月 20 日 (水) 11 月 11 日 (土)	講習会の企画運営への参加	横山雅裕子会員
函館市福祉のまちづくり推進委員会	適宜	福祉のまちづくり推進に関する重要事項の調査審議	湯浅弥会員
令和 5 年度家事関係機関との連絡協議会 (Zoom)	11 月 14 日 (火)	中核機関の設置に向けた取り組み状況について	湯浅弥会員 岩佐宏希会員 澁谷昌広会員
令和 5 年度法テラス函館地方協議会	11 月 22 日 (水)	法テラスの利用方法を中心とした業務説明 法律家が関与した支援事例紹介	石橋直子会員

(4)広報に関すること

主な内容	発行部数 (方法)	発行月
メールにて研修会等の情報提供	メーリングリスト登録者に送信	随時
2023 年度北海道社会福祉士会地区支部 NEWS	支部会員全員に郵送	令和 5 年 9 月 (第 1 号) 令和 6 年 3 月 (第 2 号)

(5)総会・委員会・役員会

総会・会議名称	開催日	参加人数
2023 年度地区支部全体会	令和 5 年 6 月 9 日	42 名
2023 年度第 1 回役員会	令和 5 年 5 月 24 日	20 名
2023 年度第 2 回役員会	令和 5 年 8 月 22 日	11 名
2023 年度第 3 回役員会	令和 5 年 12 月 4 日	17 名
2023 年度第 4 回役員会	令和 6 年 3 月 11 日	15 名

3.道北地区支部

(1)セミナー・研修会

研修名称・場所	開催日	内容 (テーマ)・講師	参加人数	主催／共催
上川中部ブロック活動	随時	DVD「面接への招待」・「気づきの事例検討会」の貸し出し	0 件	同社会福祉士会上川中部ブロック
上川中南部ブロック活動 (旭川市市民活動交流センター COCODE)	9 月 7 日 (木)	第 36 回ワーカーズサロン 「地域まるごと支援員を学ぼう」 菊池久志氏 (旭川市社会福祉協議会 地域まるごと支援員)	23 名	主催／道社会福祉士会道北地区支部 共催／北海道精神保健福祉士協会道北ブロック、北海道介護福祉士協会道北支部
	3 月 15 日 (金)	第 37 回ワーカーズサロン 「わたしの原点 (自分史) を語ろう」 石戸谷康治会員 (旭川市社会福祉協議会) 佐藤剛氏 (旭川市障害者総合相談支援センターあそと) 馬場剛氏 (当麻町地域おこし協力隊)	16 名	主催／道社会福祉士会道北地区支部 共催／北海道精神保健福祉士協会道北ブロック、北海道介護福祉士協会道北支部
上川 (旧) 南部ブロック活動 富良野文化会館	12 月 9 日 (土)	講演「周りの理解と支えによって」 宮崎哲氏 (パラスイマー) ※講演会参加後交流会実施	5 名	主催／富良野市地域自立支援協議会富良野部会、富良野市後援／道社会福祉士会道北地区支部

上川北部・宗谷ブロック		活動実績なし		
青年部活動 駅前交流プラザよろ ーな（名寄市）	9月15日 （金）	講演「精神疾患の基礎知識～ケースが 統合失調症でも慌てないために～」 鈴木敦子氏（名寄市立総合病院 2 階北 病棟 看護科長）	46 名	主催／道社会福祉士 会道北地区支部 共催／名寄市基幹相 談支援センター

※青年部活動…若手の会員や未会員に対して研修を行い、支援の質の向上を図るとともに、加入率向上、
将来の支部運営を担う人材養成を目的とした活動

(2)学習会・勉強会

研修名称、場所	開催日	内容（テーマ）・講師	参加人数	共催
春季セミナー 旭川市障害者福祉セ ンター・オンライン	6月3日 （土）	講演「重層的支援体制整備事業について」 添田正揮氏（日本福祉大学社会福祉学部社会福 祉学科准教授） 実践報告 ・旭川市におけるとりくみ 松林邦昭会員（社会福祉法人旭川市社会福祉協 議会地域共生課課長） ・鷹栖町におけるとりくみ 中出幸恵氏（社会福祉法人鷹栖町社会福祉協議 会重層的支援コーディネーター）	29 名	
秋季セミナー 名寄市立大学・オン ライン※再掲	11月18日 （土）	「子どものいまを知る」 鈴木勲会員（名寄市立大学保健福祉学部社会保 育学科准教授） 近藤純子会員（名寄市教育委員会スクールソー シャルワーカー）	22 名	
司 法 福 祉 委 員 会 WEB 勉強会	①6月12日 （月） ②10月23日 （月） ③2月5日 （月）	①犯罪を犯したものの又は非行少年に対する社 会福祉士の関与の在り方について“part4” 事例提供：佐藤洋美会員（旭川市福祉保険部） ②犯罪を犯したものの又は非行少年に対する社 会福祉士の関与の在り方について“part5” 事例提供：富田佳佑会員（りんどう法律事務所 弁護士） ③犯罪を犯したものの又は非行少年に対する社 会福祉士の関与の在り方について“part5” 事例提供：平川俊彦会員	①18 名 ②9 名 ③7 名	
困りごとなんでも相 談会 （旭川市中央公民 館）	①4月23日 ②5月28日 ③6月25日 ④8月27日 ⑤9月24日 ⑥11月26日 ⑦12月23日 ⑧1月27日 ⑨2月25日 ⑩3月23日	2017 年度まで生活困難者支援委員会事業とし て実施していた福祉なんでも相談会について、 地区支部実施事業として実施	相談件数 9 件 1 件 5 件 1 件 1 件 1 件 3 件 1 件 1 件 2 件 計 25 件	
高齢者・障害者虐待 防止研修会 （おびった）	6月4日 （日）	講義「虐待防止の基本的視点と法的位置づけ」 三井弘巳氏（社会福祉法人栄和会特別養護老人 ホームひらおか梅花実 施設長） 実践報告「権利擁護・虐待防止の実践と事業所 内での取り組み」 横田一真会員（社会福祉法人名寄みどりの郷障 がい者支援施設名寄丘の上学園施設長）	37 名	

WEB 勉強会 意見交換会	①1月25日 (木)	①「ネットカフェ難民の実態～実態調査をして わかったこと～」 宮澤俊幹事（道北勤医協一条通病院 MSW）	①11名	
	②2月22日 (木)	②「株式会社をたちあげて～デイサービスと居 宅介護支援事業所を経営する意義とは～」 川田哲也副支部長（株式会社 FOLLOW 代表）	②15名	
	③3月21日 (木)	③「幅広い福祉事業を経営したことで見えた社 会の実態」 齋藤厚幹事（介護福祉サーバイジャパン株式会 社代表取締役）	③11名	

(3)他の会議への出席、派遣等

事業名称	開催日	事業内容	参加 人数	出席者等
旭川市地域包括支援センター 運営協議会	随時	委員推薦（任期 2023 年度）	1 名	富田幹事を推薦
旭川成年後見支援センター運 営委員会・同市民後見人検討 部会（旭川市社会福祉協議会）	随時	委員推薦（任期 2022 年度）	1 名	高橋支部長を推薦
旭川市成年後見支援センター 受任調整会議（旭川市社会福 祉協議会）	随時	委員推薦（任期 2022 年度）	3 名	中森幹事・柴崎幹事・箭 原会員を推薦
旭川成年後見センター市民後 見人養成研修（旭川市社会福 祉協議会）	①9月9日 ②9月30日	講師、ファシリテーター推 薦	5 名	① 柴田副支部長、小林 会員、神内会員 ② 高橋支部長、中森幹 事、小林会員

(4)広報に関すること（広報誌の発行、ホームページ運営等）

主な内容	発行部数・周知方法等	発行月
道北社会福祉士会 web サイトの運営 https://www.douhoku-csw.org/	2007 年 7 月 5 日開設	適宜
道北社会福祉士会 Facebook の運営 https://www.facebook.com/csw.douhoku	2018 年 5 月 1 日開設	適宜
道北便り発行（第 33 号）	会員 254 部	10 月

(5)総会・役員会・委員会

総会・会議名称	開催日	参加人数
支部全体会	6 月 3 日（土）	19 名
第 1 回支部幹事会（役員会）	7 月 16 日（月）	15 名（オンライン）
第 2 回支部幹事会（役員会）	12 月 18 日（月）	11 名（オンライン）

(6)地区支部事業

事業名称	開催日	事業内容	後援/協力/その他
上富良野町介護給付 適正化事業（委託事業 受託）	10 月 25 日（水）、 26 日（木）	事業者に対する講演及びケ アプラン点検とそれに付随 する報告書の作成	講師等対応 早坂会員、加藤幹 事、PT 原子氏、保健師小野田氏

4.オホーツク地区支部

(1)セミナー・研修会

研修名称、場所	開催日	内容（テーマ）・講師	参加人数	共催
道東 3 地区支部合同研 修会（つどい）（オンラ イン・当番オホーツク 地区支部）	12 月 2 日（土）	「ヤングケアラーの理解を深める研修 会」 講師：帯広市子育て支援課 講師：栗山町社会福祉協議会 講師：佐藤美沙枝氏（刀圭会居宅介護支 援事業所はなみずきケアマネジャー）	11 名 （オホー ツク会員 分）	道東 3 地区 支部で実行 委員会での 主催

(2)学習会・勉強会

研修名称、場所	開催日	内容（テーマ）・講師	参加人数	共催
北見市総合福祉センターとオンライン（Zoom）開催	5月27日（土）	「飾らない実践報告」 講師：佐々木祐也会員、藤井康成会員	27名	
オンライン（Zoom）開催	3月19日（火）	「倫理綱領・行動規範について」 講師：高橋鑑一会員（NPO 法人小呂野ゆあさ社会福祉士事務所）	12人	

(3)他の会議への出席、派遣等

事業名称	開催日	事業内容	参加人数	出席者等
北見市成年後見支援センター運営委員会・検討委員会	毎月1回開催	支援センターの運営に関すること、成年後見人等の選任	1名	笹谷貴志会員 小山穂積会員 ※小山会員は代理出席
北見市介護認定審査会	毎月1回開催	認定審査に関すること	1名	亀田純平会員
北見市障害区分認定審査会	毎月1回開催	認定審査に関すること	1名	小山穂積会員
津別町あんしん生活サポートセンターほっと運営協議会・受任調整会議	年4回	津別町権利擁護成年後見支援センターの運営に関すること	1名	笹谷貴志会員
美幌町成年後見実施機関運営協議会	年1回	美幌町成年後見支援センターの運営に関すること	1名	高桑純一会員
北見市障害支援ネットワーク計画推進会議	年1回	北見市障がい者支援ネットワーク活動に関すること、北見市障がい者計画に関すること	1名	佐々木祐也会員
北見市医療福祉情報連携協議会	年6回程度	医療介護連携に関すること。「北まるnet」の利活用、実証実験 役員会及び研修会、市民フォーラムの実施	1名	武田学会員
北見市高齢者等支援ネットワーク会議	年1回	北見市高齢者支援関係機関との連携推進に関すること	1名	梶井綾子会員
北見市介護保険事業計画策定委員会	年3回	北見市介護保険事業計画策定などに関すること	1名	山崎章会員
網走市外3町介護認定審査会	毎月2回程度開催	認定審査に関すること	1名	山西爾会員
道東知的障がい福祉協会オンブズマン	年1回（9月）実施	道東知的障がい福祉協会にて選定した施設・事業所に訪問し利用者と職員によるヒアリングや見学	1名	佐々木祐也会員
網走市いじめ問題専門委員会	年1回	いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策に関すること	1名	山西爾会員
網走市いじめ問題専門委員会	都度開催	網走市いじめ問題に対する	1名	松田永実子会員

(4)広報に関すること（広報誌の発行、ホームページ運営等）

主な内容	発行部数（方法）	発行月
地区支部かわらばん	郵送・メール	11月・3月
オホーツク地区支部ホームページ	あり	

(5)総会・役員会・委員会

総会・会議名称	開催日	参加人数
全体会	5月27日（土）	27人（書面表決49名）

第1回役員会	6月20日(火)	12人
第2回役員会	9月18日(月)	10人
第3回役員会	12月18日(月)	12人
第4回役員会	2月7日(水)	10人

5.日胆地区支部

(1)セミナー・研修会

研修名称・場所	開催日	内容(テーマ)・講師	参加人数	共催
令和5年度多職種連携強化・促進事業研修	10月21日(土)	「共にはぐくむ地域の力」 川田幸香氏(コミュニティナース) 「フリーランス助産師が伝える包括的性教育の実践報告」 中田知穂氏(助産師)	15名	

(2)学習会・勉強会 開催なし

(3)他の会議への出席・派遣等

事業名称	開催日	事業内容	参加人数	出席者等
苫小牧市地域包括支援センター運営協議会	随時	①地域包括支援センターの評価・運営について ②認知症初期集中支援チームの活動について ③認知症地域支援推進の活動について ④地域密着型指定事業所の指定・廃止について ⑤地域密着型サービス事業者等、指導監査の実施状況について	1名	深瀬良子会員
白老町地域包括支援センター運営協議会	随時	①地域包括支援センターの体制・業務について ②介護予防サービス計画作成業務の委託について ③介護保険事業について ④令和4年度事業報告及び収支決算見込みについて ⑤令和5年度事業計画及び収支予算について	1名	木村明人会員
白老町高齢者虐待防止ネットワーク会議	随時	①令和5年度地域包括支援センター権利擁護事業相談状況 ②高齢者虐待ケース報告 ③各事業者へのアンケート結果 ④白老町の消費者被害の現状	1名	大塚彰会員
とまこまい成年後見支援センター受任調整会議	月1度開催	成年後見人等の選任に関する事	1名	大塚彰会員
とまこまい成年後見支援センター運営会議	随時	支援センターの運営に関する事、成年後見人等の選任に関する事	1名	曾我真由美会員
室蘭市成年後見支援センター運営会議	随時	支援センターの運営に関する事、成年後見人等の選任に関する事	1名	山田榮喜会員
登別市介護認定審査会	随時	介護認定審査・判定に関する事	3名	紙本雅也会員 菊池雅洋会員 西村文洋会員
室蘭市介護認定審査会	随時	介護認定審査・判定に関する事	5名	高野裕和会員 山本亮会員 山中浩子会員 亀田拓臣会員 工藤貴志会員

苫小牧高等技術専門学院スクールソーシャルワーカー派遣	月2回	希望生徒に対する面談	1名	深瀬良子会員
苫小牧市重層的支援体制整備相談体制検討委員会	月一度開催	苫小牧市重層的支援体制整備事業に関する事	1名	星山徹会員
福祉相談職のための福祉のお悩み相談会	12月～3月まで、月一度開催	苫小牧市重層的支援体制整備事業における支援者の支援相談会への会員派遣	3名	加藤侑大会員 星山徹会員 三浦星一会員

(4)広報に関すること（広報誌の発行、ホームページ運営等）

主な内容	発行部数（方法）	発行月
広報誌「がりばん」発行	郵送、メール	9月

(5)総会・役員会・委員会

総会・会議名称	開催日	参加人数
地区支部役員会	4月25日	15名
地区支部全体会	6月3日	22名（集合14名、オンライン8名）
地区支部役員会	11月14日	14名
地区支部三役会	11月14日	6名

6.十勝地区支部

(1)セミナー・研修会

名称、場所	開催日	内容（テーマ）・講師	参加人数	共催
社会福祉士セミナー 音更町総合福祉センター	10月14日（土）	演題 「認知症予防と共生」 講師：加藤忠相氏（株式会社あおいけあ代表）	74名	十勝老人福祉施設協議会
道東のつどい	12月2日（土）	ヤングケアラーの理解を深める研修 1 ヤングケアラー支援の現状と課題 講師：帯広市子育て支援課 2 栗山町のケアラー支援について 講師：栗山町社会福祉協議会 3 実践報告 報告者：佐藤美沙枝氏（居宅介護支援事業所はなびよりケアマネジャー・社会福祉士）	34名	

(2)学習会・勉強会

名称、場所	開催日	内容（テーマ）・講師	参加人数	共催
学習会 芽室中央公民館	5月28日（日）	社会福祉士資格活用ガイド	29名	
第1回 SW カフェ	8月22日（火）	2024年度新設予定 「子ども家庭福祉士」がいよいよスタート！	15名	
第2回 SW カフェ	10月26日（木）	いまさら聞けない、研修制度	10名	
第3回 SW カフェ	1月26日（金）	相談支援事業所を知ろう	12名	

(3)他の会議への出席・派遣等
なし

(4)広報に関すること（広報誌の発行、ホームページ運営等）

主な内容	発行部数（方法）	発行月
とかち CSW NEWS（新役員体制等）	メール配信	1 2 月

(5)総会・役員会・委員会

総会・会議名称	開催日	参加人数
地区支部全体会	5 月 28 日（日）	29
第 1 回役員会	6 月 13 日（火）	13
第 1 回三役会議	8 月 21 日（火）	4
第 2 回役員会	9 月 19 日（火）	11
第 2 回三役会議	11 月 14 日（火）	4
第 3 回役員会	12 月 5 日（火）	12
第 3 回三役会議	3 月 7 日（木）	4
第 4 回役員会	3 月 28 日（木）	11
司法連携に関する会員アンケート	12 月 6 日付け会員メール	回答 48

7.釧根地区支部

(1)セミナー・研修会

研修名称・場所	開催日	内容（テーマ）・講師	参加人数	共催
社会福祉セミナー	6 月 19 日（月）	講師： 澤田憲一副会長 新田雄大理事 高橋功成会員（生涯研修委員）	29 名 会場 14 名 オンライン 15 名	
権利擁護セミナー	2 月 18 日（日）	差別解消法、障がいへの理解 DVD 上映	多数	中標津町福祉の つどいにて上映

(2)学習会・勉強会

名称・場所	開催日	内容（テーマ）・講師	参加人数	共催
第 1 回会員交流会 釧路市民活動 センターわっ と第 1 会議室	9 月 15 日 （金）	中堅・ベテラン交流 テーマ：フリートーク	10 名	
第 2 回会員交流会 釧路市民活動 センターわっ と第 2 会議室	9 月 29 日 （金）	新人交流 テーマ：フリートーク	17 名	
第 3 回会員交流会 茶山（1 号室 2 号室）	10 月 21 日 （土）	根室管内会員交流 テーマ：フリートーク	12 名	
道東社会福祉 士のつどい	12 月 2 日 （土）	ヤングケアラーの理解を深める研修会 ①ヤングケアラー支援の現状と課題 帯広市子育て支援課 ②栗山町のケアラー支援について 栗山町社会福祉協議会 ③実践報告 報告者：佐藤美沙枝氏（刀圭会居宅介護支援事 業所はなみずきケアマネジャー）	34 名 （釧根地区 支部からは 7 名参加）	オホーツク 十勝（当番） 釧根
PMC ラボ（道 東ソーシャル ワーク研究会）	2 月 10 日 （土）	第 1 部 基調講演「釧路地域の精神保健福祉の 実際、今後の展望とは」～釧路地域における精 神障害にも対応した地域包括ケアシステムに	20 名	十勝地区支部 北海道 MSW 協会東支部

研修会		ついて～ 講師：大水賢憲氏（北海道釧路保健所主任保健師） 第2部 話題提供 「精神科医療の現場から」 小林雄太氏（釧路市立病院 PSW） 「相談支援の現場から」 林康太氏（釧路市基幹相談支援センター） 「生活支援の現場から」 森江日登美氏（サハスネット） 第3部 グループワーク みんなでできることを考えよう！！～地域の課題や自分たちが取り組みそうなこと共有～ ※質疑応答、意見交換が活発に行われ盛況であったため、グループワークは中止となった。		P 協会道東ブロック
令和5年度 釧路地区支部 高齢者虐待研修	3月9日 (土)	講師：釧路市役所 介護高齢課の速水陽氏「釧路市の高齢者虐待への対応・取組み」	19名	

(3)他の会議への出席・派遣等

事業名称	開催日	事業内容	参加人数	出席者等
釧路市障害区分認定審査会	4月13日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員
釧路市権利擁護成年後見センター審査会	4月27日 (木)	申立案件審査	1名	伊藤（靖）会員
釧路市障害区分認定審査会	5月11日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員
釧路市障害区分認定審査会	7月6日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員
令和5年度 釧路市地域包括支援センター運営協議会	7月7日 (金)	令和4年度各種事業報告及び会議開催状況等の説明と、令和5年度各種事業計画及び会議開催状況の説明と協議	1名	久保田会員
令和5年度第1回 釧路市高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定市民委員会	7月7日 (金)	第9期釧路市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定について	1名	久保田会員
第1回釧路市地域包括支援センター運営協議会	7月7日 (金)	令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画等	1名	久保田会員
令和5年度第1回釧路市高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定市民委員会	7月7日 (金)	介護保険の実施状況、高齢者福祉施策の実施状況について等	1名	久保田会員
釧路地方家庭裁判所家庭裁判所委員会	7月18日 (火)	家事調停について	1名	久保田会員
釧路町障害者計画策定委員会	8月2日 (水)	計画策定	1名	伊藤（靖）会員
釧路市障害区分認定審査会	8月17日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員
令和5年度第2回釧路市高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定市民委員会	9月7日 (土)	釧路市高齢者保健福祉計画・釧路市介護保険事業計画について	1名	久保田会員

釧路市障害区分認定審査会	9月7日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員
成年後見制度推進バックアップセンター運営委員会 プロジェクトチーム検討会	9月11日 (月)	テーマ 「中核機関未整備の市町村支援、地域の実情に応じた中核機関の機能の在り方」など。	1名	多田（委）会員
釧路市権利擁護成年後見センター審査会	9月13日 (水)	申立案件の審査	1名	伊藤（靖）会員
第18回釧路脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会	9月20日 (水)	脳外傷リハビリテーションについての普及啓発	1名	新田会員
社会福祉士国家試験 模擬試験会場監督	10月1日 (日)	模擬試験監督	1名	多田（委）会員
釧路市障害区分認定審査会	10月12日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員
釧路町障害者計画策定委員会	10月26日 (木)	計画策定	1名	伊藤（靖）会員
令和5年度第3回釧路市高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定市民委員会	10月30日 (月)	第9期釧路市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に関する意見書（案）について	1名	久保田会員
釧路市障害区分認定審査会	11月9日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員
釧路市権利擁護成年後見センター審査会	11月10日 (金)	申立案件の審査	1名	伊藤（靖）会員
PMCラボ（道東ソーシャルワーク研究会）研修会実行委員会	11月13日 (月)	研修内容打ち合わせ	2名	新田会員 浜尾会員
令和5年度第4回釧路市高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定市民委員会	11月22日 (水)	第9期釧路市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）について	1名	久保田会員
釧路市障害区分認定審査会	12月7日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員
成年後見制度推進バックアップセンター運営委員会 第2回プロジェクトチーム検討会	12月11日 (月)	テーマ 「中核機関未整備の市町村支援、地域の実情に応じた中核機関の機能の在り方」など	1名	多田（委）会員
釧路町障害者計画策定委員会	12月22日 (金)	計画策定	1名	伊藤（靖）会員
PMCラボ（道東ソーシャルワーク研究会）研修会実行委員会	12月28日 (木)	研修内容打ち合わせ	2名	新田会員 浜尾会員
釧路市障害区分認定審査会	1月11日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員
釧路市権利擁護成年後見センター審査会	1月12日 (金)	申立案件の審査	1名	伊藤（靖）会員
PMCラボ（道東ソーシャルワーク研究会）研修会実行委員会	2月5日 (月)	研修内容打ち合わせ	2名	新田会員 浜尾会員
令和5年度第1回釧路市地域密着型サービス等運営委員会	2月8日 (木)	第8期における地域密着型サービス事業所の整備状況について等	1名	久保田会員
第5回釧路市高齢者保健福祉・介護保険事業計画	2月8日 (木)	第9期釧路市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）について等	1名	久保田会員

策定市民委員会				
釧路市障害区分認定審査会	2月8日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員
令和5年度第2回釧路市地域包括支援センター運営協議会	2月19日 (月)	令和5年度事業報告等	1名	久保田会員
釧路町障害者計画策定委員会	2月22日 (木)	計画策定	1名	伊藤（靖）会員
釧路市権利擁護成年後見センター審査会	3月6日 (水)	申立案件の審査	1名	伊藤（靖）会員
釧路市障害区分認定審査会	3月7日 (木)	障害区分審査、判定	1名	伊藤（靖）会員

(4)広報に関すること（広報誌の発行、ホームページ運営等）

主な内容	発行部数（方法）	発行月
研修会案内等	適宜 HP 更新	適宜更新

(5)総会・役員会・委員会

総会・会議名称	開催日	参加人数
第1回役員会	4月27日（水）	10名
第16回定期総会（地区支部）	6月19日（月）	25名
第2回役員会	7月3日（月）	11人
第3回役員会	1月5日（金）	11人
役員情報交換	適宜 ML やチャットにて	

(6)地区支部事業

「福祉に関する相談機関等周知イベント」の開催

日時：令和5年7月15日（土）～17日（月・祝）の3日間

午前10時から午後4時

場所：イオン釧路店 1階 光の広場

IV.会員拡大および会員福利厚生

- 1.社会福祉養成施設連絡協議会及び社会事業学校連盟との連携 B. (3) 2. (3) 参照
- 2.HPに会員専用ページを開設（求人情報等の掲載や会員相互の意見交換等） B. (2) 3. (1) 参照
- 3.その他

3月15日の国家試験合格発表後、ホームページに合格祝いのメッセージを掲載した。また、公式 Facebook にもお祝いのメッセージを投稿し、入会案内を促した。【再掲】

V.財務活動の強化

- 1.未納会費対策の強化
 - ①手続きの簡素化を図るため、振込者について口座引落手続きをしていただけるよう会報・手紙等で呼びかけた。
 - ②年に3度の会費引落（4月、7月、10月）に合わせ、未納者への督促を行なった。2023年度の会費未納件数は9件であった。
- 2.会計管理業務の委託

会計管理業務について、板垣会計事務所に委託した。

VI.広報・情報活動の実施

- 1.「北海道社会福祉士会かわら版」の発行

No.64（2023.8）、No.65（2023.11）、No.66（2024.2）を電子的媒体（PDF）にて発行した。ホームページに掲載し、メール配信で会員、道内市町村、関係団体等に周知した。
- 2.ホームページの管理・運営、会員専用ページの開設

本会ホームページを3月15日にリニューアルした。
- 3.Facebook・公式 LINE アカウント・メール配信による情報配信

会主催の研修会等の情報を随時配信している。また、研修会開催時等や会員への情報確認郵送物の発送の際

に公式 LINE アカウントやメール配信への登録勧奨を行った。

インターネット環境等のない会員への配慮として、情報配信（かわら版）等郵送希望申出者には郵送した。

4. ソーシャルワーカーデー記念行事の実施

内容「福祉、医療、介護なんでも相談会」

北海道が主催する「介護のしごとトークイベント」会場に相談ブースを設置し、広く市民からの福祉、医療、介護についての相談を受けるとともに、ソーシャルワークについて PR する機会とした。北海道医療ソーシャルワーカー協会、北海道精神保健福祉士協会、北海道介護福祉士会、本会の 4 団体合同で毎年開催する記念イベントである。

5. パブリックコメント・声明発表

名称	発出日
性的指向及び性自認を理由とする差別に反対する声明	10 月 28 日

VII. 会務の運営

1. 総会の開催 <別表 3> 参照
2. 理事会の開催 <別表 3> 参照
3. 正副会長会議の開催 <別表 3> 参照
4. 常設委員会の開催 <別表 3> 参照
5. 事務局会議の開催

<別表1>

役員・委員会体制

1 役員体制（任期 2023.6.24 選任、2025.6 定時総会まで）

（理事五十音順）

役職名	氏 名	所 属	所属地区支部
会 長	出町 勇人	社会福祉士事務所ポジティブ・ワークス	道 央
副会長	今井 敦	社福）旭川三和会 旭川市神楽・西神楽地域包括支援センター	道 北
副会長	岩佐 宏希	一般社団法人あうたの家 社会福祉事務所 太樹	道 南
副会長	澤田 憲一	別海町役場福祉部福祉課	釧 根
理 事	北村 満広	社福）美深福祉会 地域生活支援センターのぞみ	道 北
理 事	國松 直人	社福）北海道社会福祉事業団 相談支援センターとまるん	日 胆
理 事	久保田眞弓	釧路刑務支所	釧 根
理 事	近藤 祐二	社会医療法人仁生会 函館市地域包括支援センター西堀	道 南
理 事	佐々木祐也	津別町役場	オホーツク
理 事	篠原 歩	医）北海道家庭医療学センター 本輪西ファミリークリニック	日 胆
理 事	澁谷 昌広	医療法人社団向仁会 函館市地域包括支援センターよろこび	道 南
理 事	島崎 顕生	手稲区社会福祉協議会	道 央
理 事	庄司 圭佑	鹿追町役場福祉課	十 勝
理 事	多田 委代	道東勤医協 釧路市中部南地域包括支援センター	釧 根
理 事	綱淵 美穂	旭川市永山地域包括支援センター	道 北
理 事	渡辺洋一郎	芽室町議会	十 勝
会員監事	大内 高雄	元北星学園大学社会福祉学部教授	道 央
外部監事	石塚 慶如	札幌弁護士会所属 ゆいと法律事務所	—
相談役	神内秀之介	ふくしのよろずや神内商店合同会社	道 北

2 委員会体制

（1）常設委員会（任期 2023.7.22 選任、2025.7 月理事会まで）

	①企画総務委員会		②生涯研修委員会		③ぱあとなあ北海道 運営委員会	
会長/副会長	澤田 憲一		出町 勇人		岩佐 宏希	
理 事	綱淵 美穂 渡辺洋一郎 佐々木祐也		篠原 歩 國松 直人 久保田眞弓 島崎 顕生		多田 委代 北村 満広 近藤 祐二	
委員長	綱淵 美穂	道北	篠原 歩	日胆	多田 委代	釧根
委員	藤原由美子	道央	近藤 尚也	道央	菅 しおり	道央
委員	中村 彰寿	道南	葛西 恭昭	道南	柏 浩文	道央
委員	川田 哲也	道北	宮澤 俊	道北	長井 卷子	道央
委員	鈴木 卓也	オホーツク	梶井 綾子	オホーツク	高橋 鑑一	道南
委員	亀田 拓臣	日胆	有澤 克英	日胆	箭原 実	道北
委員	椎名 成	十勝	倉橋 健	十勝	石原 舞子	オホーツク
委員	新田 雄大	釧根	高橋 功成	釧根	後藤 律子	日胆
委員					宮崎 洋子	十勝
委員					多田摩由美	釧根

	④現場実習指導者 研修委員会		⑤地域包括支援 センター支援委員会		⑥障がい者等地域 生活支援委員会		⑦生活困難者 支援委員会	
会長/副会長	今井 敦		今井 敦		澤田 憲一		澤田 憲一	
理事	北村 満広 佐々木祐也		澁谷 昌広 多田 委代		國松 直人 庄司 圭佑		渡辺洋一郎 近藤 祐二	
委員長	北村 満広	道北	澁谷 昌広	道南	國松 直人	日胆	渡辺洋一郎	十勝
委員	越石 全	公募 (道央)	武者 茜	道央	高村 亮太	道央	吉村 寿人	道央
委員	丸山 正三	公募 (道央)	杉野 功	道南	石橋 直子	道南	横山裕雅子	道南
委員	横田 法律	公募 (道央)	矢三 尚	道北	柴崎久美子	道北	来田 寛	道北
委員	日詰 拓也	道央	坂井 大地	オホーツク	豊田 亮輔	オホーツク	君野亜朱香	オホーツク
委員	中村 彰寿	道南	本堂 裕恭	日胆	鈴木 太郎	日胆	山下 勇人	日胆
委員	加藤 岳大	道北	國安 令子	十勝	藤森 誠	十勝	清野 光彦	十勝
委員	千葉 有紗	オホーツク	森村 佳太	釧根	浜尾 勇貴	釧根	七海 隆之	釧根
委員	三浦 星一	日胆						
委員	廣瀬 大輔	十勝						
委員	金子 一也	釧根						

	⑧災害対策委員会		⑨司法分野との連携 特別委員会		⑩子ども未来部会		⑪虐待対応専門職チ ーム運営委員会	
会長/副会長	出町 勇人		岩佐 宏希		澤田 憲一		今井 敦	
理事	庄司 圭佑 澁谷 昌広		久保田眞弓 篠原 歩		綱淵 美穂 佐々木祐也		島崎 顕生 近藤 祐二	
委員長	庄司 圭佑	十勝	久保田眞弓	釧根	佐々木祐也	オホーツク	島崎 顕生	道央
委員	市川 憂子	道央	海老 厚志	道央	中居 知子	道央	金野伊津子	道央
委員	井口 省三	道南	岡本 勉	道南	山村 哲	道南	上田 亜季	道南
委員	中森 建樹	道北	富田 佳佑	道北	鈴木 勲	道北	高橋 通江	道北
委員	藤井 康成	オホーツク	寺尾 玲香	オホーツク	梶川 幸雄	オホーツク	高桑 純一	オホーツク
委員	石黒 建一	日胆	鷺津 輝朗	日胆	鈴木 大輔	日胆	浅野 豊	日胆
委員	小野 祐介	十勝	山口 芳伸	十勝	石橋 卓弥	十勝	川向 優子	十勝
委員	高橋 功成	釧根	千野 智彦	釧根	鎌田さやか	釧根	畑野 学雄	釧根
委員					阿部 弘美	公募 (道央)		

※子ども未来部会は2024年3月31日まで。4月1日から「子ども家庭支援委員会」へ変更。

(2) 倫理委員会委員（任期 2023.6.24 選任、2025.6 月定時総会まで）

ばあとなあ業務監査委員会委員（任期 2023.6.24 選任、2025.6 月定時総会まで）

区分	倫理委員会委員		区分	ばあとなあ業務監査委員会委員	
会 員	平田 淳	道 北	理 事	綱淵 美穂	道 北
会 員	奥寺 光子	道 央	理 事	久保田眞弓	釧 根
会 員	木田 祥平	道 南	会員外	柴垣 結華	札幌弁護士会
会員外	井川 寿幸	札幌弁護士会	会員外	西野 悦子	札幌司法書士会
会員外	佐賀 良太	北海道精神保健福祉士協会	会員外	塩澤まどか	北海道精神保健福祉士協会
会員外	船山 暁子	札幌弁護士会			

3 地区支部役員体制

	道 央 地区支部	道 南 地区支部	道 北 地区支部	オホーツク 地区支部	日 胆 地区支部	十 勝 地区支部	釧 根 地区支部
支部長	菅 しおり	湯浅 弥	高橋 通江	藤井 康成	遠藤 実茂	山口 潤	竹田 匡
副支部長	島崎 顕生	岩佐 宏希	佐藤 雅幸	梶井 綾子	有澤 克英	渡辺洋一郎	伊藤 靖代
	海老 厚志	長谷山哲平	川田 哲也	寺尾 玲香	亀田 拓臣	庄司 圭佑	多田摩由美
	近藤 尚也		柴田 淳				
事務局長	柏 浩文	澁谷 昌広	渡邊 建司	梶川 幸雄	加藤 侑大	東村 智之	浜尾 勇貴
会 計	鈴木 健	森 貴志	岸 美佳	鈴木 卓也	大橋 隆道	田巻 憲史	望月 誠
幹 事	市川 憂子 (事務局次長)	関川 敏江 (事務局次長)	間所 美幸	佐々木祐也	國松 直人	石川 尚樹	澤田 憲一
	出町 勇人	中村 彰寿	曾我部栄希	高桑 純一	篠原 歩	山口 芳伸	高橋 功成
	奥寺 光子	葛西 恭昭	来田 寛	石原 舞子	阿部 広明	金石 輝義	金子 一也
	金野伊津子	高橋 鑑一	加藤 岳大	豊田 亮輔	石黒 建一	椎名 成	久保田眞弓
	吉村 寿人	杉野 功	久保田教之	千葉 有紗	紙本 雅也	柴田 聡美	新田 雄大
	長井 卷子	井口 省三	柴崎久美子	君野亜朱香	鈴木 大輔	國安 令子	鎌田さやか
	高村 亮太	石橋 直子	矢三 尚	坂井 大地	曾我真由美	鳥瀬 一成	多田 委代
	中居 知子	横山裕雅子	宮澤 俊	越智 純平	山下 勇人	倉橋 健	千野 智彦
	藤原由美子	岡本 勉	齋藤 厚		鷲津 輝朗	数田 紗奈	森村 佳太
	日詰 拓也	山村 哲	富田 佳佑		後藤 律子	廣瀬 大輔	畑野 学雄
	武者 茜	大島 文輝	中森 建樹		星山 徹	大林 将秀	七海 隆之
		上田 亜季	北嶋 洋嗣		三浦 星一		
		近藤 祐二	中村 夕子		鈴木 太朗		
			鈴木 勲		本堂 裕恭		
					杉本 泰伸		
監 事	高橋 修一	尾形 永造	棟方 康明	西 郁恵	大塚 彰	小林 信之	佐々木 寛
	志田原実男		今井 敦	水橋真莉子	浅野 豊		
			(相談役) 馬場 義人				
			(相談役) 山口 昌広				

<別表2>

I. 社会福祉の援助を必要とする北海道民の生活と権利の擁護に関する事業
(本部取り扱い分)

北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会への委員派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道社会福祉協議会	2023年7月から 2024年7月(総会)まで	今井 敦

北海道福祉サービス運営適正化委員会への委員派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道社会福祉協議会	2022年4月1日から 2024年3月31日まで	飯島 英幸・島崎 顕生

北海道教育委員会北海道いじめ問題対策連絡協議会への委員派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道	2014年4月28日から	北海道社会福祉士会(団体参加)

北海道高齢者虐待防止推進委員会への委員派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道高齢者総合相談・虐待防止センター	2023年4月1日から 2025年3月31日まで	林 富子

北海道介護支援専門員協会への委員派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道介護支援専門員協会	2023年から 2025年6月30日まで	矢三 尚

北海道精神保健福祉士協会苦情対応・処理委員会への委員派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道精神保健福祉士協会	2023年7月1日から 2024年6月30日まで	神内 秀之介

北海道福祉人材センター運営委員会への委員派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道社会福祉協議会	2023年承認日から 2025年3月31日まで	神内 秀之介

北海道社会福祉協議会評議員会への派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道社会福祉協議会	2021年6月23日から 2025年度定時評議員会の終結まで	神内 秀之介

北海道共同募金会評議員選任・解任委員会、配分金委員会への委員派遣

市町村等		委嘱期間	就任者
北海道 共同募金会	評議員選任・ 解任委員会	2020 年 6 月 1 日から 2024 年定時評議委員会の終結まで	前鼻 弘靖（事務局長）
	配分金委員会	2023 年 8 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日まで	前鼻 弘靖（事務局長）

北海道社会福祉協議会成年後見制度推進バックアップセンター運営委員会への委員派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道社会福祉協議会	2023 年 9 月から 2025 年 3 月 31 日まで	岩佐 宏希、多田 委代

“第 71 回社会を明るくする運動” 北海道推進委員会委員への委員派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道社会福祉協議会	2023 年 4 月から 2024 年 3 月 31 日まで	出町 勇人

入門的研修実施検討委員会への委員派遣

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道社会福祉協議会	2022 年 6 月から 2024 年 3 月 31 日まで	今井 敦

次世代の担い手育成推進事業に係る福祉教育アドバイザー委嘱

市町村等	委嘱期間	就任者
北海道	2021 年 3 月 9 日から 2023 年 3 月 31 日まで	山本 由美子

II. 社会福祉団体その他の関係団体との連携に関する事業

日本社会福祉士会との協働

日本社会福祉士会への派遣役員

名称	就任期間	派遣役員名
理事	2025 年 6 月総会まで	神内 秀之介
介護保険施設における社会福祉士の活用状況と有効性に関する調査研究事業担当参事	2025 年 6 月総会まで	竹田 匡
広報検討プロジェクトチーム	2024 年 3 月 31 日まで	竹田 匡
後見委員会不正防止プロジェクト委員会	2024 年 3 月 31 日まで	岩佐 宏希
権利擁護推進あり方検討委員会	2025 年 6 月総会まで	高橋 通江
高齢者虐待対応現任者標準研修改訂プロジェクト委員会	2024 年 3 月 31 日まで	石崎 剛
地域包括ケア推進委員会	2025 年 6 月総会まで	神内 秀之介 赤坂 直紀
介護保険施設における社会福祉士の活用状況と有効性に関する調査研究事業委員会	2024 年 3 月 31 日まで	竹田 匡 瀬戸 雅嗣
介護保険施設における社会福祉士の活用状況と有効性に関する調査研究事業作業委員会	2024 年 3 月 31 日まで	竹田 匡 瀬戸 雅嗣
生活困窮者支援委員会	2025 年 6 月総会まで	神内 秀之介 菊地 英人
独立型社会福祉士委員会	2025 年 6 月総会まで	石黒 健一
実習指導者講習会プログラム検討プロジェクトチーム	2024 年 3 月 31 日まで	越石 全
認定社会福祉士登録推進委員会	2025 年 6 月総会まで	石崎 剛

日本社会福祉士会主催会議等への出席

内容	開催日	出席者
都道府県ぱあとなあ連絡協議会	10月29日（土）	多田 委代、本堂 裕恭
第33回通常総会	6月17日（土）	出町 勇人、竹田 匡
日本社会福祉士会臨時総会	3月16日（土）	出町 勇人
都道府県社会福祉士会会長会議	9月3日（土）	出町 勇人
日本社会福祉士会理事会（第1回）	4月15日（土）	竹田 匡
日本社会福祉士会理事会（第2回）	5月20日（土）	竹田 匡
日本社会福祉士会理事会（第3回）	6月17日（土）	竹田 匡
日本社会福祉士会理事会（第4回）	7月15日（土）	神内 秀之介
日本社会福祉士会理事会（第5回）	8月19日（土）	神内 秀之介
日本社会福祉士会理事会（第6回）	9月2日（土）	神内 秀之介
日本社会福祉士会理事会（第7回）	10月21日（土）	神内 秀之介
日本社会福祉士会理事会（第8回）	11月18日（土）	神内 秀之介
日本社会福祉士会理事会（第9回）	12月16日（土）	神内 秀之介
日本社会福祉士会理事会（第10回）	1月20日（土）	神内 秀之介
日本社会福祉士会理事会（第11回）	2月3日（土）	神内 秀之介
日本社会福祉士会理事会（第12回）	3月16日（土）	神内 秀之介
全国生涯研修委員会議（第1回）	5月14日（日）	國松 直人
全国生涯研修委員会議（第2回）	9月23日（土）	篠原 歩
生涯研修センター協議会（第1回）	6月25日（日）	山口 潤
生涯研修センター協議会（第2回）	11月3日（金）	篠原 歩

東北・北海道ブロック協議会への出席

名称	開催日	派遣役員等
東北・北海道ブロック協議会	8月26日（土）	出町 勇人、前鼻 弘靖
東北・北海道ブロック生涯研修部会	2月12日（月）	出町 勇人、久保田 眞弓

<別表 3>

○ 総会開催状況

名称	開催日	開催場所	参加者
第 25 回定時総会	6 月 24 日（土）	ハイブリッド	

○ 理事会開催状況

名称	開催日	開催場所
第 1 回臨時理事会	4 月 13 日（木）	電磁的記録（電子メール）
第 2 回臨時理事会	4 月 25 日（火）	電磁的記録（電子メール）
第 1 回理事会	5 月 13 日（土）	かでの 2.7 ハイブリッド
第 3 回臨時理事会	5 月 24 日（水）	電磁的記録（電子メール）
第 4 回臨時理事会	6 月 21 日（水）	電磁的記録（電子メール）
第 5 回臨時理事会	6 月 24 日（土）	かでの 2.7 ハイブリッド
第 2 回理事会	7 月 22 日（土）	かでの 2.7 ハイブリッド
第 6 回臨時理事会	8 月 24 日（木）	電磁的記録（電子メール）
第 7 回臨時理事会	9 月 21 日（木）	電磁的記録（電子メール）
第 3 回理事会	10 月 28 日（土）	札幌市男女共同参画センター ハイブリッド
第 8 回臨時理事会	11 月 21 日（火）	電磁的記録（電子メール）
第 9 回臨時理事会	12 月 21 日（木）	電磁的記録（電子メール）
第 4 回理事会	1 月 27 日（土）	かでの 2.7 ハイブリッド

○ 正副会長会議開催状況

名称	開催日	開催場所
第 1 回正副会長会議	4 月 27 日（木）	Zoom
第 2 回正副会長会議	5 月 30 日（火）	Zoom
第 3 回正副会長会議	6 月 14 日（水）	Zoom
第 4 回正副会長会議	7 月 19 日（水）	Zoom
第 5 回正副会長会議	8 月 18 日（金）	Zoom
第 6 回正副会長会議	9 月 27 日（水）	Zoom
第 7 回正副会長会議	10 月 18 日（水）	Zoom
第 8 回正副会長会議	11 月 28 日（火）	Zoom
第 9 回正副会長会議	12 月 27 日（水）	Zoom
第 10 回正副会長会議	1 月 17 日（水）	Zoom
第 11 回正副会長会議	2 月 28 日（水）	Zoom
第 12 回正副会長会議	3 月 29 日（金）	Zoom

○ 常設委員会開催状況

委員会名	回次	開催日	開催場所
①企画総務委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	6月6日(火) 8月24日(木) 11月20日(月) 2月19日(月)	Zoom
企画総務委員会(担当理事)	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	7月13日(木) 10月4日(水) 11月1日(水) 11月22日(水) 12月21日(木)	Zoom
ソーシャルワーカーデー4団体実行委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	8月3日(木) 10月19日(木) 12月20日(水) 1月16日(火)	Zoom
全道交流会打合せ	第1回	3月13日(水)	Zoom
②生涯研修委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	8月31日(木) 11月4日(土) 12月5日(火) 12月6日(水) 2月29日(木) 3月28日(木)	Zoom 集合(札幌) Zoom Zoom Zoom Zoom
生涯研修委員会(担当理事)	第1回 第2回 第3回 第4回	7月6日(木) 7月12日(水) 7月20日(木) 8月2日(水)	Zoom
③ぱあとなあ北海道運営委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	4月20日(木) 5月18日(木) 6月15日(木) 7月13日(木) 8月17日(木) 9月21日(木) 10月19日(木) 11月16日(木) 12月21日(木) 1月18日(木) 2月15日(木) 3月21日(木)	Zoom
④現場実習指導者研修委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	5月10日(水) 7月20日(木) 8月21日(月) 10月4日(水) 11月9日(木) 12月20日(水) 2月22日(木) 3月16日(土)	Zoom Zoom Zoom Zoom Zoom Zoom Zoom 集合(札幌)
⑤地域包括支援センター支援委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	8月23日(水) 10月11日(水) 12月19日(火) 3月28日(木)	Zoom
⑥障がい者等地域生活支援委員会	第1回 第2回	8月2日(水) 12月18日(月)	Zoom

委員会名	回次	開催日	開催場所
⑦生活困難者支援委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	5月24日(水) 6月15日(木) 8月9日(水) 9月19日(火) 12月14日(木) 2月6日(火)	Zoom
⑧災害対策委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	8月17日(木) 12月17日(木) 2月9日(金) 2月17日(土)	Zoom
⑨司法分野との連携特別委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	6月28日(水) 7月10日(月) 8月4日(金) 8月20日(日) 9月27日(水) 10月20日(金) 11月19日(日) 1月17日(水) 3月2日(土)	Zoom Zoom Zoom Zoom Zoom Zoom Zoom Zoom かでの 2.7
⑩子ども未来部会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	6月20日(火) 8月17日(木) 11月15日(水) 1月22日(月) 3月18日(月)	Zoom
⑪虐待対応専門職チーム運営委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	8月21日(月) 10月3日(火) 11月6日(月) 12月26日(火)	Zoom
	第1回 合同委員会	2月9日(金) (道弁連推薦委員との 合同開催)	
⑫倫理委員会	第1回	11月11日(土)	Zoom
	調査委員会	4月17日(月) 9月20日(水) 3月15日(金)	Zoom Zoom Zoom、かでの 2.7

議案第 2 号

2023 年度決算報告（案）について

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 財務諸表に対する注記
4. 収支計算書（法人）
5. 収支計算書に対する注記
6. 財産目録
7. 収支計算書内訳表（地区支部別）
8. 収支計算書（本部、地区支部合算、各地区支部）
9. 正味財産増減計算書内訳表

貸 借 対 照 表

令和 6年 3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	18,993,625	22,210,376	-3,216,751
現金	68,612	3,657	64,955
普通預金	18,925,013	22,206,719	-3,281,706
未収金	963,517	585,259	378,258
前払金	340,780	461,600	-120,820
貯蔵品	40,936	26,560	14,376
流動資産合計	20,338,858	23,283,795	-2,944,937
2 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
被災地活動支援金	81,095	226,825	-145,730
ホームページ改修事業資金	957,000	957,000	0
ソーシャルワーカー業務紹介コンテンツ作成事業資金	164,000	1,000,000	-836,000
社会福祉士会入会促進コンテンツ作成資金	0	1,121,560	-1,121,560
災害支援派遣及び災害時支援者養成資金	3,649	300,469	-296,820
特定資産合計	1,205,744	3,605,854	-2,400,110
(3) その他固定資産			
什器備品	396,555	991,380	-594,825
その他固定資産合計	396,555	991,380	-594,825
固定資産合計	1,602,299	4,597,234	-2,994,935
資産の部合計	21,941,157	27,881,029	-5,939,872
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,053,287	1,957,122	96,165
前受金	23,980	3,000	20,980
預り金	109,059	95,408	13,651
流動負債合計	2,186,326	2,055,530	130,796
2 固定負債			
負債の部合計	2,186,326	2,055,530	130,796
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	81,095	226,825	-145,730
指定正味財産合計	81,095	226,825	-145,730
(うち特定資産への充当額)	(81,095)	(226,825)	(-145,730)
2 一般正味財産	19,673,736	25,598,674	-5,924,938
(うち特定資産への充当額)	(1,124,649)	(3,379,029)	(-2,254,380)
正味財産の部合計	19,754,831	25,825,499	-6,070,668
負債及び正味財産合計	21,941,157	27,881,029	-5,939,872

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	17	27	-10
特定資産受取利息	17	27	-10
受取会費	27,856,000	27,748,000	108,000
正会員受取会費	27,825,000	27,710,000	115,000
賛助会員受取会費	31,000	38,000	-7,000
事業収益	10,686,120	11,318,000	-631,880
事業収益	10,686,120	11,318,000	-631,880
受取補助金等	1,408,600	1,267,175	141,425
受取委託料収益	1,249,600	1,266,625	-17,025
受取助成金	159,000	0	159,000
受取補助金等振替額	0	550	-550
受取負担金	0	47,246	-47,246
受取負担金	0	47,246	-47,246
受取寄付金	145,730	0	145,730
受取寄付金振替額	145,730	0	145,730
雑収益	389,807	322,418	67,389
受取利息	167	176	-9
雑収益	389,640	322,242	67,398
経常収益計	40,486,274	40,702,866	-216,592
(2) 経常費用			
事業費	29,731,578	26,552,432	3,179,146
給料手当	11,351,677	11,472,830	-121,153
福利厚生費	2,166,837	2,187,097	-20,260
旅費交通費	2,773,593	1,083,880	1,689,713
研修費	272,000	118,000	154,000
通信運搬費	1,658,683	1,505,145	153,538
会議費	71,830	49,881	21,949
減価償却費	555,170	555,170	0
消耗什器備品費	0	138,457	-138,457
消耗品費	239,587	186,585	53,002
書籍代購入費	495,143	754,759	-259,616
印刷製本費	2,827,458	1,500,707	1,326,751
賃借料	1,149,955	664,980	484,975
諸会費	25,000	35,000	-10,000
諸謝金	4,289,000	4,600,000	-311,000
租税公課	547,632	503,194	44,438
支払負担金	866,280	850,170	16,110
支払寄付金	0	200,000	-200,000
委託費	275,000	0	275,000
雑費	166,733	146,577	20,156
管理費	16,679,634	14,756,737	1,922,897
給料手当	351,083	354,830	-3,747
福利厚生費	498,811	407,129	91,682
会議費	473	0	473
旅費交通費	1,047,758	141,350	906,408
通信運搬費	1,252,234	987,401	264,833
減価償却費	39,655	39,655	0

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗什器備品費	0	89,012	-89,012
消耗品費	394,087	297,425	96,662
印刷製本費	702,913	117,596	585,317
賃借料	1,154,130	1,251,297	-97,167
諸会費	9,348,500	9,313,000	35,500
保険料(管)	4,300	4,300	0
諸謝金	0	15,000	-15,000
租税公課	83,568	82,456	1,112
慶弔交際費	33,300	0	33,300
支払負担金	32,273	20,000	12,273
支払寄付金	67,216	0	67,216
委託費	1,265,110	1,252,397	12,713
雑費	404,223	383,889	20,334
経常費用計	46,411,212	41,309,169	5,102,043
評価損益等調整前当期経常増減額	-5,924,938	-606,303	-5,318,635
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-5,924,938	-606,303	-5,318,635
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	-5,924,938	-606,303	-5,318,635
当期一般正味財産増減額	-5,924,938	-606,303	-5,318,635
一般正味財産期首残高	25,598,674	26,204,977	-606,303
一般正味財産期末残高	19,673,736	25,598,674	-5,924,938
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	145,730	550	145,180
一般正味財産への振替額	145,730	550	145,180
当期指定正味財産増減額	-145,730	-550	-145,180
指定正味財産期首残高	226,825	227,375	-550
指定正味財産期末残高	81,095	226,825	-145,730
III 正味財産期末残高	19,754,831	25,825,499	-6,070,668

財務諸表に対する注記

公益社団法人 北海道社会福祉士会

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品…最終仕入原価法による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

建物及び什器備品…定額法によっている。

②無形固定資産

定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金…債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については過去の貸倒実績をもとに算出した貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上する。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引

リース物件の所有者が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産：被災地活動支援金	226,825	2	145,732	81,095
特定資産：ホームページ改修事業資金	957,000	8	8	957,000
特定資産：ソーシャルワーク業務紹介コンテンツ作成資金	1,000,000	2	836,002	164,000
特定資産：社会福祉士会入会促進コンテンツ作成	1,121,560	443	1,122,003	0
特定資産：災害支援派遣・災害時支援者養成	300,469	2	296,822	3,649
合 計	3,605,854	457	2,400,567	1,205,744

５．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産：被災地活動支援金	81,095	(81,095)	(0)	(0)
特定資産：ホームページ改修事業資金	957,000	(0)	(957,000)	(0)
特定資産：ソーシャルワーク業務紹介コンテンツ作成資金	164,000	(0)	(164,000)	(0)
特定資産：社会福祉士会入会促進コンテンツ作成				
特定資産：災害支援派遣・災害時支援者養成	3,649	(0)	(3,649)	(0)
合 計	1,205,744	(81,095)	(1,124,649)	(0)

６．担保に供している資産

該当なし

７．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
什器備品	2,379,300	1,982,745	396,555
合 計	2,379,300	1,982,745	396,555

８．債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の 当期末残高
該当なし			
合 計			

９．保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし

１０．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合 計			

1 1. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
2023年度 介護給付適正化事業受託費	上富良野	0	363,000	363,000	0	一般正味財産
2023年度 高齢者虐待対応専門職派遣事業	札幌市	0	886,600	886,600	0	一般正味財産
2023年度 キャリアパス支援事業補助金	北海道	0	159,000	159,000	0	一般正味財産
合 計		0	1,408,600	1,408,600	0	

1 2. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし				
合 計				

1 3. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産：被災地活動支援金	
残高証明書発行手数料による振替額	550
能登半島地震DWAT旅費による振替額	145,180
合 計	145,730

1 4. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

該当なし

1 5. 重要な後発事象

該当なし

1 6. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状況並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

金融商品に対する取組方針

該当なし

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(2) 特定資産運用収入	0	17	-17
特定資産利息収入	0	17	-17
(4) 会費収入	27,750,000	27,856,000	-106,000
正会員会費収入	27,705,000	27,825,000	-120,000
賛助会員会費収入	45,000	31,000	14,000
(5) 事業収入	12,282,800	10,686,120	1,596,680
事業収入	12,282,800	10,686,120	1,596,680
(6) 補助金等収入	0	1,408,600	-1,408,600
受取委託料収入	0	1,249,600	-1,249,600
受取助成金収入	0	159,000	-159,000
(7) 負担金収入	61,000	0	61,000
負担金収入	61,000	0	61,000
(10) 雑収入	205	389,807	-389,602
受取利息収入	205	167	38
雑収入	0	389,640	-389,640
事業活動収入計	40,094,005	40,340,544	-246,539
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	29,003,726	29,176,408	-172,682
給料手当支出	9,733,212	11,351,677	-1,618,465
福利厚生費支出	2,179,772	2,166,837	12,935
旅費交通費支出	4,878,980	2,773,593	2,105,387
研修費支出	222,000	272,000	-50,000
通信運搬費支出	1,420,700	1,658,683	-237,983
会議費支出	61,820	71,830	-10,010
消耗什器備品費支出	4,000	0	4,000
消耗品費支出	289,000	239,587	49,413
書籍代購入支出	762,760	495,143	267,617
印刷製本費支出	1,259,500	2,827,458	-1,567,958
賃借料支出	2,329,982	1,149,955	1,180,027
諸会費支出	0	25,000	-25,000
諸謝金支出	3,970,000	4,289,000	-319,000
租税公課支出	0	547,632	-547,632
負担金支出	1,186,000	866,280	319,720
試験評価費支出	140,000	0	140,000
委託費支出	368,000	275,000	93,000
雑支出	198,000	166,733	31,267
(2) 管理費支出	16,063,450	16,639,979	-576,529
給料手当支出	335,628	351,083	-15,455
福利厚生費支出	75,164	498,811	-423,647
会議費支出	13,000	473	12,527
旅費交通費支出	963,500	1,047,758	-84,258
通信運搬費支出	1,775,000	1,252,234	522,766
消耗什器備品費支出	594,720	0	594,720
消耗品費支出	169,555	394,087	-224,532
印刷製本費支出	519,000	702,913	-183,913
賃借料支出	70,698	1,154,130	-1,083,432
諸会費支出	9,235,000	9,348,500	-113,500
保険料支出	0	4,300	-4,300

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
諸謝金支出	10,000	0	10,000
租税公課支出	420,000	83,568	336,432
慶弔交際費支出	30,000	33,300	-3,300
負担金支出	693,435	32,273	661,162
寄付金支出	0	67,216	-67,216
委託費支出	582,200	1,265,110	-682,910
雑支出	576,550	404,223	172,327
事業活動支出計	45,067,176	45,816,387	-749,211
事業活動収支差額	-4,973,171	-5,475,843	502,672
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
(2) 特定資産取崩収入	0	2,400,567	-2,400,567
積立預金取崩収入	0	2,400,567	-2,400,567
投資活動収入計	0	2,400,567	-2,400,567
2. 投資活動支出			
(2) 特定資産取得支出	0	457	-457
積立預金積立支出	0	457	-457
投資活動支出計	0	457	-457
投資活動収支差額	0	2,400,110	-2,400,110
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
Ⅳ 予備費支出	0		0
当期収支差額	-4,973,171	-3,075,733	-1,897,438
前期繰越収支差額	28,909,497	21,228,265	7,681,232
次期繰越収支差額	23,936,326	18,152,532	5,783,794

収支計算書に対する注記

1、資金の範囲

資金の範囲には、流動資産及び流動負債を含めている。

ただし、流動資産及び流動負債には、1年基準により固定資産又は固定負債から振替えられたもの、引当金並びに棚卸資産(貯蔵品を除く。)を除くものとする。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2、次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	22,210,376	18,993,625
未 収 金	585,259	963,517
前 払 金	461,600	340,780
貯 蔵 品	26,560	40,936
合 計	23,283,795	20,338,858
未 払 金	1,957,122	2,053,287
前 受 金	3,000	23,980
預 り 金	95,408	109,059
合 計	2,055,530	2,186,326
次期繰越収支差額	21,228,265	18,152,532

財 産 目 録

公益社団法人 北海道社会福祉士会 令和 6年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	使 用 目 的	金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金 本部	現金手許有高 運転資金として	28,362		
〃 道北地区支部	現金手許有高 運転資金として	40,250		
現金 計			68,612	
普通預金 本部	北海道銀行 普通預金 運転資金として	6,845,918		
〃 〃	北洋銀行 普通預金 運転資金として	101,053		
郵便貯金 〃	ゆうちょ銀行 通常貯金 運転資金として	3,185,119		
郵便振替 〃	ゆうちょ銀行 振替口座 運転資金として	6,958,994		
普通預金 〃	北海道銀行 普通預金 運転資金として	0		
郵便振替 〃	ゆうちょ銀行 振替口座 運転資金として	0		
通常貯金 道央地区支部	ゆうちょ銀行 通常貯金 運転資金として	170,689		
通常貯金 道南地区支部	ゆうちょ銀行 通常貯金 運転資金として	216,997		
通常貯金 道北地区支部	ゆうちょ銀行 通常貯金 運転資金として	171,435		
通常貯金 オホーツク地区支部	ゆうちょ銀行 通常貯金 運転資金として	239,568		
通常貯金 日胆地区支部	ゆうちょ銀行 通常貯金 運転資金として	331,828		
通常貯金 十勝地区支部	ゆうちょ銀行 通常貯金 運転資金として	315,648		
通常貯金 釧根地区支部	ゆうちょ銀行 通常貯金 運転資金として	387,764		
普通預金 計			18,925,013	
未収金 本部	公益目的事業に係る未収金	949,700		
	法人会計に係る未収金	11,469		
オホーツク地区支部	公益目的事業に係る未収金	2,348		
未収金 計			963,517	
前払金 本部	2024年度 公益目的事業に係る会場代他	263,960		
	2024年度 他1事業に係る会場代	24,900		
	2024年度 法人会計に係る会場代	51,920	340,780	
貯蔵品 本部	切手 2023年度未使用分合計	40,936		
貯蔵品 計			40,936	
流動資産合計				20,338,858
2 固定資産				
(1)基本財産				
基本財産合計			0	
(2)特定資産 本部	北海道銀行 普通預金 被災地活動支援金(公2地域福祉活動事業)	81,095		
	北海道銀行 普通預金 ホームページ改修事業資金(公2広報啓発事業)	957,000		
	北海道銀行 普通預金 ソーシャルワーカー業務紹介コンテンツ作成資金(公2地域福祉活動事業)	164,000		
	北海道銀行 普通預金 社会福祉士会入会促進コンテンツ作成資金(公2広報啓発事業)	0		
	北海道銀行 普通預金 災害支援派遣及び災害時支援者養成資金(公2地域福祉活動事業)	3,649		
特定資産合計			1,205,744	
(3)その他固定資産				
什器備品 本部	パソコン13台 公益目的事業の用に供している	343,681		
	パソコン1台 他1事業の用に供している	26,437		
	パソコン1台 法人会計の用に供している	26,437		
その他固定資産合計			396,555	

財 産 目 録

公益社団法人 北海道社会福祉士会

令和 6年 3月 31日現在

(単位:円)

科	目	使 用 目 的	金 額		
固定資産合計					1,602,299
資産合計					21,941,157
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	本部	公益目的事業に係る未払金	1,038,584		
		他事業に係る未払金	13,936		
		法人会計に係る未払金	990,007		
	道南地区支部	法人会計に係る未払金	10,760		
未払金 計				2,053,287	
前受金	本部	2024年度分 公益目的事業に係る研修参加費	23,980		
前受金 計				23,980	
預り金	本部	3月分社会保険料	103,394		
	オホーツク地区支部	公益目的事業に係る講師謝金 源泉税	5,665		
預り金 計				109,059	
流動負債計					2,186,326
2 固定負債					
固定負債計				0	0
負債合計					2,186,326
指定正味財産合計				81,095	
一般正味財産合計				19,673,736	
正味財産の部合計					19,754,831

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業				収益事業等会計			法人会計	合 計	内部取引等消去	合 計
	公益目的事業(公1)	公益目的事業(公2)	公益共通	小 計	収益事業等(他1)	収益事業等(他2)	小 計	法人会計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用益	0	17	0	17	0	0	0	0	17	0	17
特定資産受取利息	0	17	0	17	0	0	0	0	17	0	17
受取会費	0	0	9,306,000	9,306,000	0	0	0	18,550,000	27,856,000	0	27,856,000
正会員受取会費	0	0	9,275,000	9,275,000	0	0	0	18,550,000	27,825,000	0	27,825,000
賛助会員受取会費	0	0	31,000	31,000	0	0	0	0	31,000	0	31,000
賛助会員会費	0	0	30,000	30,000	0	0	0	0	30,000	0	30,000
学生会員会費	0	0	1,000	1,000	0	0	0	0	1,000	0	1,000
事業収益	5,652,120	4,892,000	0	10,544,120	64,000	72,500	136,500	5,500	10,686,120	0	10,686,120
事業収益	5,652,120	4,892,000	0	10,544,120	64,000	72,500	136,500	5,500	10,686,120	0	10,686,120
各種参加費等事業収益	5,652,120	1,312,000	0	6,964,120	64,000	72,500	136,500	5,500	7,106,120	0	7,106,120
ばあとなあ事業収益	0	3,580,000	0	3,580,000	0	0	0	0	3,580,000	0	3,580,000
受取補助金等	2,131,000	2,113,600	0	4,244,600	0	0	0	607,500	4,852,100	-3,443,500	1,408,600
受取委託料収益	0	1,249,600	0	1,249,600	0	0	0	0	1,249,600	0	1,249,600
介護保険適正化事業委託料収益	0	363,000	0	363,000	0	0	0	0	363,000	0	363,000
その他委託料収益	0	886,600	0	886,600	0	0	0	0	886,600	0	886,600
受取助成金	159,000	0	0	159,000	0	0	0	0	159,000	0	159,000
キャリアパス支援研修事業助成金	159,000	0	0	159,000	0	0	0	0	159,000	0	159,000
支部配分金収益	1,972,000	864,000	0	2,836,000	0	0	0	607,500	3,443,500	-3,443,500	0
共通	145,000	0	0	145,000	0	0	0	205,000	350,000	-350,000	0
会員割	580,500	76,500	0	657,000	0	0	0	266,500	923,500	-923,500	0
地区支部研修等配分金	1,246,500	787,500	0	2,034,000	0	0	0	136,000	2,170,000	-2,170,000	0
受取負担金	6,600	0	0	6,600	0	0	0	0	6,600	-6,600	0
受取負担金	6,600	0	0	6,600	0	0	0	0	6,600	-6,600	0
受取寄付金	0	145,730	0	145,730	0	0	0	0	145,730	0	145,730
受取寄付金振替額	0	145,730	0	145,730	0	0	0	0	145,730	0	145,730
雑収益	47,400	64,336	4	111,740	0	0	0	278,067	389,807	0	389,807
受取利息	0	36	4	40	0	0	0	127	167	0	167
雑収益	47,400	64,300	0	111,700	0	0	0	277,940	389,640	0	389,640
研修等資料販売料収益	12,400	0	0	12,400	0	0	0	0	12,400	0	12,400
広告物手数料収益	0	18,660	0	18,660	0	0	0	0	18,660	0	18,660
会費銀行振込回収手数料収益	0	45,640	0	45,640	0	0	0	247,940	293,580	0	293,580
その他の雑収益	35,000	0	0	35,000	0	0	0	30,000	65,000	0	65,000
経常収益計	7,837,120	7,215,683	9,306,004	24,358,807	64,000	72,500	136,500	19,441,067	43,936,374	-3,450,100	40,486,274
(2) 経常費用											
事業費	14,213,627	11,410,668	2,455,939	28,080,234	4,865,421	236,023	5,101,444	0	33,181,678	-3,450,100	29,731,578
給料手当	5,125,809	4,142,777	1,170,276	10,438,862	854,301	58,514	912,815	0	11,351,677	0	11,351,677
福利厚生費	978,427	790,785	223,385	1,992,597	163,071	11,169	174,240	0	2,166,837	0	2,166,837
福利厚生費(事)	281,091	227,184	64,176	572,451	46,848	3,209	50,057	0	622,508	0	622,508
法定福利費(事)	697,336	563,601	159,209	1,420,146	116,223	7,960	124,183	0	1,544,329	0	1,544,329
旅費交通費	2,088,291	497,162	0	2,585,453	162,020	26,120	188,140	0	2,773,593	0	2,773,593

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業				収益事業等会計			法人会計	合 計	内部取引等消去	合 計
	公益目的事業(公1)	公益目的事業(公2)	公益共通	小 計	収益事業等(他1)	収益事業等(他2)	小 計	法人会計			
研修費	265,000	4,000	0	269,000	3,000	0	3,000	0	272,000	0	272,000
通信運搬費	507,855	582,483	507,432	1,597,770	39,612	21,301	60,913	0	1,658,683	0	1,658,683
会議費	71,482	348	0	71,830	0	0	0	0	71,830	0	71,830
減価償却費	0	0	515,515	515,515	39,655	0	39,655	0	555,170	0	555,170
消耗品費	95,718	89,222	0	184,940	39,779	14,868	54,647	0	239,587	0	239,587
書籍代購入費	439,373	0	0	439,373	0	55,770	55,770	0	495,143	0	495,143
印刷製本費	223,872	2,601,502	0	2,825,374	404	1,680	2,084	0	2,827,458	0	2,827,458
賃借料	809,848	226,079	37,131	1,073,058	39,465	37,432	76,897	0	1,149,955	0	1,149,955
諸会費	0	0	0	0	25,000	0	25,000	0	25,000	0	25,000
諸謝金	3,074,000	1,200,000	0	4,274,000	15,000	0	15,000	0	4,289,000	0	4,289,000
租税公課	256,864	279,600	0	536,464	5,584	5,584	11,168	0	547,632	0	547,632
支払負担金	202,680	640,200	0	842,880	30,000	0	30,000	0	872,880	-6,600	866,280
支部支払助成金(支部配分金)	0	0	0	0	3,443,500	0	3,443,500	0	3,443,500	-3,443,500	0
委託費	0	275,000	0	275,000	0	0	0	0	275,000	0	275,000
雑費	74,408	81,510	2,200	158,118	5,030	3,585	8,615	0	166,733	0	166,733
管理費	0	0	0	0	0	0	0	16,679,634	16,679,634	0	16,679,634
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	351,083	351,083	0	351,083
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	498,811	498,811	0	498,811
福利厚生費(管)	0	0	0	0	0	0	0	451,050	451,050	0	451,050
法定福利費(管)	0	0	0	0	0	0	0	47,761	47,761	0	47,761
会議費	0	0	0	0	0	0	0	473	473	0	473
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	1,047,758	1,047,758	0	1,047,758
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	1,252,234	1,252,234	0	1,252,234
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	39,655	39,655	0	39,655
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	394,087	394,087	0	394,087
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	702,913	702,913	0	702,913
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	1,154,130	1,154,130	0	1,154,130
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	9,348,500	9,348,500	0	9,348,500
保険料(管)	0	0	0	0	0	0	0	4,300	4,300	0	4,300
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	83,568	83,568	0	83,568
慶弔交際費	0	0	0	0	0	0	0	33,300	33,300	0	33,300
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	32,273	32,273	0	32,273
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	67,216	67,216	0	67,216
委託費	0	0	0	0	0	0	0	1,265,110	1,265,110	0	1,265,110
雑費	0	0	0	0	0	0	0	404,223	404,223	0	404,223
経常費用計	14,213,627	11,410,668	2,455,939	28,080,234	4,865,421	236,023	5,101,444	16,679,634	49,861,312	-3,450,100	46,411,212
評価損益等調整前当期経常増減額	-6,376,507	-4,194,985	6,850,065	-3,721,427	-4,801,421	-163,523	-4,964,944	2,761,433	-5,924,938	0	-5,924,938
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-6,376,507	-4,194,985	6,850,065	-3,721,427	-4,801,421	-163,523	-4,964,944	2,761,433	-5,924,938	0	-5,924,938
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業				収益事業等会計			法人会計	合 計	内部取引等消去	合 計
	公益目的事業(公1)	公益目的事業(公2)	公益共通	小 計	収益事業等(他1)	収益事業等(他2)	小 計	法人会計			
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-6,376,507	-4,194,985	6,850,065	-3,721,427	-4,801,421	-163,523	-4,964,944	2,761,433	-5,924,938	0	-5,924,938
他会計振替額	-1,058,130	3,858,077	-4,578,719	-1,778,772	1,860,102	0	1,860,102	-81,330	0	0	0
他事業振替額	0	4,578,719	-4,578,719	0	0	0	0	0	0	0	0
本部支部間繰出額	-1,058,130	-720,642	0	-1,778,772	1,860,102	0	1,860,102	-81,330	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	-7,434,637	-336,908	2,271,346	-5,500,199	-2,941,319	-163,523	-3,104,842	2,680,103	-5,924,938	0	-5,924,938
当期一般正味財産増減額	-7,434,637	-336,908	2,271,346	-5,500,199	-2,941,319	-163,523	-3,104,842	2,680,103	-5,924,938	0	-5,924,938
一般正味財産期首残高	-47,204,877	-29,909,939	96,112,052	18,997,236	-34,594,295	-2,372,297	-36,966,592	43,568,030	25,598,674	0	25,598,674
一般正味財産期末残高	-54,639,514	-30,246,847	98,383,398	13,497,037	-37,535,614	-2,535,820	-40,071,434	46,248,133	19,673,736	0	19,673,736
Ⅱ 指定正味財産増減の部											
一般正味財産への振替額	0	145,730	0	145,730	0	0	0	0	145,730	0	145,730
一般正味財産への振替額	0	145,730	0	145,730	0	0	0	0	145,730	0	145,730
寄付金	0	145,730	0	145,730	0	0	0	0	145,730	0	145,730
当期指定正味財産増減額	0	-145,730	0	-145,730	0	0	0	0	-145,730	0	-145,730
指定正味財産期首残高	0	226,825	0	226,825	0	0	0	0	226,825	0	226,825
指定正味財産期末残高	0	81,095	0	81,095	0	0	0	0	81,095	0	81,095
Ⅲ 正味財産期末残高	-54,639,514	-30,165,752	98,383,398	13,578,132	-37,535,614	-2,535,820	-40,071,434	46,248,133	19,754,831	0	19,754,831

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(2) 特定資産運用収入	0	17	-17
特定資産利息収入	0	17	-17
(4) 会費収入	27,750,000	27,856,000	-106,000
正会員会費収入	27,705,000	27,825,000	-120,000
賛助会員会費収入	45,000	31,000	14,000
賛助会員会費収入	45,000	30,000	15,000
学生会員会費収入	0	1,000	-1,000
(5) 事業収入	12,152,800	10,631,620	1,521,180
事業収入	12,152,800	10,631,620	1,521,180
各種参加費等事業収入	7,562,800	7,051,620	511,180
ばあとなあ事業収入	4,590,000	3,580,000	1,010,000
(6) 補助金等収入	0	1,045,600	-1,045,600
受取委託料収入	0	886,600	-886,600
その他委託料収入	0	886,600	-886,600
受取助成金収入	0	159,000	-159,000
キャリアパス支援研修事業助成金	0	159,000	-159,000
(7) 負担金収入	60,000	0	60,000
負担金収入	60,000	0	60,000
(10) 雑収入	0	389,798	-389,798
受取利息収入	0	158	-158
雑収入	0	389,640	-389,640
研修等資料販売料収入	0	12,400	-12,400
広告物同封手数料収入	0	18,660	-18,660
会費銀行振込回収手数料収入	0	293,580	-293,580
その他の雑収入	0	65,000	-65,000
事業活動収入計	39,962,800	39,923,035	39,765
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	29,418,226	31,147,680	-1,729,454
給料手当支出	9,733,212	11,351,677	-1,618,465
福利厚生費支出	2,179,772	2,166,837	12,935
福利厚生費支出(事)	873,411	622,508	250,903
法定福利費支出(事)	1,306,361	1,544,329	-237,968
旅費交通費支出	4,165,480	2,520,188	1,645,292
研修費支出	222,000	272,000	-50,000
通信運搬費支出	914,200	1,519,029	-604,829
会議費支出	22,820	70,804	-47,984
消耗什器備品費支出	4,000	0	4,000
消耗品費支出	174,000	198,142	-24,142
書籍代購入支出	762,760	495,143	267,617
印刷製本費支出	884,500	2,719,604	-1,835,104
賃借料支出	2,131,982	1,071,974	1,060,008
諸会費支出	0	25,000	-25,000
諸謝金支出	3,174,000	3,533,500	-359,500
租税公課支出	0	547,632	-547,632
負担金支出	1,074,000	785,200	288,800
試験評価費支出	140,000	0	140,000
委託費支出	270,000	275,000	-5,000

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
支部助成金支出(支部配分金)	3,443,500	3,443,500	0
雑支出	122,000	152,450	-30,450
(2) 管理費支出	15,663,745	16,111,300	-447,555
給料手当支出	335,628	351,083	-15,455
福利厚生費支出	75,164	498,811	-423,647
福利厚生費支出(管)	30,117	451,050	-420,933
法定福利費支出(管)	45,047	47,761	-2,714
会議費支出	0	473	-473
旅費交通費支出	883,000	948,688	-65,688
通信運搬費支出	1,637,000	1,131,416	505,584
消耗什器備品費支出	594,720	0	594,720
消耗品費支出	120,000	356,827	-236,827
印刷製本費支出	463,000	645,516	-182,516
賃借料支出	47,598	1,140,240	-1,092,642
諸会費支出	9,235,000	9,348,500	-113,500
保険料支出	0	4,300	-4,300
諸謝金支出	10,000	0	10,000
租税公課支出	420,000	83,568	336,432
慶弔交際費支出	30,000	33,300	-3,300
負担金支出	693,435	0	693,435
寄付金支出	0	50,000	-50,000
委託費支出	558,200	1,120,610	-562,410
雑支出	561,000	397,968	163,032
(3) 他会計への繰入金支出	0	-1,860,102	1,860,102
本部支部間繰出額	0	-1,860,102	1,860,102
事業活動支出計	45,081,971	45,398,878	-316,907
事業活動収支差額	-5,119,171	-5,475,843	356,672
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
(2) 特定資産取崩収入	0	2,400,567	-2,400,567
積立預金取崩収入	0	2,400,567	-2,400,567
投資活動収入計	0	2,400,567	-2,400,567
2. 投資活動支出			
(2) 特定資産取得支出	0	457	-457
積立預金積立支出	0	457	-457
投資活動支出計	0	457	-457
投資活動収支差額	0	2,400,110	-2,400,110
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0		0
当期収支差額	-5,119,171	-3,075,733	-2,043,438
前期繰越収支差額	28,909,497	21,228,265	7,681,232
次期繰越収支差額	23,790,326	18,152,532	5,637,794

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(5) 事業収入	80,000	27,500	52,500
事業収入	80,000	27,500	52,500
各種参加費等事業収入	80,000	27,500	52,500
(6) 補助金等収入	771,000	771,500	-500
支部配分金収入	771,000	771,500	-500
共通	50,000	50,000	0
会員割	411,000	411,500	-500
地区支部研修等配分金	310,000	310,000	0
事業活動収入計	851,000	799,000	52,000
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	851,000	436,516	414,484
旅費交通費支出	318,000	123,310	194,690
通信運搬費支出	114,000	8,652	105,348
会議費支出	18,000	464	17,536
消耗品費支出	30,000	0	30,000
印刷製本費支出	105,000	0	105,000
賃借料支出	34,000	16,450	17,550
諸謝金支出	172,000	285,000	-113,000
委託費支出	60,000	0	60,000
雑支出	0	2,640	-2,640
(2) 管理費支出	0	191,795	-191,795
旅費交通費支出	0	99,070	-99,070
通信運搬費支出	0	3,420	-3,420
委託費支出	0	86,400	-86,400
雑支出	0	2,905	-2,905
(3) 他会計への繰入金支出	0	170,689	-170,689
本部支部間繰出額	0	170,689	-170,689
事業活動支出計	851,000	799,000	52,000
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0		0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(6) 補助金等収入	304,000	437,500	-133,500
支部配分金収入	304,000	437,500	-133,500
共通	0	50,000	-50,000
会員割	0	77,500	-77,500
地区支部研修等配分金	304,000	310,000	-6,000
(10) 雑収入	0	1	-1
受取利息収入	0	1	-1
事業活動収入計	304,000	437,501	-133,501
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	304,000	75,190	228,810
旅費交通費支出	13,000	27,835	-14,835
通信運搬費支出	34,000	0	34,000
印刷製本費支出	62,000	15,000	47,000
賃借料支出	57,000	14,700	42,300
諸謝金支出	138,000	16,500	121,500
雑支出	0	1,155	-1,155
(2) 管理費支出	0	156,074	-156,074
通信運搬費支出	0	27,836	-27,836
消耗品費支出	0	1,645	-1,645
印刷製本費支出	0	53,590	-53,590
賃借料支出	0	10,300	-10,300
負担金支出	0	12,273	-12,273
委託費支出	0	50,000	-50,000
雑支出	0	430	-430
(3) 他会計への繰入金支出	0	206,237	-206,237
本部支部間繰出額	0	206,237	-206,237
事業活動支出計	304,000	437,501	-133,501
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0		0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(5) 事業収入	20,000	27,000	-7,000
事業収入	20,000	27,000	-7,000
各種参加費等事業収入	20,000	27,000	-7,000
(6) 補助金等収入	470,000	845,000	-375,000
受取委託料収入	0	363,000	-363,000
介護保険適正化事業委託料収入	0	363,000	-363,000
支部配分金収入	470,000	482,000	-12,000
共通	50,000	50,000	0
会員割	110,000	122,000	-12,000
地区支部研修等配分金	310,000	310,000	0
(7) 負担金収入	1,000	0	1,000
負担金収入	1,000	0	1,000
(10) 雑収入	0	1	-1
受取利息収入	0	1	-1
事業活動収入計	491,000	872,001	-381,001
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	378,000	622,902	-244,902
旅費交通費支出	15,000	46,220	-31,220
通信運搬費支出	95,000	86,806	8,194
会議費支出	5,000	562	4,438
消耗品費支出	14,000	38,092	-24,092
印刷製本費支出	61,000	76,673	-15,673
賃借料支出	30,000	25,471	4,529
諸謝金支出	95,000	289,500	-194,500
負担金支出	55,000	55,000	0
雑支出	8,000	4,578	3,422
(2) 管理費支出	113,000	37,414	75,586
旅費交通費支出	30,000	0	30,000
通信運搬費支出	40,000	16,460	23,540
消耗品費支出	20,000	20,414	-414
印刷製本費支出	15,000	0	15,000
賃借料支出	5,000	0	5,000
雑支出	3,000	540	2,460
(3) 他会計への繰入金支出	0	211,685	-211,685
本部支部間繰出額	0	211,685	-211,685
事業活動支出計	491,000	872,001	-381,001
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(6) 補助金等収入	417,500	418,500	-1,000
支部配分金収入	417,500	418,500	-1,000
共通	50,000	50,000	0
会員割	57,500	58,500	-1,000
地区支部研修等配分金	310,000	310,000	0
(10) 雑収入	100	1	99
受取利息収入	100	1	99
事業活動収入計	417,600	418,501	-901
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	382,500	100,913	281,587
旅費交通費支出	101,000	2,400	98,600
通信運搬費支出	77,000	29,614	47,386
会議費支出	5,000	0	5,000
消耗品費支出	29,000	3,353	25,647
印刷製本費支出	34,000	2,376	31,624
賃借料支出	14,000	2,090	11,910
諸謝金支出	102,500	55,500	47,000
負担金支出	20,000	3,300	16,700
雑支出	0	2,280	-2,280
(2) 管理費支出	35,100	81,337	-46,237
旅費交通費支出	10,000	0	10,000
通信運搬費支出	15,000	65,596	-50,596
消耗品費支出	5,000	15,201	-10,201
賃借料支出	5,100	0	5,100
雑支出	0	540	-540
(3) 他会計への繰入金支出	0	236,251	-236,251
本部支部間繰出額	0	236,251	-236,251
事業活動支出計	417,600	418,501	-901
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0		0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(6) 補助金等収入	445,500	444,000	1,500
支部配分金収入	445,500	444,000	1,500
共通	50,000	50,000	0
会員割	85,500	84,000	1,500
地区支部研修等配分金	310,000	310,000	0
(10) 雑収入	0	2	-2
受取利息収入	0	2	-2
事業活動収入計	445,500	444,002	1,498
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	310,000	106,338	203,662
旅費交通費支出	105,000	22,340	82,660
通信運搬費支出	65,000	3,998	61,002
消耗品費支出	10,000	0	10,000
印刷製本費支出	20,000	13,805	6,195
賃借料支出	0	5,050	-5,050
諸謝金支出	110,000	59,000	51,000
雑支出	0	2,145	-2,145
(2) 管理費支出	135,500	5,836	129,664
会議費支出	10,000	0	10,000
旅費交通費支出	30,000	0	30,000
通信運搬費支出	60,000	1,324	58,676
消耗品費支出	10,000	0	10,000
印刷製本費支出	23,000	3,807	19,193
雑支出	2,500	705	1,795
(3) 他会計への繰入金支出	0	331,828	-331,828
本部支部間繰出額	0	331,828	-331,828
事業活動支出計	445,500	444,002	1,498
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0		0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(5) 事業収入	30,000	0	30,000
事業収入	30,000	0	30,000
各種参加費等事業収入	30,000	0	30,000
(6) 補助金等収入	451,000	452,000	-1,000
支部配分金収入	451,000	452,000	-1,000
共通	0	50,000	-50,000
会員割	0	92,000	-92,000
地区支部研修等配分金	451,000	310,000	141,000
(7) 負担金収入	0	6,600	-6,600
負担金収入	0	6,600	-6,600
(10) 雑収入	50	2	48
受取利息収入	50	2	48
事業活動収入計	481,050	458,602	22,448
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	410,000	112,634	297,366
旅費交通費支出	88,000	31,300	56,700
通信運搬費支出	61,500	10,584	50,916
会議費支出	11,000	0	11,000
消耗品費支出	22,000	0	22,000
印刷製本費支出	33,000	0	33,000
賃借料支出	23,000	6,720	16,280
諸謝金支出	98,500	50,000	48,500
負担金支出	0	13,040	-13,040
委託費支出	5,000	0	5,000
雑支出	68,000	990	67,010
(2) 管理費支出	71,050	30,320	40,730
会議費支出	3,000	0	3,000
旅費交通費支出	5,000	0	5,000
通信運搬費支出	8,000	0	8,000
消耗品費支出	8,000	0	8,000
印刷製本費支出	8,000	0	8,000
賃借料支出	5,000	1,350	3,650
負担金支出	0	20,000	-20,000
委託費支出	24,000	8,100	15,900
雑支出	10,050	870	9,180
(3) 他会計への繰入金支出	0	315,648	-315,648
本部支部間繰出額	0	315,648	-315,648
事業活動支出計	481,050	458,602	22,448
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0		0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収 支 計 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(6) 補助金等収入	438,500	438,000	500
支部配分金収入	438,500	438,000	500
共通	50,000	50,000	0
会員割	78,500	78,000	500
地区支部研修等配分金	310,000	310,000	0
(10) 雑収入	55	2	53
受取利息収入	55	2	53
事業活動収入計	438,555	438,002	553
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	393,500	24,335	369,165
旅費交通費支出	73,500	0	73,500
通信運搬費支出	60,000	0	60,000
消耗品費支出	10,000	0	10,000
印刷製本費支出	60,000	0	60,000
賃借料支出	40,000	7,500	32,500
諸謝金支出	80,000	0	80,000
負担金支出	37,000	16,340	20,660
委託費支出	33,000	0	33,000
雑支出	0	495	-495
(2) 管理費支出	45,055	25,903	19,152
旅費交通費支出	5,500	0	5,500
通信運搬費支出	15,000	6,182	8,818
消耗品費支出	6,555	0	6,555
印刷製本費支出	10,000	0	10,000
賃借料支出	8,000	2,240	5,760
寄付金支出	0	17,216	-17,216
雑支出	0	265	-265
(3) 他会計への繰入金支出	0	387,764	-387,764
本部支部間繰出額	0	387,764	-387,764
事業活動支出計	438,555	438,002	553
事業活動収支差額	0	0	0
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0		0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表
2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益社団法人 北海道社会福祉士会

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	合 計
	公益目的事業 公1	公益目的事業 公2	公益共通	公益合計	収益事業等 他1	収益事業等 他2	収益事業等小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益		17		17			0		17
特定資産受取利息		17		17			0		17
会費収入			9,306,000	9,306,000			0	18,550,000	27,856,000
正会員会費収入			9,275,000	9,275,000			0	18,550,000	27,825,000
(賛助会員会費収入)			31,000	31,000			0		31,000
賛助会員会費			31,000	31,000			0		31,000
事業収益	5,652,120	4,892,000		10,544,120	64,000	72,500	136,500	5,500	10,686,120
各種参加費等事業収入	5,652,120	1,312,000		6,964,120	64,000	72,500	136,500	5,500	7,106,120
第三者評価機関認証料事業収入				0			0		0
ばあとなあ事業収入		3,580,000		3,580,000			0		3,580,000
受取補助金等	159,000	1,249,600	0	1,408,600	0	0	0	0	1,408,600
受取国庫補助金				0			0		0
日本社会福祉士会 講習会委託料収入				0			0		0
ばあとなあ受託収入				0			0		0
介護保険適正化事業受託収入		363,000		363,000			0		363,000
生活再建サポート委託料収入				0			0		0
その他委託料収入		886,600		886,600			0		886,600
受取助成金収入	159,000	0	0	159,000			0		159,000
キャリアパス支援研修事業助成金	159,000			159,000			0		159,000
その他助成金収入				0			0		0
(道社会福祉士会より支部配分金)	0	0	0	0			0		0
共通				0			0		0
会員割				0			0		0
地区支部研修等配分金				0			0		0
受取補助金等振替額				0			0		0
受取寄付金	0	145,730	0	145,730	0	0	0	0	145,730
受取寄付金振替額		145,730		145,730			0		145,730
受取負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金収入				0			0		0
雑収入	47,400	64,336	4	111,740	0	0	0	278,067	389,807
受取利息	0	36	4	40			0	127	167
(その他の雑収入)	47,400	64,300	0	111,700	0	0	0	277,940	389,640
書籍販売収入				0			0		0

正味財産増減計算書内訳表
2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益社団法人 北海道社会福祉士会

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	合 計
	公益目的事業 公1	公益目的事業 公2	公益共通	公益合計	収益事業等 他1	収益事業等 他2	収益事業等小計		
事務手数料				0			0		0
研修等資料販売収入	12,400			12,400			0		12,400
広告物同封手数料収入		18,660		18,660			0		18,660
会費銀行振込回収手数料収入		45,640		45,640			0	247,940	293,580
その他の雑収入	35,000			35,000			0	30,000	65,000
経常収益計	5,858,520	6,351,683	9,306,004	21,516,207	64,000	72,500	136,500	18,833,567	40,486,274
2. 経常費用									
事業費支出	14,207,027	11,410,668	2,455,939	28,073,634	1,421,921	236,023	1,657,944		29,731,578
給料手当	5,125,809	4,142,777	1,170,276	10,438,862	854,301	58,514	912,815		11,351,677
(福利厚生費)	978,427	790,785	223,385	1,992,597	163,071	11,169	174,240		2,166,837
福利厚生費	281,091	227,184	64,176	572,451	46,848	3,209	50,057		622,508
法定福利費	697,336	563,601	159,209	1,420,146	116,223	7,960	124,183		1,544,329
旅費交通費	2,088,291	497,162		2,585,453	162,020	26,120	188,140		2,773,593
研修費	265,000	4,000		269,000	3,000		3,000		272,000
通信運搬費	507,855	582,483	507,432	1,597,770	39,612	21,301	60,913		1,658,683
減価償却費			515,515	515,515	39,655		39,655		555,170
消耗什器備品費				0			0		0
消耗品費	95,718	89,222		184,940	39,779	14,868	54,647		239,587
修繕費				0			0		0
書籍代購入費	439,373			439,373		55,770	55,770		495,143
印刷製本費	223,872	2,601,502		2,825,374	404	1,680	2,084		2,827,458
燃料費				0			0		0
光熱水料費				0			0		0
賃借料	809,848	226,079	37,131	1,073,058	39,465	37,432	76,897		1,149,955
活動費				0			0		0
保険料				0			0		0
諸会費				0	25,000		25,000		25,000
諸謝金	3,074,000	1,200,000		4,274,000	15,000		15,000		4,289,000
会議費	71,482	348		71,830			0		71,830
慶弔交際費				0			0		0
租税公課	256,864	279,600		536,464	5,584	5,584	11,168		547,632
支払負担金	196,080	640,200		836,280	30,000		30,000		866,280
支払配分金(支払助成金)				0			0		0
支払寄付金				0			0		0
委託費		275,000		275,000			0		275,000
試験評価費支出				0			0		0
成年後見人養成支部委託研修諸経費				0			0		0
雑費	74,408	81,510	2,200	158,118	5,030	3,585	8,615		166,733
貸倒引当金繰入				0			0		0

正味財産増減計算書内訳表
2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益社団法人 北海道社会福祉士会

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	合 計
	公益目的事業 公1	公益目的事業 公2	公益共通	公益合計	収益事業等 他1	収益事業等 他2	収益事業等小計		
管理費支出								16,679,634	16,679,634
給料手当								351,083	351,083
(福利厚生費)								498,811	498,811
福利厚生費								451,050	451,050
法定福利費								47,761	47,761
旅費交通費								1,047,758	1,047,758
通信運搬費								1,252,234	1,252,234
減価償却費								39,655	39,655
消耗什器備品費									0
消耗品費								394,087	394,087
修繕費									0
書籍代購入費									0
印刷製本費								702,913	702,913
燃料費									0
光熱水料費									0
賃借料								1,154,130	1,154,130
保険料								4,300	4,300
諸会費								9,348,500	9,348,500
諸謝金									0
会議費								473	473
慶弔交際費								33,300	33,300
租税公課								83,568	83,568
支払負担金								32,273	32,273
支払配分金								0	0
支払寄付金								67,216	67,216
委託費								1,265,110	1,265,110
雑費								404,223	404,223
貸倒引当金繰入									0
経常費用計	14,207,027	11,410,668	2,455,939	28,073,634	1,421,921	236,023	1,657,944	16,679,634	46,411,212
当期経常増減額	-8,348,507	-5,058,985	6,850,065	-6,557,427	-1,357,921	-163,523	-1,521,444	2,153,933	-5,924,938
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
貸倒引当金戻入				0					0
経常外収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
									0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表
2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益社団法人 北海道社会福祉士会

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	合 計
	公益目的事業 公1	公益目的事業 公2	公益共通	公益合計	収益事業等 他1	収益事業等 他2	収益事業等小計		
当期経常外増減額	-8,348,507	-5,058,985	6,850,065	-6,557,427	-1,357,921	-163,523	-1,521,444	2,153,933	-5,924,938
他事業振替額				0			0		0
他会計振替額		4,578,719	-4,578,719						
本部支部間繰出額	-1,058,130	-720,642		-1,778,772	1,860,102		1,860,102	-81,330	0
当期一般正味財産増減額	-9,406,637	-1,200,908	2,271,346	-8,336,199	502,181	-163,523	338,658	2,072,603	-5,924,938
一般正味財産期首残高	-47,204,877	-29,909,939	96,112,052	18,997,236	-34,594,295	-2,372,297	-36,966,592	43,568,030	25,598,674
一般正味財産期末残高	-56,611,514	-31,110,847	98,383,398	10,661,037	-34,092,114	-2,535,820	-36,627,934	45,640,633	19,673,736
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金				0			0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金				0			0	0	0
一般正味財産への振替額	0	145,730	0	145,730	0	0	0	0	145,730
民間助成金				0			0	0	0
寄付金		145,730		145,730			0		145,730
当期指定正味財産増減額	0	-145,730	0	-145,730	0	0	0	0	-145,730
指定正味財産期首残高		226,825		226,825					226,825
指定正味財産期末残高	0	81,095	0	81,095	0	0	0	0	81,095
Ⅲ 基金増減の部									
当期基金増減額									
基金期首残高									
基金期末残高									
Ⅳ 正味財産期末残高	-56,611,514	-31,029,752	98,383,398	10,742,132	-34,092,114	-2,535,820	-36,627,934	45,640,633	19,754,831

※「道福祉士会より支部配分金収入」からは、次の金額が控除されております。
公1 1,972,000円 ・ 公2 864,000円 ・ 法人会計 607,500円 (計3,443,500円)
※「事業費 支払配分金(支払助成金)からは、次の金額が控除されております。
他1 3,443,500円
※「事業収益 受取負担金からは、次の金額が控除されております。
公1 6,600円
※「事業費 支払負担金からは、次の金額が控除されております。
公1 6,600円

令和 6 年 4 月 24 日

監 査 報 告 書

公益社団法人 北海道社会福祉士会

代表理事・会長 出 町 勇 人 殿

監 事 大 内 高 雄 ㊞

監 事 石 塚 慶 如 ㊞

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの事業年度の監査につきまして、次のとおり、その方法および結果を報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

また、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書、収支計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2 監査意見

（１）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

- 一 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を すべての重要な点において適正に示していると認めます。
- 二 地区支部予算のうち、管理費が計上されていない箇所が認められました。次年度予算策定の際に計上方法を周知され、理事会における予算承認前の内容確認を行うよう意見します。

以上

議案第 4 号

公益社団法人北海道社会福祉士会 費用弁償に関する規則 (規則第 3 号) の一部改正について

1. 改正趣旨

- ① 現行の規則は、第 2 条第 1 項において費用弁償の対象となる会務に「総会」が含まれておらず、同条第 2 項第 1 号では「正会員が、本会の総会に参加する場合」は原則として費用弁償の対象としないと規定されています。この規定に基づき、これまで総会に出席する会長、副会長を含めた理事及び会員監事（以下「役員」という。）は、他の正会員と同様に費用弁償が支払われていません。

他方、法律上の総会への役員の出席義務については明確な規定はありませんが、一般的に役員は総会において「説明義務」があることから、出席しなければならないと考えることが妥当とされています。

役員として総会に出席する際の費用を、費用弁償の対象とするため、一部改正を行う。

- ② 本規則の目的は、第 1 条において「本会の役員他会員が、会務に従事した場合の費用弁償の基本的事項について定めるもの」とあるが、第 6 条の日当については、本会の会員以外の者（外部委員）についてのみ記載されており、会員の日当についての記載がされていないため、一部改正を行う。

なお、総会において規則改正が承認された後、本会委員の報酬及び費用弁償等に関する規定（規定第 32 号）及び、本会旅費・日当等の支払細則（細則第 6 号）等の内容について整理し、順次一部改正を行うものとする。

2. 改定箇所

新旧対照表を参照。

3. その他

2024 年 6 月 22 日開催の総会にて上程を行う。この規則は 2025 年 4 月 1 日から施行する。

公益社団法人北海道社会福祉士会費用弁償に関する規則新旧対照表

改正後	現行
公益社団法人北海道社会福祉士会費用弁償に関する規則 規則第 3 号 2013 年 4 月 1 日制定 <u>2024 年 6 月 22 日一部改正</u> (目的) 第 1 条 この規則は、公益社団法人北海道社会福祉士会（以下「本会」という。）の役員他会員が、会務に従事した場合の費用弁償の基本的事項について定めることを目的とする。 (対象) 第 2 条 この規則の適用の対象となる会務とは、次の各号に掲げる活動をいう。 (1) <u>役員が、定款に定める総会及び理事会に出席すること。</u> (2) 役員が、連絡調整等のために会長の命を受けて出張すること。 (3) 委員会等の補助組織の会議の構成員としてその会議に出席し、又はその業務に参加すること。	公益社団法人北海道社会福祉士会費用弁償に関する規則 規則第 3 号 2013 年 4 月 1 日制定 (目的) 第 1 条 この規則は、公益社団法人北海道社会福祉士会（以下「本会」という。）の役員他会員が、会務に従事した場合の費用弁償の基本的事項について定めることを目的とする。 (対象) 第 2 条 この規則の適用の対象となる会務とは、次の各号に掲げる活動をいう。 (1) <u>定款に定める理事会、又は理事会が特に必要と認める業務に参加すること。</u> (2) 役員が、連絡調整等のために会長の命を受けて出張すること。 (3) 委員会等の補助組織の会議の構成員としてその会議に出席し、又はその業務に参加すること。

(4) その他会長が特に費用弁償することを承認して行う事業等に参加すること。 2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる場合は、原則として費用弁償の対象としない。 (1) <u>役員を除く</u>正会員が、本会の総会に参加する場合 (2) 定款による機関及び補助組織の構成員としてではなく、単なる傍観者として参加する場合 (3) 公益社団法人日本社会福祉士会の総会、学会に参加する場合 (4) その他あらかじめ費用弁償の対象としない旨告知された事業に参加する場合 (5) 本会の正会員が事務局の職員として事業に参加する場合 第3条～第4条 (略) (宿泊費) 第5条 宿泊費は、次の各号に掲げる場合に支給する。	(4) その他会長が特に費用弁償することを承認して行う事業等に参加すること。 2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる場合は、原則として費用弁償の対象としない。 (1) 正会員が、本会の総会に参加する場合。 (2) 定款による機関及び補助組織の構成員としてではなく、単なる傍観者として参加する場合。 (3) 公益社団法人日本社会福祉士会の総会、学会に参加する場合。 (4) その他あらかじめ費用弁償の対象としない旨告知された事業に参加する場合。 (5) 本会の正会員が事務局の職員として事業に参加する場合。 第3条～第4条 (略) (宿泊費) 第5条 宿泊費は、次の各号に掲げる場合に支給する。
--	---

(1) 複数日にわたって会務に従事するために宿泊の必要がある場合 <u> </u> (2) 前号以外で、理事会が必要と認めた場合 <u> </u> 2 支給額については、別途定める。 (日当) 第6条 <u>日当は、次の各号に掲げる場合に支給する。</u> (1) 理事会において会長が命じた会議、連絡調整等のための出張、研修会等の運営にあたる場合 <u> </u> (2) その他、理事会が特に必要と認めた場合 <u> </u> 2 前項の会議が複数日に及んだ場合にあっては、その日数を乗じた額を支給する。 3 支給額については、別途定める。 第7条～第10条 (略)	(1) 複数日にわたって会務に従事するために宿泊の必要がある場合。 (2) 前号以外で、理事会が必要と認めた場合。 2 支給額については、別途定める。 (日当) 第6条 本会の会員以外の者(外部委員)が委員会等補助組織の会議の構成員としてその業務に参加したときは、日当を支給する。ただし、4時間に満たない場合は、定額の2分の1とする。 (1) 理事会において会長が命じた会議、連絡調整等のための出張、研修会等の運営にあたる場合。 (2) その他、理事会が特に必要と認めた場合。 2 前項の会議が複数日に及んだ場合にあっては、その日数を乗じた額を支給する。 3 支給額については、別途定める。 第7条～第10条 (略)
---	--

附 則

1. この規則は、本会設立の日から施行する。

附 則

1. この規則は、2025年4月1日から施行する。

附 則

1. この規則は、本会設立の日から施行する。

公益社団法人北海道社会福祉士会費用弁償に関する規則

規則第3号

2013年4月1日制定

2024年6月22日一部改正

(目的)

第1条 この規則は、公益社団法人北海道社会福祉士会（以下「本会」という。）の役員他会員が、会務に従事した場合の費用弁償の基本的事項について定めることを目的とする。

(対象)

第2条 この規則の適用の対象となる会務とは、次の各号に掲げる活動をいう。

- (1) 役員が、定款に定める総会及び理事会に出席すること。
- (2) 役員が、連絡調整等のために会長の命を受けて出張すること。
- (3) 委員会等の補助組織の会議の構成員としてその会議に出席し、又はその業務に参加すること。
- (4) その他会長が特に費用弁償することを承認して行う事業等に参加すること。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる場合は、原則として費用弁償の対象としない。

- (1) 役員を除く正会員が、本会の総会に参加する場合
- (2) 定款による機関及び補助組織の構成員としてではなく、単なる傍観者として参加する場合
- (3) 公益社団法人日本社会福祉士会の総会、学会に参加する場合
- (4) その他あらかじめ費用弁償の対象としない旨告知された事業に参加する場合
- (5) 本会の正会員が事務局の職員として事業に参加する場合

(範囲)

第3条 この規則によって弁償を受けることができる費用は、予算の範囲内において、次の各号に定めるものに限る。

- (1) 会務に従事するために要する交通費(以下「交通費」という。)
- (2) 会務に従事するために要する宿泊費(以下「宿泊費」という。)
- (3) 会務に従事するために必要な経費(以下「日当」という。)
- (4) その他の経費で、理事会が特に必要と認めたもの。

(交通費)

第4条 交通費は、会務に参加するために順路によって要する船賃、鉄道運賃、バス運賃、航空運賃の往復料金の実費とする。

- 2 前項の鉄道運賃は、普通料金に特別料金(座席指定料金、急行料金、特急料金等)を加えた額とする。
- 3 やむを得ない事情によりタクシーを利用した場合は、タクシー利用料金の実費を加算する。

(宿泊費)

第5条 宿泊費は、次の各号に掲げる場合に支給する。

- (1) 複数日にわたって会務に従事するために宿泊の必要がある場合
- (2) 前号以外で、理事会が必要と認めた場合

- 2 支給額については、別途定める。

(日当)

第6条 日当は、次の各号に掲げる場合に支給する。

- (1) 理事会において会長が命じた会議、連絡調整等のための出張、研修会等の運営にあたる場合
- (2) その他、理事会が特に必要と認めた場合

- 2 前項の会議が複数日に及んだ場合にあっては、その日数を乗じた額を支給する。
- 3 支給額については、別途定める。

(費用の請求)

第7条 費用の弁償を受けようとする者は、請求をしなければならない。

(前渡し)

第8条 本人が希望する場合には、要する金額を前渡しすることができる。

- 2 前項の規定により費用の前渡しを受けた者は、当該会務終了後20日以内に、

精算をしなければならない。

(委任)

第9条 この規則に定める外、必要な細目事項は、理事会において別に定める。

(改廃)

第10条 この規則を改正するときは、総会の承認を得なければならない。

附 則

1. この規則は、本会設立の日から施行する。

附 則

1 この規則は、2025年4月1日から施行する。

議案第 5 号

公益社団法人北海道社会福祉士会 委員会及び事業部会の設置
及び運営に関する規則（規則第 7 号）の一部改正について

1. 改正趣旨

現行の規則は、第 4 条第 1 項の委員長の選任において「委員長は、原則として副会長がこれを兼ねる。ただし、これにより難しい時は理事会において理事の中から選任されるものとする。」と規定されており、同条第 4 項では「委員長は複数の委員会を兼任しないものとする。」と規定されていますが、現状、副会長以外の理事が委員長を担っており、また、複数の委員会を兼任していることから、実際の運用に合わせて一部改正を行う。

また、今後の委員会及び事業部会の運用をしやすくするため、文言の整理を含め併せて一部改正を行う。

2. 改定箇所

新旧対照表を参照。

3. その他

2024 年 6 月 22 日開催の総会にて上程を行う。この規則は 2025 年定時総会後から施行する。

以上

公益社団法人北海道社会福祉士会委員会及び事業部会の設置及び運営に関する規則 新旧対照表

改正後	現行
公益社団法人北海道社会福祉士会 委員会及び事業部会の設置及び運営に関する規則 規則第 7 号 2013 年 4 月 1 日制定 2016 年 6 月 11 日一部改正 <u>2024 年 6 月 22 日一部改正</u> 第 1 条～第 3 条 （略） （委員長の選任） 第 4 条 委員長は、原則として理事会において理事の中から選任されるものとする。 2・3 （略） 4 委員長は複数の委員会 <u>の委員長</u>を兼任しないものとする。<u>ただし、理事会で必要と認められた場合はその限りではない。</u>	公益社団法人北海道社会福祉士会 委員会及び事業部会の設置及び運営に関する規則 規則第 7 号 2013 年 4 月 1 日制定 2016 年 6 月 11 日一部改正 第 1 条～第 3 条 （略） （委員長の選任） 第 4 条 委員長は、原則として<u>副会長がこれを兼ねる。ただし、これにより難しいときは、</u>理事会において理事の中から選任されるものとする。 2・3 （略） 4 委員長は複数の委員会を兼任しないものとする。

(委員会の監督) 第5条 <u>正副会長は</u>、業務運営監督者として、<u>委員会</u>を分担して監督する。 (委員長の任期) 第6条 委員長の任期は、本会定款第25条を準用する。 第7条・第8条 (略) (委員<u>長</u>の責務) 第9条 委員長は、当該委員会の年度事業計画及び予算並びに次年度事業報告及び決算を別に定める様式により理事会が指定する期日までに作成し、会長に提出しなければならない。 2・3 (略) 第10条 (略)	(委員会の監督) 第5条 <u>委員長は</u>、業務運営監督者として、<u>事業部会</u>を分担して監督する。 (委員長の任期) 第6条 委員長の任期は、本会定款第25条を準用する。 第7条・第8条 (略) (委員<u>会</u>の責務) 第9条 委員長は、当該委員会の年度事業計画及び予算並びに次年度事業報告及び決算を別に定める様式により理事会が指定する期日までに作成し、会長に提出しなければならない。 2・3 (略) 第10条 (略)
--	--

(削除) (個別運営) 第 <u>11</u> 条 委員長は、以下の事項を所轄する委員会について個別に決定し内規運用することができる。 (1) 委員の人数構成・<u>公募方法</u> (2) 委員の解任・補充 (3) 委員会の開催方法 (4) <u>事業</u>部会の設置 (5) 議決の方法 (削除) <u>(委員の役割)</u> 第 <u>12</u> 条 委員は、当該委員会が所管する事業の推進を図るた	<u>(委員会の構成)</u> 第 <u>11</u> 条 委員会は、事業部会長（以下「部会長」という。）をもって構成する。 (個別運営) 第 <u>12</u> 条 委員長は、以下の事項を所轄する委員会について個別に決定し内規運用することができる。 (1) 委員の人数構成 (2) 委員の解任・補充 (3) 委員会の開催方法 (4) 部会の設置 (5) 議決の方法 <u>2 本会定款第 33 条第 2 項の規定により、委員長が委員会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき部会長の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の委員会の決議があったものとみなす。</u>
---	---

<u>め、他の委員と協働してその職務を担う。</u> <u>2 地区支部より推薦された委員は、常に当該支部の支部長等と連携を図るよう努める。</u> (費用弁償及び謝金) 第 13 条 委員会活動に伴う旅費等の費用弁償及び謝金等に関する事項は、別に定める。 (事業部会の設置) 第 14 条 <u>委員長は個別の事業目的のために委員会内に事業部会を設置することができる。</u> <u>2 委員長は、業務運営監督者として、事業部会を監督する。</u> <u>3 事業部会長は、委員長が任命する。</u> <u>4 事業部会長は、事業計画、予算にもとづき事業を執行する。</u> <u>5 事業部会長は、活動の進捗状況及び収支状況を明らかにし、委員長の求めに応じ委員会へ報告しなければならない。</u> (<u>事業</u>部会長の選任) 第 15 条 <u>事業</u>部会長は、委員会において原則として<u>委員会の担当理事又は委員</u>の中から選任されるものとする。ただし、	(費用弁償及び謝金) 第 13 条 委員会活動に伴う旅費等の費用弁償及び謝金等に関する事項は、別に定める。 (事業部会の設置) 第 14 条 <u>事業部会（以下「部会」という。）を新たに設置又は変更するときは、委員長による起案に基づき理事会に申請し、承認を受けなければならない。</u> <u>2 前項の申請に当たっては、目的、事業計画、予算、委員長及び委員人数構成等の案について明確にしなければならない。</u> (部会長の選任) 第 15 条 部会長は、委員会において原則として<u>理事</u>の中から選任されるものとする。ただし、これにより難しいときは、こ
--	--

これにより難いときは、この限りではない。 2 <u>事業</u>部会長は、事業責任者として、事業部会を運営する。 3 <u>事業</u>部会長が欠けたときは、委員会においてすみやかに後任の<u>事業</u>部会長を選任しなければならない。 <u>(削除)</u> (<u>事業</u>部会長の任期) 第 16 条 <u>事業</u>部会長の任期は、<u>理事または委員の任期と同様とする。</u> <u>(削除)</u> (<u>事業</u>部会長の解任) 第 17 条 <u>事業</u>部会長が次の各号の一に該当するときは、委員会において3分の2以上の議決に基づき、解任することができる。この場合、その<u>事業</u>部会長に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。 (1) 心身の故障のため職務の遂行に堪えられないと認めるとき。	の限りではない。 2 部会長は、事業責任者として、事業部会を運営する。 3 部会長が欠けたときは、委員会においてすみやかに後任の部会長を選任しなければならない。 <u>4 部会長は、複数の事業部会を兼任しないものとする。</u> (部会長の任期) 第 16 条 部会長の任期は、<u>本会定款第 25 条を準用する。</u> <u>2 理事でない部会長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、連続して4期8年を超えて選任されることはできないものとする。</u> (部会長の解任) 第 17 条 部会長が次の各号の一に該当するときは、委員会において3分の2以上の議決に基づき、解任することができる。この場合、その部会長に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。 (1) 心身の故障のため職務の遂行に堪えられないと認めるとき。
--	--

(2) 職務上の義務違反その他<u>事業</u>部会長としてふさわしくない行為があると認められるとき。 (<u>事業</u>部会の解散) 第 18 条 <u>事業</u>部会を終了あるいは解散するときは、予めその理由を明確にして事業部会長の申請に基づき委員長の承認を得なければならない。 (<u>事業</u>部会長の責務) 第 19 条 <u>事業部会長は、当該事業部会開催の都度遅滞なく議事録を作成し、事務局に保管しなければならない。</u> <u>2 事業部会長は、当該事業部会活動の進捗状況及び収支状況を明らかにし、必要に応じて委員会に報告しなければならない。</u> <u>(削除)</u> (<u>事業</u>副部会長) 第 20 条 <u>事業</u>部会長は、運営上必要があると認められるとき	(2) 職務上の義務違反その他部会長としてふさわしくない行為があると認められるとき。 (部会の解散) 第 18 条 部会を終了あるいは解散するときは、予めその理由を明確にして委員長の申請に基づき理事会の承認を得なければならない。 (部会長の責務) 第 19 条 部会長は、<u>当該部会の年度事業計画及び予算並びに次年度事業報告及び決算を別に定める様式により委員会が指定する期日までに作成し、委員長に提出しなければならない。</u> <u>2 部会長は、当該部会開催の都度遅滞なく議事録を作成し、事務局に保管しなければならない。</u> <u>3 部会長は、当該部会活動の進捗状況及び収支状況を明らかにし、必要に応じて委員会に報告しなければならない。</u> (副部会長) 第 20 条 部会長は、運営上必要があると認められるときは、
--	--

は、<u>事業</u>副部会長を<u>事業</u>部会委員の中から選任することができる。 2 <u>事業</u>副部会長は<u>事業</u>部会長を補佐し、<u>事業</u>部会長に事故ある時はその事務を代行する。 (個別運営) 第 21 条 委員長は、以下の事項を所轄する<u>事業</u>部会について個別に決定し内規運用することができる。 (1) <u>事業部会員</u>の人数構成 (2) <u>事業部会員</u>の解任・補充 (3) <u>事業部会員</u>の公募方法 (4) <u>事業部会員</u>の任期 (5) <u>事業部会</u>の開催方法 (削除) (<u>6</u>) 議決の方法 (削除)	副部会長を部会委員の中から選任することができる。 2 副部会長は部会長を補佐し、部会長に事故ある時はその事務を代行する。 (個別運営) 第 21 条 委員長は、以下の事項を所轄する部会について個別に決定し内規運用することができる。 (1) <u>委員</u>の人数構成 (2) <u>委員</u>の解任・補充 (3) <u>委員</u>の公募方法 (4) <u>委員</u>の任期 (5) <u>委員会</u>の開催方法 (<u>6</u>) <u>部会の設置</u> (<u>7</u>) 議決の方法 2 本会定款第 33 条第 2 項の規定により、部会長が部会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき部会の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の部会の
--	--

(<u>事業</u>部会員の役割) 第 22 条 <u>事業</u>部会員は、当該<u>事業</u>部会が所管する事業の推進を図るため、他の<u>事業</u>部会員と協働してその職務を担う。 2 地区支部より推薦された<u>事業</u>部会員は、常に当該支部の支部長等と連携を図るよう努める。 (費用弁償及び謝金) 第 23 条 <u>事業</u>部会活動に伴う旅費等の費用弁償及び謝金等に関する事項は、別に定める。 (改廃) 第 24 条 この規則の改廃は、総会の承認を得なければならない。 附則 1 本規則は、本会設立の日から施行する。 附則 この規則は、2017 年 4 月 1 日から施行する。 附則	決議があったものとみなす。 (部会員の役割) 第 22 条 部会員は、当該部会が所管する事業の推進を図るため、他の部会員と協働してその職務を担う。 2 地区支部より推薦された部会員は、常に当該支部の支部長等と連携を図るよう努める。 (費用弁償及び謝金) 第 23 条 部会活動に伴う旅費等の費用弁償及び謝金等に関する事項は、別に定める。 (改廃) 第 24 条 この規則の改廃は、総会の承認を得なければならない。 附則 1 本規則は、本会設立の日から施行する。 附則 この規則は、2017 年 4 月 1 日から施行する。 附則
--	---

この規則は、2020 年 6 月 27 日から施行する。

附 則

この規則は、2025 年度定時総会後から施行する。

この規則は、2020 年 6 月 27 日から施行する。

公益社団法人北海道社会福祉士会委員会及び事業部会の
設置及び運営に関する規則

規則第 7 号

2013 年 4 月 1 日制定

2016 年 6 月 11 日一部改正

2024 年 6 月 22 日一部改正

(目的)

第 1 条 この規則は、公益社団法人北海道社会福祉士会（以下「本会」という。）の事業を円滑に実施するための委員会及び事業部会の設置及び運営に関する基本的事項を定めることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この規則において「委員会」とは、次項の事業部会の運営及び管理を担うため、継続的に設置する機関をいう。

2 この規則において「事業部会」とは、本会事業の企画、運営、研究又は調査等の推進を目的として継続的又は期間を定めて設置する機関をいう。

(委員会の設置)

第 3 条 委員会を新たに設置又は変更するときは、理事又は事務局長による起案に基づき理事会に申請し、承認を受けなければならない。

2 前項の申請に当たっては、目的、事業計画、予算、委員長及び委員人数構成等の案について明確にしなければならない。

(委員長の選任)

第 4 条 委員長は、原則として理事会において理事の中から選任されるものとする。

2 委員長は、業務運営責任者として、委員会を運営する。

3 委員長が欠けたときは、理事会においてすみやかに後任の委員長を選任しなければならない。

4 委員長は複数の委員会の委員長を兼任しないものとする。ただし、理事会で必要と認められた場合はその限りではない。

(委員会の監督)

第5条 正副会長は、業務運営監督者として、委員会を分担して監督する。

(委員長の任期)

第6条 委員長の任期は、本会定款第25条を準用する。

(委員長の解任)

第7条 委員長が次の各号の一に該当するときは、理事会において3分の2以上の議決に基づき、解任することができる。この場合、その委員長に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。

(1) 心身の故障のため職務の遂行に堪えられないと認めるとき。

(2) 職務上の義務違反その他委員長としてふさわしくない行為があると認められるとき。

(委員会の解散)

第8条 委員会を終了あるいは解散するときは、予めその理由を明確にして委員長の申請に基づき理事会の承認を得なければならない。

(委員長の責務)

第9条 委員長は、当該委員会の年度事業計画及び予算並びに次年度事業報告及び決算を別に定める様式により理事会が指定する期日までに作成し、会長に提出しなければならない。

2 委員長は、委員会開催の都度遅滞なく議事録を作成し、事務局に保管しなければならない。

3 委員長は、委員会活動の進捗状況及び収支状況を明らかにし、必要に応じて理事会に報告しなければならない。

(副委員長)

第10条 委員長は、運営上必要があると認められるときは、副委員長を委員の中から選任することができる。

2 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその事務を代行する。

(個別運営)

第11条 委員長は、以下の事項を所轄する委員会について個別に決定し内規運用することができる。

(1) 委員の人数構成・公募方法

(2) 委員の解任・補充

(3) 委員会の開催方法

(4) 事業部会の設置

(5) 議決の方法

(委員の役割)

第 12 条 委員は、当該委員会が所管する事業の推進を図るため、他の委員と協働してその職務を担う。

2 地区支部より推薦された委員は、常に当該支部の支部長等と連携を図るよう努める。

(費用弁償及び謝金)

第 13 条 委員会活動に伴う旅費等の費用弁償及び謝金等に関する事項は、別に定める。

(事業部会の設置)

第 14 条 委員長は個別の事業目的のために委員会内に事業部会を設置することができる。

2 委員長は、業務運営監督者として、事業部会を監督する。

3 事業部会長は、委員長が任命する。

4 事業部会長は、事業計画、予算にもとづき事業を執行する。

5 事業部会長は、活動の進捗状況及び収支状況を明らかにし、委員長の求めに応じ委員会へ報告しなければならない

(事業部会長の選任)

第 15 条 事業部会長は、委員会において原則として委員会の担当理事又は委員の中から選任されるものとする。ただし、これにより難しいときは、この限りではない。

2 事業部会長は、事業責任者として、事業部会を運営する。

3 事業部会長が欠けたときは、委員会においてすみやかに後任の事業部会長を選任しなければならない。

(事業部会長の任期)

第 16 条 事業部会長の任期は、本会定款第 25 条を準用する。

(事業部会長の解任)

第 17 条 事業部会長が次の各号の一に該当するときは、事業部会において3分の2以上の議決に基づき、解任することができる。この場合、その事業部会長に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。

(1) 心身の故障のため職務の遂行に堪えられないと認めるとき。

(2) 職務上の義務違反その他事業部会長としてふさわしくない行為があると認められるとき。

(事業部会の解散)

第 18 条 事業部会を終了あるいは解散するときは、予めその理由を明確にして事業部会長の申請に基づき委員長の承認を得なければならない。

(事業部会長の責務)

第 19 条 事業部会長は、当該事業部会開催の都度遅滞なく議事録を作成し、事務局に保管しなければならない。

2 事業部会長は、当該事業部会活動の進捗状況及び収支状況を明らかにし、必要に応じて委員会に報告しなければならない。

(事業副部会長)

第 20 条 事業部会長は、運営上必要があると認められるときは、事業副部会長を事業部会委員の中から選任することができる。

2 事業副部会長は事業部会長を補佐し、事業部会長に事故ある時はその事務を代行する。

(個別運営)

第 21 条 委員長は、以下の事項を所轄する事業部会について個別に決定し内規運用することができる。

(1) 事業部会員の人数構成

(2) 事業部会員の解任・補充

(3) 事業部会員の公募方法

(4) 事業部会員の任期

(5) 事業部会の開催方法

(6) 議決の方法

(事業部会員の役割)

第 22 条 事業部会員は、当該事業部会が所管する事業の推進を図るため、他の事業部会員と協働してその職務を担う。

2 地区支部より推薦された事業部会員は、常に当該支部の支部長等と連携を図るよう努める。

(費用弁償及び謝金)

第 23 条 事業部会活動に伴う旅費等の費用弁償及び謝金等に関する事項は、別に定める。

(改廃)

第 24 条 この規則の改廃は、総会の承認を得なければならない。

附 則

1 本規則は、本会設立の日から施行する。

附 則

この規則は、2017 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、2020 年 6 月 27 日から施行する。

附 則

この規則は、2025 年度定時総会後から施行する

議案第6号

公益社団法人北海道社会福祉士会倫理委員会委員の選任について

倫理委員会委員候補者について、下記の者を理事会において決定したので、倫理委員会委員選考に関する規程第3条第4項の規定に基づき総会の承認を求めます。

1 委員候補者

(会員以外 団体に推薦依頼)

氏 名	井川 寿幸 (再任)
住 所 地	札幌市
所 属	札幌弁護士会

2 任 期

2024年6月22日から、2026年定時総会の日まで

以上

報告事項 1 号 2023 年度理事会承認事項
(開催日付順)

第 1 回臨時理事会 2023/4/13 電磁的記録 (電子メール) による開催

会員資格取得希望者 12 名を承認した。

第 2 回臨時理事会 2023/4/25 電磁的記録 (電子メール) による開催

会員資格取得希望者 12 名、賛助会員希望者 1 団体個人 2 名を承認した。

第 1 回理事会 2023/5/13 かでの 2.7 及びオンラインによる開催

倫理委員会処分案を承認した

2022 年度事業報告 (案)、2022 年度収支決算報告 (案) 及び 2022 年度監査報告 (案) を承認した。

倫理委員の指名について選考委員会案を承認した。

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る参集時ガイドラインの一部改正を承認した

特定費用準備資金事業契約事務を承認した

第 3 回臨時理事会 2023/5/24 電磁的記録 (電子メール) による開催

会員資格取得希望者 38 名、賛助会員希望者 1 団体を承認した。

第 4 回臨時理事会 2023/6/26 電磁的記録 (電子メール) による開催

会員資格取得希望者 17 名を承認した。

第 5 回臨時理事会 2023/6/24 かでの 2.7 及びオンラインによる開催

総会での理事選任後、会長を互選、会長により副会長を指名した

理事担当委員会を可決した

第 2 回理事会 2023/7/22 かでの 2.7 及びオンラインによる開催

地区支部役員、委員会委員を承認した

苦情調査実施規程の一部改正を承認した

組織細則の一部改正を承認した

会員資格取得希望者 9 名を承認した。

第 6 回臨時理事会 2023/8/23 電磁的記録 (電子メール) による開催

会員資格取得希望者 12 名を承認した。

第 7 回臨時理事会 2023/9/22 電磁的記録 (電子メール) による開催

会員資格取得希望者 7 名を承認した。

災害対策委員会オホーツク地区支部委員の交代を承認した。

日本社会福祉士会包括ケア推進委員の推薦を承認した。

第 3 回理事会 2023/10/28 札幌市男女共同参画センター及びオンラインによる開催

S O G I ハラ訴訟に対する声明案を承認した。

ぱあとなあ北海道業務監査委員会監査報告を承認した。

ぱあとなあ北海道業務監査委員会監査報告の総会上程案を協議可決した。

会員資格取得希望者 1 名を承認した。

第 8 回臨時理事会 2023/11/25 電磁的記録（電子メール）による開催

会員資格取得希望者 1 名、賛助会員希望者学生 1 名を承認した。

第 9 回臨時理事会 2023/12/25 電磁的記録（電子メール）による開催

会員資格取得希望者 2 名を承認した。

第 4 回理事会 2024/1/27

子ども未来部会解散及び子ども家庭支援委員会の設置が承認された。

2024 年度事業計画（案）、2024 年度収支予算（案）を承認した。

倫理委員の欠員補充を承認し、倫理委員選考委員を選出した。

第 26 回定時総会開催を承認した。

ぱあとなあ北海道会員の後見人等受任・終了に関するガイドラインの一部改正を承認した。

令和 6 年能登半島地震活動支援金の支出を承認した。

以上

公益社団法人北海道社会福祉士会 第26回定時総会 議案書

発行日：2024年5月11日

発行者：北海道社会福祉士会 会長 出町 勇人

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階

TEL：011-213-1313 FAX：011-213-1314

E-mail：info@hokkaido-csw.or.jp